取扱説明書　詳細版

XPERIA acro HD IS12S

by Sony Ericsson

ごあいさつ

このたびは、「XPERIA acro HD IS12S」(以下、「IS12S」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前に『設定ガイド』『スタートガイド』『取扱説明書詳細版』(本書)『IS12Sのご利用にあたっての注意事項』『携帯電話の比吸収率などについて』(以下、総称として『取扱説明書』と表記します)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

操作説明について

■『スタートガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、IS12S本体内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書詳細版』(本書)をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

■『取扱説明書』アプリケーション

IS12Sでは、IS12S本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションをご利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホーム画面で[▦]→[取扱説明書 IS12S]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

IS12Sをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意/防水上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動させると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はデジタル方式の特徴として電波の弱い状況でも極限まで一定の高い通信品質を維持し続けます。したがって、通信中この極限を超えてしまうと、突然通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、CDMA/GSM方式は通信上の高い秘匿機能を備えております。)
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、「auのネットワークサービス・海外利用」(▶P.107)をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ こんな場所では、使用禁止!

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

目次

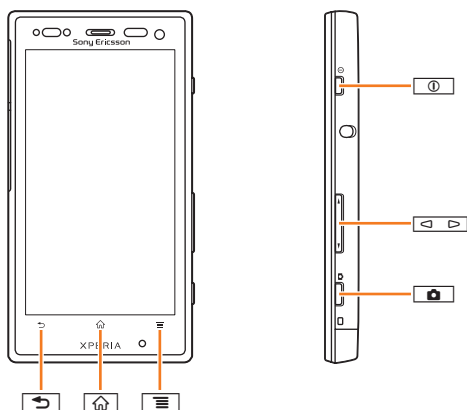
auのネットワークサービス・海外利用 107

付録・索引 119

安全上のご注意／防水上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

◎ 本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどをタップ（▶P.24）する操作を、［（項目などの名称）］と省略して表記しています。

また、本書では縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

本書でのその他の操作と表記については、「基本的な操作を覚える」（▶P.31）をご参照ください。

例：連絡先を新規作成する場合

1 ホーム画面で［▦］→［電話帳］→［👤］

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際のイラスト・画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

memo

◎ 本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。

◎『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」にはIS12Sを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容や物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	行ってはいけない（禁止）内容を示しています。	水ぬれ禁止	水に濡らしてはいけない（禁止）内容を示しています。
分解禁止	分解してはいけない（禁止）内容を示しています。	指示	必ず実行していただく（強制）内容を示しています。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけない（禁止）内容を示しています。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ IS12S本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
IS12S専用および共通周辺機器：
- ソニー・エリクソンACアダプタ04（EP800A）
- 卓上ホルダ（DK200）

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、コタツの中、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS12Sの電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ ロック設定を利用されている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子、HDMI接続端子をショートさせないでください。また、卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

金属製のストラップやアクセサリーをご使用になる場合は、充電の際にmicroUSB接続端子、特にACアダプタの電源プラグなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直接日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS12S・周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

IS12Sが落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

IS12Sは防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体がmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子、HDMI接続端子、microSDメモリカード挿入口、au ICカード挿入口などから本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

IS12S本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保証外となり、修理ができません。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

外部から電源が供給されている状態のIS12S本体・ACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

IS12Sを衣服のポケットに入れるなどして身につける場合、身体との接触状況や時間、周囲の環境によっては、低温やけどの原因となる場合があります。特に、IS12Sを身につけたままコタツやヒーター、電気毛布などの暖房器具を使用して近距離から暖をとると、IS12Sが熱くなり低温やけどの原因となりますので十分ご注意ください。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーを外したまま使用しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

IS12Sから背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

microSDメモリカードを爪ではじかないでください。microSDメモリカードが勢いよく飛び出して、事故や傷害の原因となる場合があります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用しないでください。異常が起きた場合、充電中であればACアダプタをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

3D画像機能については、次のことをお守りください。
- IS12Sで撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、長時間見ないようご注意ください。目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。
- 3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。
- 不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。IS12Sに接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 小児（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。小児が3D画像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、小児が上記注意点を守るよう監督してください。

■ IS12S本体について

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

IS12S本体に釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

ペットがIS12S本体に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内でIS12Sを使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
IS12SのmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

高精度な電子機器の近くではIS12Sの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くでIS12Sを使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、IS12Sを植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、IS12Sの電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはIS12Sを持ち込まないでください。
   - 病棟内では、IS12Sの電源をお切りください。自動的に電源が入る機能を設定してある場合は、あらかじめ設定を解除してから電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、IS12Sの電源をお切りください。
   - 医療機関が個々にIS12Sの使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネット・テレビ（ワンセグ）や音楽を視聴するときは周囲の安全をご確認ください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信をしないでください。目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

フラッシュ／フォトライトは強い光が出ますので、フラッシュ／フォトライトをご使用になる場合は人の目の前で発光させないでください。また、フラッシュ／フォトライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてフラッシュ／フォトライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師と相談してください。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

IS12SのBluetooth®機能、無線LAN（Wi-Fi®）機能、FeliCa™リーダー／ライター機能は日本国内およびFCC/IC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では、Bluetooth®機能、無線LAN（Wi-Fi®）機能、FeliCa™リーダー／ライター機能の使用が制限されることがあります。海外でご使用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
IS12Sで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（カバー　前面）･･･ブラック	PC樹脂（ガラス入り）＋SUS板金	ウレタン塗装処理
外装ケース（カバー　前面）･･･ホワイト、ルージュ、ブルー	PC樹脂（ガラス入り）＋SUS板金	UV塗装処理
外装ケース（フレーム　リア）	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着処理（錫）＋UV塗装処理
外装ケース（カバー　背面）･･･ブラック	PC樹脂（ガラス入り）	ウレタン塗装処理
外装ケース（カバー　背面）･･･ホワイト、ルージュ、ブルー	PC樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース（HDMI接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、microUSB接続端子カバー）	PC樹脂	不連続蒸着処理（錫）＋UV塗装処理
外装ケース（microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバー）･･･ブラック	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着処理（錫）＋ウレタン塗装処理
外装ケース（microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバー）･･･ホワイト、ルージュ、ブルー	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着処理（錫）＋UV塗装処理
透明板（カメラ）	PC樹脂＋PMMA樹脂	AR処理
透明板（フラッシュ）	PC樹脂	－
透明板（ディスプレイ）	ガラス＋PET樹脂	ハードコート処理
電源キー、音量キー、カメラキー	PC樹脂	UV塗装処理
ホイップアンテナ　（キャップ）	PC／ABS樹脂	－
ホイップアンテナ（シャフト上）	SUS	－
ホイップアンテナ（シャフト中）	SUS	－
ホイップアンテナ（シャフト下）	ニッケルチタン	－
ホイップアンテナ（ヒンジ上）	SUS	錫コバルトメッキ
ホイップアンテナ（ヒンジ下）	黄銅	錫コバルトメッキ

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたり、挟んだりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）やハンドストラップなどを持ってIS12S本体を振り回さないでください。傷害・事故や故障・破損の原因となります。また、傷んだハンドストラップは使用しないでください。

microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子、microSDメモリカード挿入口、au ICカード挿入口に液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。通常は、カバーをはめた状態でご使用ください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではホイップアンテナを正しく収納してください。ホイップアンテナを引き出したまま通話などをすると、顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

心臓の弱い方は着信バイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

受話口やスピーカー、ディスプレイの吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、IS12S本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話、通信、テレビ（ワンセグ）視聴中などは、IS12S本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となります。

ホイップアンテナを折り曲げたり、ホイップアンテナを伸ばした状態でIS12Sを振り回さないでください。傷害やホイップアンテナの変形、破損の原因となります。

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）をIS12S本体に接続し、ゲームや音楽再生、テレビ（ワンセグ）視聴などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと事故の原因となります。

■ 内蔵電池について

（IS12Sの内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ 充電用機器について

⚠警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
  ACアダプタ：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
  海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
- ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだACアダプタやゆるんだコンセントは使用しないでください。

- ACアダプタのmicroUSBケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだmicroUSBケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。
- 卓上ホルダの接触端子やmicroUSB接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
- 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。
- お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れすると、感電やショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災・やけど・感電の原因となります。
- 車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。
- 長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。
- ACアダプタは防水性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに電源プラグを抜いてください。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 卓上ホルダを床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。
- 風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。
- 充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。IS12Sが外れたり、火災や故障の原因となります。
- ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。microUSBケーブルを引っ張るとmicroUSBケーブルが損傷するおそれがあります。

- 卓上ホルダを自動車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより事故の原因となります。卓上ホルダは室内の安定した場所での使用を前提とします。

- 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。ソニー・エリクソンACアダプタ04および卓上ホルダで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
【microUSBケーブル】プラグ部	PBT樹脂	－
【microUSBケーブル】ケーブル	エラストマー樹脂	－
【microUSBケーブル】ノイズ・フィルタ・カバー	PP樹脂	－
【ACアダプタ】外装	PC樹脂	－
【ACアダプタ】プラグ（金属部）	銅合金	ニッケルメッキ
【卓上ホルダ】上ケース	ABS樹脂	－
【卓上ホルダ】下ケース	ABS樹脂	－
【卓上ホルダ】インナーシャーシ	ABS樹脂	－
【卓上ホルダ】ロック	POM樹脂	－
【卓上ホルダ】ボタン	POM樹脂	－
【卓上ホルダ】セーフティーレバー	POM樹脂	－
【卓上ホルダ】出力端子	りん青銅	金メッキ
【卓上ホルダ】ゴム足	ポリウレタン樹脂	－

■ au ICカードについて

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- au ICカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。
- au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- au ICカードを分解、改造しないでください。
  データの消失・故障の原因となります。
- au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。
- au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。
- au ICカードのIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。
- au ICカードを濡らさないでください。故障の原因となります。
- au ICカードのIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。
- au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。
- au ICカード保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
- au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット（試供品）について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生、テレビ（ワンセグ）視聴に使用しないでください。安全性を損ない事故の原因となります。

注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

ゲームや音楽再生、テレビ（ワンセグ）視聴などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

コードをIS12S本体に巻き付けて使用しないでください。感度が落ちて音声が途切れたり、雑音が入る場合があります。コード部を引っ張って抜かないようにしてください。また、コード部を持って本体を吊り上げないでください。端子が破損するおそれがあります。

接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

接続端子のコネクタはIS12S本体の接続端子に対してまっすぐに抜き差ししてください。

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などをIS12S本体に装着し音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

取り扱いについて詳しくは、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）の取扱説明書をご参照ください。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
マイク付ステレオヘッドセット（試供品）で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
イヤホン外装、スイッチ付きマイク外装	PC＋ABS樹脂	－
イヤーピース（S／M／L）	シリコンゴム	－
ケーブル	エラストマー樹脂	－
接続プラグ（3.5mm）（ボディ）	ポリウレタン樹脂	－
接続プラグ（3.5mm）（金属部）	銅合金	金メッキ

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■IS12S本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- IS12Sは防水性能を有しておりますが、本体内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- IS12Sに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- IS12Sは、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーをしっかり閉じた状態でIPX5（旧JIS保護等級5）相当、IPX7（旧JIS保護等級7）相当の防水性能を有しておりますが、完全防水というわけではありません。雨の中や水滴がついたままでのmicroSDメモリカードやau ICカードの取り付け／取り外しや、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。また、付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子、HDMI接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 音声通話中やテレビ（ワンセグ）視聴中または充電中など、ご使用状況によってはIS12S本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■IS12S本体について

- IS12Sの温度が上昇するとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面に爪や固いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号含む）は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面で［≡］→［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［認証］
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク〒」が本製品本体内で確認できるようになっております。
認証情報については、本体の電子認証内容でご確認いただきますよう、お願いいたします。
万一、本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等および技術基準適合認定等が無効となります。技術基準適合証明等および技術基準適合認定等が無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- IS12Sは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- IS12Sに登録された電話帳のデータやギャラリーなどの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS12Sに保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- IS12Sはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS12Sで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影などした静止画や動画のデータ、着信メロディなどの音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器をIS12Sに近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットおよびかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、IS12S内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に外部機器を接続するときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となったIS12Sの回収にご協力ください。auショップなどでIS12Sの回収をおこなっております。
- IS12SのmicroSDメモリカード挿入口には、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。
- データの読み込み中、書き込み中には振動や衝撃を与えたり、microSDメモリカードを引き抜いたり、強制終了や再起動をしないでください。データの消失や故障の原因となります。

- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- ライトセンサーを指でふさいだり、ライトセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にライトセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。
- ご使用中は、無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりしてIS12S本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- microUSB接続端子カバーやヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーを強く引っ張ると破損の原因となりますのでご注意ください。
- テレビ（ワンセグ）利用中は、IS12Sが熱くなりますので、手や顔などで触れる場合はご注意ください。
- 静止画撮影で撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影、テレビ（ワンセグ）を長時間連続作動させた場合、IS12S本体の一部が温かくなり長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護シートや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- タッチパネルを強く押す操作は、破損・故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった自動車（車内）に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 内蔵電池は充電後、IS12Sを使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程度消費している状態）
  - 高温多湿の状態
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池の回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池の回収を行っております。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- ACアダプタに差し込んだmicroUSBケーブルを電源プラグや卓上ホルダに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタとmicroUSBケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
  お手入れには乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- au ICカードにシールなどを貼り付けないでください。
- au ICカード以外のカードをIS12Sに挿入しないでください。au ICカード以外のカードをIS12Sに挿入して使用することはできません。
- 変換アダプタを取り付けたmicro au ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- IS12Sの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかをご確認ください。
- 他の人の容貌などをみだりに撮影、公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合など著作権法での別段の定めがある場合を除き、著作権者などの許諾を得ることなく使用することはできません。なお、実演・興行および展示物などは、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。
- IS12Sのカメラ機能を利用して、撮影が許されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／テレビ（ワンセグ）／ラジオ機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）からの音漏れにご注意ください。

■ 著作権／肖像権について

- お客様がIS12Sで撮影・録音したデータの複製・改変・編集などをする場合、個人で楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断でデータを使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像データや音楽データなどを転送することはできません。
- 本製品は、MPEG LA, LLC社とのMPEG-4およびAVC特許ライセンス契約に基づき、お客様個人による非営利目的を条件に下記使用が許可されています。
  - MPEG-4およびAVC規格に準拠して映像（以下、MPEG-4映像およびAVC映像）を録画すること
  - 個人による非営利目的で録画されたMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること

- MPEG LA, LLC社よりライセンスを許諾されている提供者から得たMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること
上記以外で使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLC社にお問い合わせください。(http://www.mpegla.com)

■ microSDメモリカードについて

- 指定品以外のmicroSDメモリカードを使用した場合、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- microSDメモリカードをIS12Sに挿入していないときは、microSDメモリカードに関する操作はできません。
- microSDメモリカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDメモリカードを利用することができません。
- microSDメモリカードの端子面に手や金属で触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリカードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- microSDメモリカードによっては初期化しないと使えないものがあります。IS12Sにて初期化してからご使用ください。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 持ち運びや保管の際は、衝撃を与えないよう、収納ケースに入れてください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- microSDメモリカードにラベルなどを貼り付けないでください。
- microSDメモリカードに保存したデータは、別のmicroSDメモリカードやパソコンなどにもコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- microSDメモリカードを破棄する場合、保存内容が流出するおそれがありますので、保存内容を削除するだけでなく、物理的に破壊したうえで処分することをおすすめします。microSDメモリカードの保存内容についてはお客様の責任において管理してください。
- IS12Sの電池残量が少ない場合は、microSDメモリカードに保存中に電源が切れ、正常に保存などができなくなる場合があります。データが破損・消失することがありますので、電池残量が十分なときにご利用になることをおすすめします。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS12Sをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● パスワード

使用例	「おサイフケータイ ロック設定」を利用する場合
初期値	なし

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS12Sには次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
「画面ロック」	設定方法は、「画面ロックの解除方法を設定する」(▶P.103)をご参照ください。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます(▶P.103「SIMカードロックを設定する」)。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「SIMカードロック設定」で入力が必要な設定に変更できます。
なお、SIMカードロック設定を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「SIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

memo

◎PINコードはデータの初期化(▶P.104)を行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「SIM PINの変更」で新しくPINコードを設定してください(▶P.103「PINコードを変更する」)。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

〈IS12Sの記録内容の控え作成のお願い〉

● ご自分でIS12Sに登録された内容や、外部からIS12Sに受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※1をお取りください。
IS12Sのメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。

※1 控え作成の手段

- 電話帳のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

■ お知らせ

- 『取扱説明書』の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 『取扱説明書』の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 『取扱説明書』の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

防水性能に関するご注意

IS12Sは、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーが完全に閉じた状態でIPX5（旧JIS保護等級5）※1相当、IPX7（旧JIS保護等級7）※2相当の防水性能を有しております（当社試験方法による）。
具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
※2 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かにIS12Sを沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

① **microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーをしっかり閉じた状態にしてください（▶P.18「各部の名称と機能」）。**
- 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 手やIS12Sが濡れている状態でのmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 各カバーを閉じるときは、カバーのヒンジを収納してからカバー全体を指の腹で押し込んでください。その後カバーをなぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

② **石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。**
③ **海水、プール、温泉の中に浸けないでください。**
④ **常温（5℃～35℃）の真水・水道水以外の液体（アルコール・ジュースなど）に浸けないでください。**
⑤ **砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。**

石けん／洗剤／入浴剤　海水　温泉　砂／泥

⑥ **水中で使用しないでください。**
⑦ **お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。**

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本体のすき間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に背面側や電源キー、音量キー、カメラキー部内の水を抜いてください。（水がたまったまま持ち運ぶと、水が漏れて衣服やかばんの中などを濡らすおそれがあります。また、濡れたままですと、音量が小さくなる場合があります。）
- 水抜き後も、内部は濡れています。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなる場合は水抜きを行ってください。

■ 利用シーン別注意事項

『雨の中』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。
- 雨とは、「やや強い雨」の場合（1時間の雨量が20mm未満まで）。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、IS12Sに水滴がついているとき、または手が濡れている状態でのmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。

『シャワー』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『洗う』：やや弱めの水流（6リットル／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときはmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん・洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『お風呂』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- ご使用する場所によっては、電波の入りが悪くなることがあります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などにIS12Sを持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 卓上ホルダをお風呂場へ持ち込まないでください。
- 周囲温度5℃～40℃（ただし36℃～40℃はお風呂場などでの一時的利用に限る）、湿度35%～90%（ただし86%～90%はお風呂場などでの一時的利用に限る）の範囲内で使用してください。

『キッチン』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。
- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

『プールサイド』
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- プールの水に浸けたり落下させたりしないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- プールの水がかかった場合、やや弱めの水流（6リットル／分未満）で常温（5℃～35℃）の水道水で洗い流してください。
- 洗うときはmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジは使用せず手で洗ってください。

■ 共通注意事項

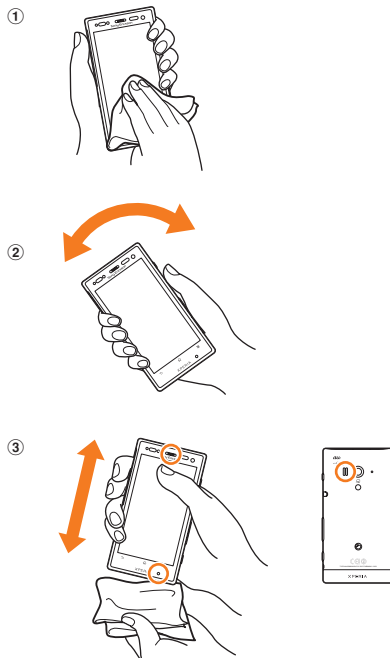
- **microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーについて**
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーはしっかりと閉じた状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
- **海水/洗剤などが付着した場合**
  万一、水以外(海水・アルコール・ジュースなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
  やや弱めの水流(6リットル/分未満)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃〜35℃)の水道水で洗えます。
  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、HDMI接続端子カバー、microSDメモリカード挿入口カバー、au ICカード挿入口カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- **水に濡れた後は**
  水濡れ後は水抜きをし、本体を乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
  寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。(IS12Sは、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。)
  IS12Sに水滴が付着したまま放置しないでください。背面側や電源キー、音量キー、カメラキー部は水分が入り込む構造になっていますが、入り込んだ水分はIS12Sを振るなどして払い落としてください。(このとき、周囲に注意し、IS12Sを振り落とさないよう十分ご注意ください。)残った水分は乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。拭き取れなかった水分や隙間にたまった水分が衣服やかばんを濡らす場合がありますのでご注意ください。
  また、送受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- **充電について**
  本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
  付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- **防水性能について**
  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル/分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。IS12SはIPX5(旧JIS保護等級5)相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
  IS12Sは水に浮きません。
- **耐熱性について**
  熱湯・サウナ・熱風(ドライヤーなど)は使用しないでください。
  IS12Sは耐熱設計ではありません。
- **衝撃について**
  IS12Sは耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

IS12Sを水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。下記手順で水抜きを行ってください。

① **本体に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取ってください。**

② **IS12Sをしっかり持ち、図のように矢印の方向に各20回位振ってください。**
※IS12Sを振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

③ **IS12S内部より出てきた水分を乾いた布などで拭き取ってください。**
※特に受話口部、送話口部、スピーカー部は水が抜けにくいため、布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。

④ **乾いたタオル・布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置して乾燥させてください。**
※乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- IS12Sが濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- IS12Sが濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。microUSB接続端子カバーからの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用する場合のお願い

周波数帯について

au電話のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の 2,400MHzから2,483.5MHzまでの周波数を使用します。

2.4：2,400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/XX/DS/OF：変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。
1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
▬▬▬：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- IS12SのBluetooth®機能は日本国内およびFCC/IC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。
  海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

● Bluetooth®ご使用上の注意

IS12SのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS12Sを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS12Sと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにIS12Sの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- IS12Sの無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内およびFCC/IC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN（Wi-Fi®）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

● 無線LAN（Wi-Fi®）ご使用上の注意

IS12Sの無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS12Sを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS12Sと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにIS12Sの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ IS12SはすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

◎ IS12Sは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。
◎ IS12Sでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール（～@ezweb.ne.jp）受信も有料となります。）
また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（～@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。
（「Eメール（～@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）
※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

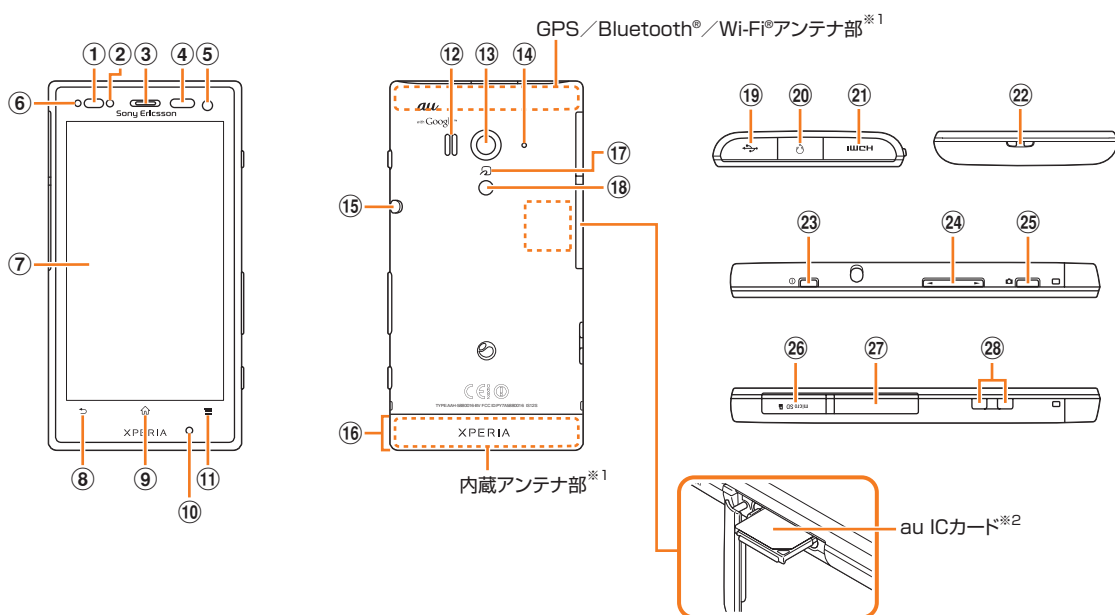
Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて

◎ アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
◎ アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎ アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
◎ IS12Sに搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書』に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

memo

◎ 本書記載のサービス名称「au one Market」は、2012年3月に「au Market」への変更を予定しております。

ご利用の準備

各部の名称と機能

※1 アンテナは、IS12S本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。
※2 au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」（▶P.19）をご参照ください。

① **近接センサー**
タッチパネルのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止します。
② **ライトセンサー**
画面の明るさを自動制御します。指などでふさがないようご注意ください。
③ **受話口**
通話中の相手の方の声などが聞こえます。
④ **赤外線ポート**
赤外線通信中、データの送受信を行います。
⑤ **フロントカメラ**
⑥ **通知LED**
充電状態や不在着信、メールの受信をお知らせします。
⑦ **ディスプレイ（タッチパネル）**
⑧ **バックキー**
1つ前の画面に戻ります。
⑨ **ホームキー**
ホーム画面を表示します。
⑩ **送話口（マイク）**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。
⑪ **メニューキー**
操作状況に応じたメニューを表示します。
⑫ **スピーカー**
⑬ **カメラ**
⑭ **セカンドマイク**
相手の方が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。
⑮ **ホイップアンテナ**
ワンセグ視聴時に伸ばします。通話時やブラウザ利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。
⑯ **背面カバー**
⑰ **FeliCa™マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
⑱ **フラッシュ／フォトライト**
撮影時にフラッシュ／フォトライトを点灯させ撮影対象を明るくします。
⑲ **microUSB接続端子**
⑳ **ヘッドセット接続端子**
㉑ **HDMI接続端子（type D）**
㉒ **ストラップホール**
㉓ **電源キー／画面ロックキー**
電源オン／オフに使用します。また、バックライトを消灯して、キーロックをかけます。
㉔ **音量キー／ズームキー**
㉕ **カメラキー**
1秒以上長押しすると、カメラを起動します。静止画･動画の撮影時にシャッターとして使用します。
㉖ **microSDメモリカード挿入口**
㉗ **au ICカード挿入口**
㉘ **卓上ホルダ用接触端子**

memo

◎電池はIS12S本体に内蔵されています。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC（金属）部分や、IS12S本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
◎変換アダプタを取り付けたmicro au ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、3G／1Xが表示されません。
- 電話をかける／受ける※1
- Eメール（～@ezweb.ne.jp）／SMS（Cメール）の送受信
- PINコード設定
- IS12Sの電話番号の確認
- ソフトウェア更新

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※1 110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。ただし、GSM／UMTSローミング中で電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能です（緊急通報番号は国によって異なるため、発信しても繋がらない場合もあります）。

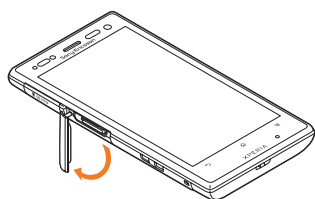
■ PINコードによる制限設定

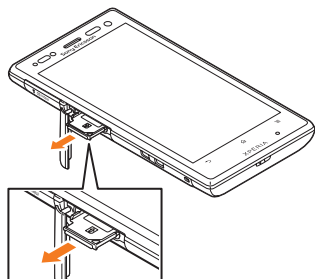
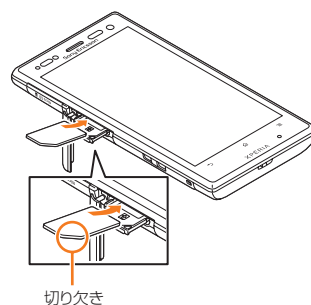
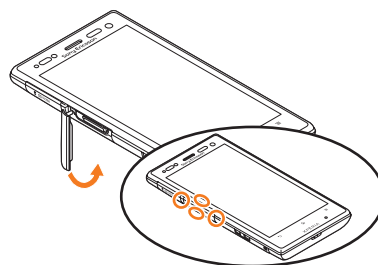
au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードロック設定により他人の使用を制限できます（▶P.103「SIMカードロックを設定する」）。

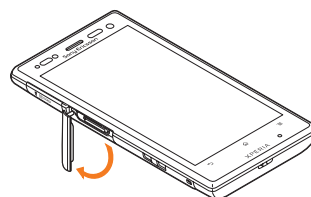
au ICカードを取り付ける／取り外す

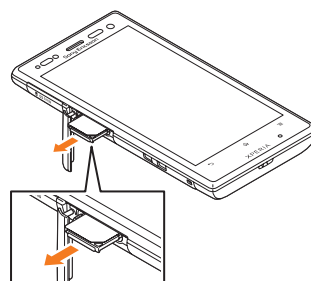
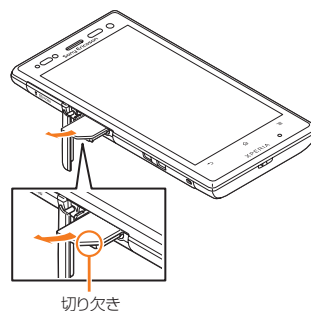
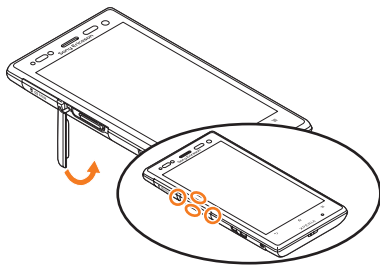
au ICカードの取り付け／取り外しは、IS12Sの電源を切ってから行います。

■ au ICカードを取り付ける

1 au ICカード挿入口カバーを矢印の方向に開く

2 トレイの裏側に爪をかけ、図の位置まで引き出す

IS12S本体からトレイを引き抜かないようにご注意ください。

3 au ICカードのIC（金属）面を下にして、au ICカードの切り欠きの向きを合わせてトレイにはめ込み、トレイごと奥までまっすぐ差し込む

4 au ICカード挿入口カバーを閉じ、すき間がないことを確認する

■ au ICカードを取り外す

1 au ICカード挿入口カバーを矢印の方向に開く

2 トレイの裏側に爪をかけ、図の位置まで引き出す

IS12S本体からトレイを引き抜かないようにご注意ください。

3 au ICカードの切り欠きの逆側をつまみ、少し上に持ち上げながら引き出す

4 au ICカード挿入口カバーを閉じ、すき間がないことを確認する

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約330時間(3G使用時) 約230時間(3Gおよび無線LAN(Wi-Fi®)機能使用時)
連続通話時間	約570分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.123)をご参照ください。

memo

◎充電には付属のmicroUSBケーブルをお使いください。
◎付属のACアダプタはAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
◎IS12Sに背面カバーを取り付けた状態(▶P.121)でご使用ください。背面カバーを取り付けていないと、充電できません。
◎充電を開始すると、通知LEDが充電状態に応じて赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します。充電状態は、ホーム画面で[☰]→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]と操作して、「電池残量」で確認できます。充電が完了すると、電池残量が「100%」と表示されます。
◎通知LEDが赤色で点滅している場合は、電源オン時に電池残量が起動するのに十分でないことを示します。充電してお使いください。
◎電源オフ時に充電を開始すると、操作はできませんがIS12Sの電源が入った状態になります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。
◎充電中、IS12Sが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎IS12Sの温度が上昇すると、アイコンが充電中にならない(充電が停止する)、または充電が完了しない場合があります。その場合は、IS12Sの温度が下がってから再度充電を行ってください。
◎内蔵電池は、「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.6)をよくお読みになってお取り扱いください。
◎パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎アプリケーションや機能などのご利用状況により、使用時間が短くなることがあります。

■ ACアダプタを使って充電する

付属のmicroUSBケーブルが必要です。

充電時間は約170分です

1 microUSB接続端子カバーを開き、microUSBケーブルのmicroUSBプラグの刻印面(⭠)を下にして、IS12S本体のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグの刻印面(⭠)を上にして、ACアダプタのUSB接続端子にまっすぐに差し込み、ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

IS12Sの通知LEDが点灯し、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをIS12S本体から取り外し、microUSB接続端子カバーを閉じる

4 ACアダプタをコンセントから取り外す

■ パソコンを使って充電する

付属のmicroUSBケーブルが必要です。接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

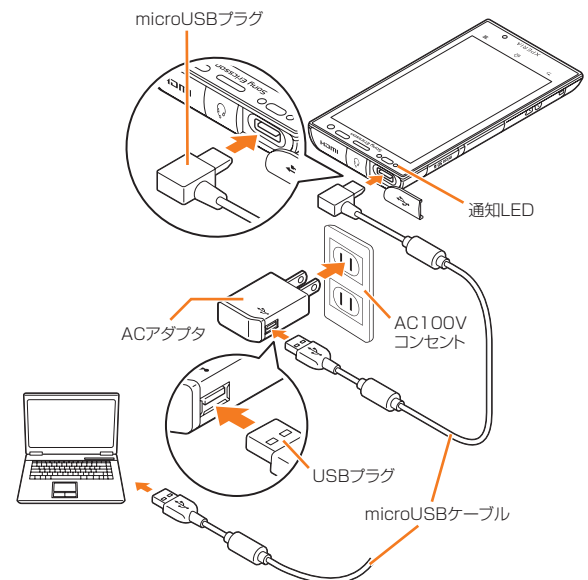
1 microUSB接続端子カバーを開き、microUSBケーブルのmicroUSBプラグの刻印面(⭠)を下にして、IS12S本体のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

IS12Sの通知LEDが点灯し、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。
IS12S本体にPC Companionのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」をタップしてください。
パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをIS12S本体から取り外し、microUSB接続端子カバーを閉じる

4 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す

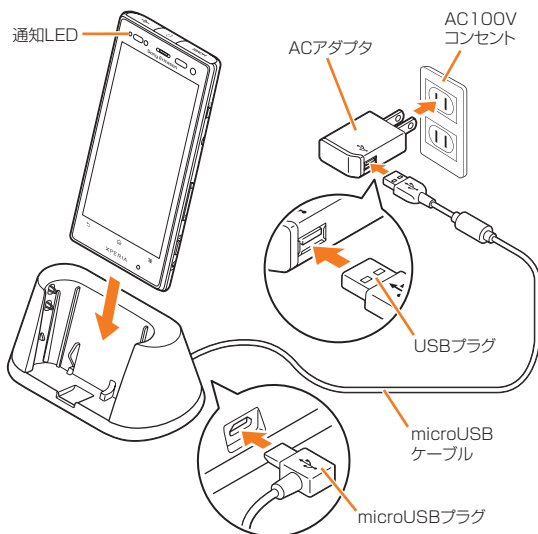
※ACアダプタとパソコンを同時に使って充電することはできません。

■ 卓上ホルダを使って充電する

付属のmicroUSBケーブルが必要です。

1 **microUSBケーブルのmicroUSBプラグの刻印面（⭠）を上にして、卓上ホルダのmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む**

2 **microUSBケーブルのUSBプラグの刻印面（⭠）を上にして、ACアダプタのUSB接続端子にまっすぐに差し込み、ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む**

3 **IS12Sを卓上ホルダに取り付ける**

4 **充電が終わったら、IS12Sを卓上ホルダから取り外す**

memo

◎卓上ホルダとパソコンを接続して充電することはできません。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **[⏻]（1秒以上長押し）**

キーロック解除画面が表示されます。キーロックを解除（▶P.21）してください。

memo

◎電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
◎初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます（▶P.21「初期設定を行う」）。
◎SIMカードロック／画面ロックをかけている場合は、電源を入れてキーロックを解除すると、PINコード入力画面／画面ロック解除画面が表示されます。PINコードを入力する／設定した解除方法に従って、ロックを解除してください（▶P.103「電源を入れたときにPINコードを入力する」、▶P.103「画面ロックを解除する」）。
◎IS12Sの電池は内蔵されており、取り外せません。再起動／強制終了する場合は、「IS12Sを再起動／強制終了する」（▶P.121）をご参照ください。

電源を切る

1 **[⏻]（1秒以上長押し）**

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 **[電源を切る]→[OK]**

キーロックを設定する

キーロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。
また、IS12Sでは、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯してキーロックがかかります。

1 **画面表示中に[⏻]**

memo

◎「バックライト消灯」（▶P.102）でバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。
◎キーロックを無効にする設定はありません。

キーロックを解除する

キーロック解除画面は、電源を入れたときや、[⏻]を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 **「🔒」（左）を「🔒」（右）までドラッグ**

memo

◎キーロック解除画面の「🔊」（右）を「🔊」（左）までドラッグ（▶P.24）すると、キーロック中でもマナーモードをオンにすることができます。
◎SIMカードロック／画面ロックをかけている場合は、キーロック解除後にPINコード入力画面／画面ロック解除画面が表示されます。PINコードを入力する／設定した解除方法に従って、ロックを解除してください（▶P.103「電源を入れたときにPINコードを入力する」、▶P.103「画面ロックを解除する」）。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めてIS12Sの電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。初期設定について詳しくは、IS12S同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 **[日本語]→[完了]**

「ようこそ」画面が表示され、主な機能の初期設定を行うことができます。

2 **[＞]**

インターネット接続の設定画面が表示されます。「モバイルネットワークまたはWi-Fi」または「Wi-Fiのみ」をタップします。

3 **[＞]**

ワイヤレスネットワークの設定画面が表示されます。「ネットワークの検索」をタップすると、Wi-Fi®ネットワークへの接続設定を行うことができます。

4 **[＞]**

サービスの設定画面が表示されます。オンラインサービスの設定を行うことができます。

5 **[＞]**

自動更新の設定画面が表示されます。「自動更新する」または「自動更新しない」をタップします。

6 **[＞]→[完了]**

IS12Sのセキュリティ設定画面が表示され、「3LM Security」（▶P.84）の初期設定を行います。
「安心セキュリティパック」（▶P.84）をお申し込みいただき、「3LM Security」をご利用になる場合は「今すぐ開始」をタップします。
「3LM Security」をご利用にならない場合は、「スキップ」をタップし初期設定を終了します。

7 **[同意します]→[有効にする]→[≡]→[終了]**

ホーム画面が表示されます。

memo

◎必要に応じて後から設定／変更することができます。後から設定する場合は、ホーム画面で[▦]→[セットアップガイド]と操作するか、設定メニューから各項目を設定してください。
◎オンラインサービスを設定する前に、データ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「主なステータスアイコンの例」(▶P.30)をご参照ください。

Googleアカウントをセットアップする

IS12SにGoogleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。また、「セットアップガイド」(▶P.27)からも表示できます。
Googleアカウントの設定について詳しくは、IS12S同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→[次へ]

2 [作成]／[ログイン]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」をタップし、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」をタップします。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎Googleアカウントを設定しない場合でもIS12Sをお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
◎Googleアカウントを削除するには、IS12Sの「データの初期化」を行います。詳しくは、「IS12Sを初期化する」(▶P.104)をご参照ください。
◎Googleアカウントでログインする前に、データ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「主なステータスアイコンの例」(▶P.30)をご参照ください。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 ホーム画面で[▦]→[ブラウザ]→アドレスバーをタップ→「http://www.google.co.jp」を入力→[▶]

2 [ログイン]

Googleアカウント画面が表示されます。

3 [アカウントにアクセスできない場合]

4 画面の指示に従って操作

au one-IDの設定をする

IS12Sにau one-IDを設定すると、au one MarketやAndroidマーケットに掲載されているアプリケーションの購入ができる「au かんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で[▦]→[au one-ID設定]

パケット通信に関する確認画面が表示されます。
「今後表示しない」にチェックを入れると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK]→[au one-IDの設定・保存]

認証を開始します。
「au one-IDとは？」をタップするとブラウザが起動し、au one-IDの説明が表示されます。

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定します。
au one-IDをお持ちではない場合は、新規登録を行います。

memo

◎本書記載のサービス名称「au one-ID」は、2012年3月に「au ID」への変更を予定しております。

基本操作

タッチパネルとキー操作

IS12Sでは、タッチパネルとディスプレイ下の各キーを使って操作します。

キー操作

ディスプレイ下の［↩］、［⌂］、［≡］の各キーの主な操作は次の通りです。

キー		説明
［↩］	バック	1つ前の画面に戻ります。また、ダイアログボックス、メニュー、通知パネル、キーボードなどを閉じます。
［⌂］	ホーム	ホーム画面を表示します。 ロングタッチすると、最近使用したアプリケーションのウィンドウを開きます。
［≡］	メニュー	現在の画面またはアプリケーションで実行できるメニューを表示します。 文字入力時にロングタッチすると、キーボードを表示／非表示できます。 ホーム画面でロングタッチしてQWERTYキーボードを表示させ、いずれかのキーをタップすると、Google検索が起動します。

タッチパネルの使いかた

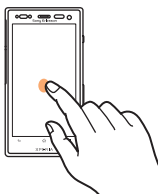
IS12Sのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

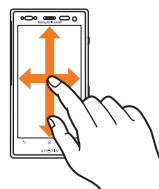
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に載せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
  - ・水中での操作

■ タップ／ダブルタップ

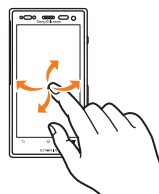
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

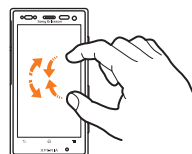
■ ロングタッチ

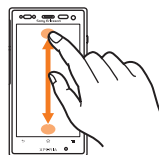
項目などに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ホーム画面とアプリケーション画面

ホーム画面とアプリケーション画面から、IS12Sのさまざまな操作ができます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると切り替えることができます。中央の画面は本体操作上の初期画面となり、[ホーム]をタップすると、いつでもホーム画面を表示することができます。

① **ホーム画面位置**
　5つのホーム画面のうちの現在表示位置を示します。
② **ウィジェット**
③ **壁紙**
④ **アプリケーションキー**
⑤ **メディアフォルダ（ギャラリー、ミュージック、FMラジオ、カメラ）**
⑥ **ショートカット（アプリケーション）**

ホーム画面のメニューを利用する

ホーム画面では、壁紙を変更したり、アプリケーションのショートカットやウィジェット、フォルダを追加／削除／移動できます。

1 **ホーム画面で [メニュー]**

2

追加	ウィジェット	▶P.26「ウィジェットを追加する」
	アプリケーション	アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加します。
	フォルダ	▶P.26「フォルダを追加する」
	ショートカット	▶P.26「ショートカットを追加する」
	壁紙	IS12Sの壁紙を変更します。
	テーマ	ホーム画面や設定画面の背景の画像を設定します。
壁紙	Xperia™の壁紙	お買い上げ時に用意されている画像から選択して、壁紙に設定します。
	ギャラリー	ギャラリーから画像を選択して、壁紙に設定します。
	ライブ壁紙	お買い上げ時に用意されているライブ壁紙から選択して、壁紙に設定します。 • ライブ壁紙は、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。
テーマ		ホーム画面や設定画面の背景の画像を設定します。
設定		▶P.100「設定メニューを表示する」

memo

◎ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチしても、ショートカットやウィジェットなどを追加できます。
◎お買い上げ時に登録されているショートカットは変更できます。本書では、お買い上げ時の状態の操作方法で説明しているため、変更する場合はご注意ください。

ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にスライド／フリック（▶P.24）すると、隣り合ったホーム画面に移動できます。ホーム画面上部に表示される ○ ○ ● ○ ○ で、現在表示しているホーム画面の位置を確認できます。

ホーム画面のアイコンを移動する

ホーム画面に登録されているショートカットやウィジェット、フォルダのアイコンをロングタッチすることで、アイコンの移動や並び替えができます。

1 **ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ**

2 **移動する場所までドラッグして指を離す**

memo

◎アイコンに触れたままホーム画面の左端または右端までドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、ホーム画面に登録できるアプリケーションです。ホーム画面でピンチインすると、ホーム画面に追加しているウィジェットの一覧が表示されます。「戻る」をタップするか、ピンチアウトすると、ホーム画面に戻ります。

■ 主なウィジェット一覧

ウィジェット	概要	ページ
au one Friends Note	Friends Noteに設定したソーシャルネットワークサービス（SNS）のメッセージなどを表示します。	P.79
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTへの自動接続のオン／オフを切り替えます。また、au Wi-Fi接続ツールの設定画面を表示します。	－
auお客さまサポート（L／M／S）	通話料や請求情報などを確認できます。	P.84
Facebook	友達のコメントを表示します。	－
Google+	Google+を表示します。	－
Latitude	友達の現在地を表示します。	P.81
LISMO Player	LISMO Playerを表示します。	P.73
LiveWare™マネージャ	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホンを接続したとき、またはmicroUSBケーブルとACアダプタで充電接続したときなどに、選択したアプリケーションが自動的に起動するように設定できます。	－
Skype	音声通話や、インスタントメッセージ（チャット）ができます。	P.79
Timescape™シェア	Timescape™で設定したソーシャルネットワークサービス（SNS）にメッセージを投稿できます。	P.81
Timescape™フィード	Timescape™で設定したソーシャルネットワークサービス（SNS）の情報を表示します。	P.81
Timescape™フレンド	Timescape™で設定したソーシャルネットワークサービス（SNS）の最新のイベントを確認できます。 また、ソーシャルネットワークサービス（SNS）で登録している友達を設定すると、友達の最新のイベントも確認できます。	P.81
TrackID™	TrackID™を表示します。	P.73
Video Unlimited	映像作品などがダウンロードできるVideo Unlimitedを表示します。	－
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示します。	P.79
カレンダー	カレンダーを表示します。	P.83

ウィジェット	概要	ページ
ツール	Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、バックライト、データ通信、音設定、GPS機能、自動同期、機内モードのオン／オフ、ローミングの設定画面を表示することができます。	－
ニュースEX	ニュースを表示します。	P.83
ニュースと天気	ニュースや天気を表示します。	－
ホーム画面のヒント	ホーム画面の操作のヒントを表示します。	－
マーケット	Androidマーケットのおすすめのアプリケーションを表示します。	P.77
ミュージックプレーヤー	ミュージックプレーヤーを表示します。	P.72
音楽と動画	Facebookで共有されている動画や音楽の一覧を表示します。	－
検索	クイック検索ボックスを表示します。	P.31
時計	時計を表示します。タップするとアラームを起動できます。	－
写真とムービー	IS12Sで撮影した静止画／動画やmicroSDメモリカード内に保存された静止画／動画を表示します。	P.70
渋滞状況	ウィジェット名と目的地を入力すると、ホーム画面に現在地から目的地までの所要時間とともにウィジェットが表示され、タップすると提供されている渋滞状況を確認できます。	－
赤外線通信	赤外線通信を起動します。	P.94
天気ウィジェット	天気を表示します。	－

■ ウィジェットを追加する

1 ホーム画面で［≡］→［追加］→［ウィジェット］

ウィジェット一覧画面が表示されます。

2 ウィジェットを選択

memo

◎ Androidマーケットからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧画面に表示されます。

■ ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までウィジェットをドラッグして指を離す

ショートカットを利用する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットを追加できます。

■ ショートカットを追加する

■ メニューからショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で［≡］→［追加］→［アプリケーション］／［ショートカット］

2 項目を選択

データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ アプリケーション画面からショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で［▦］

2 追加するアイコンをロングタッチ

ホーム画面が表示されます。

3 ショートカットを置く場所までドラッグして指を離す

■ ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までショートカットをドラッグして指を離す

フォルダを利用する

■ フォルダを追加する

1 ホーム画面で［≡］→［追加］→［フォルダ］

「新規フォルダの作成」で入力欄をタップすると、フォルダ名を変更できます。

2 ［完了］

■ フォルダにアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 アイコンをフォルダの上までドラッグして指を離す

■ フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力→［完了］

■ フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までフォルダをドラッグして指を離す

フォルダにデータがある場合は「OK」をタップしてください。

ホーム画面のショートカットやウィジェットを共有する

ホーム画面上のアプリケーションのショートカットやウィジェットを、簡単な操作で他の人に紹介することができます。自分で見つけたアプリケーションやウィジェットのダウンロード情報（URL）を手動で入力することなく送信／投稿します。

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットをロングタッチ

ステータスバーの位置に「共有」が表示されます。

2 「共有」までショートカットやウィジェットをドラッグして指を離す

送信方法の選択画面が表示されます。

3 送信方法を選択

memo

◎ すでにFacebookのアカウント設定およびXperia™用Facebookの設定をしていた場合は、手順2の操作で直接Facebookの投稿画面が表示され、そのままFacebookへ投稿できます。
◎ アプリケーションやウィジェットによっては、共有できないものがあります。
◎ au ICカードを取り付けていない場合、共有はできません。

アプリケーション画面を利用する

アプリケーション画面からさまざまな機能を呼び出すことができます。IS12Sにインストールしたアプリケーションのアイコンも表示されます。

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
  また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円、税込）と別途通信料がかかります。

アプリケーション画面を表示する

1 ホーム画面で[▦]

アプリケーション画面が表示されます。

左右にスライド／フリック（▶P.24）すると、アプリケーション画面を切り替えられます。

「🏠」／「↩」／「⌂」をタップすると、アプリケーション画面を閉じます。

■ 主なアプリケーションの種類

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	電話帳	友人や同僚の連絡先を管理します。	P.64
	電話	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.38
	SMS（Cメール）	SMS（Cメール）を送受信します。	P.53
	ブラウザ	インターネットに接続します。	P.60
	Timescape™	ソーシャルネットワークサービス（SNS）の履歴を閲覧できます。	P.81
	設定	IS12Sの各種設定を行います。	P.100
	セットアップガイド	セットアップガイドを表示します。	－
	ミュージック	音楽を再生します。	P.72
	ギャラリー	静止画／動画を再生します。	P.70
	カメラ	静止画を撮影、動画を録画します。	P.67
	Eメール	PCメール（複数のアカウントを使用可）を利用できます。	P.54
	マーケット	新しいアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.77
	Facebook	「Facebook」アプリケーションを利用できます。	－
	カレンダー	予定を管理します。	P.83
	Video Unlimited	お気に入りの映像作品を本体にダウンロードして、どこでも視聴することができるサービス「Video Unlimited（ビデオアンリミテッド）」へ接続します。	－
	マップ	現在地の確認／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。	P.79
	Gmail	Gmailを利用します。	P.56
	トーク	Googleトークを使用してチャットができます。	P.79
	ナビ	Googleマップナビを表示します。	－
	プレイス	Googleマップ上に登録された各種情報を利用できます。	P.81
	Latitude	特定の友人と位置情報を共有して利用するコミュニケーションツールです。	P.81
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。	－
	TrackID™	音楽認識サービスを利用できます。	P.73
	SnapDish※1	SnapDishは料理の写真をキレイにとることができるアプリケーションです。撮影した写真は簡単に色々な人と共有することができ、コメントもできます。	－
	PicCollage※1	PicCollageを使うだけで、簡単に楽しいコラージュを思いのままに作ることができます！FacebookやEメールで共有すれば、家族や友達と一緒に楽しめます。	－
	ビデオ	Androidマーケットの映画をレンタルしたり、IS12Sに保存した動画を再生したりできます。	－
	コロプラ※1	全国220万人以上※が遊んでいる位置ゲー「コロニーな生活」のほか、様々な位置ゲーが楽しめます。（※：2011年11月現在）	－
	au one Market	auがおすすめするAndroidアプリをインストールできます。	P.78
	赤外線通信	赤外線通信でデータを送受信します。	P.94
	auお客さまサポート	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	P.84
	LISMO Player	音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。	P.73
	じぶん銀行※1	入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	－
	GREE※1	2,500万※人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるau one GREE公式アプリです。（※：2011年11月現在）	－
	LISMO Book Store※1	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	－
	ウイルスバスター	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリケーションです。	P.85
	Photo Air※1	IS12Sで撮影した写真を、自動で自宅のパソコンに保存できます。©KDDI/Powered by Eye-Fi	－
	au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。	－

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	ダウンロード	ダウンロードの一覧を表示します。	−
	ニュースと天気	位置情報を基にした天気予報、ニュース、スポーツ、エンターテイメントなどの各種情報がチェックできます。	−
	Connected devices	Connected devicesにてメディアサーバーの設定／管理をします。	P.91
	PlayNow	ニュース速報や辞書サービスなどを利用できるPlayNowの専用サイトに接続します。	−
	GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけ方などをチェックできるアプリケーションです。	−
	au one	au oneポータルサイトに接続します。	−
	PS Storeを始めよう※1	『PS Store』を紹介するサイトを表示します。ゲームをダウンロードして端末で楽しむことができます。	−
	Flash Player Settings	Adobe®Flash®Playerでのアプリケーションの実行方法を設定できます。	−
	Friends Note	IS12Sの電話帳とFacebookやmixiなど複数のソーシャルネットワークサービス(SNS)の友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。	P.79
	検索	IS12S本体内やウェブ上の検索を行います。	P.31
	unlimited※1	100万曲の楽曲ラインナップが聴き放題となる、月額定額制の音楽サービスを利用できます。	−
	スマホカバー※1	人気ファッションブランドのオリジナルデザインが選べるスマートフォンカバーをお買い求めいただけます。	−
	楽曲検索※1	街で流れている音楽をケータイに聴かせたり、自分で歌ったりして楽曲を検索することができます。	−
	動画on！※1	NHK G-Media動画on！は、最新ニュースのほか、報道、スポーツ、ドキュメンタリー、教養、趣味などさまざまなジャンルのNHK動画が視聴できます。	−
	Google+	Googleが提供するソーシャルネットワークサービス(SNS)のクライアントアプリである「Google+」を起動します。	−
	ソラテナ※1	身近な天気をアンテナがつぶやきます。	−
	メッセンジャー	Google+を利用してグループでチャットができます。	−
	APP NAVI	Android端末専用のアプリケーションを紹介します。カテゴリーやランキングなどからアプリケーションを検索できます。	−
	FMラジオ	FMラジオを視聴します。	P.74

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	3LM Security	IS12Sを盗難・紛失された場合に、IS12Sを遠隔操作でロックすることができます。	P.84
	リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のIS12Sの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリケーションです。	P.85
	au one-ID設定	au one-IDを設定します。	P.22
	ナビウォーク※1	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリケーションです。	−
	音楽と動画	Facebookで、お客様または「友達」が共有した音楽・動画情報を表示します。	P.83
	YouTube	YouTubeで動画を再生します。	P.79
	定型文	定型文の新規追加や、修正・削除などの編集が可能です。	P.35
	安心アプリ制限	お子様に利用させたくないアプリや機能を制限できます。	−
	Media Remote	IS12Sをリモコンとして利用できます。	−
	取扱説明書 IS12S※1	IS12Sの取扱説明書を表示します。	−
	TETRIS LEAGUE※1	誰もが知っている「テトリス®」です。初心者から上級者まで、安心して全国のユーザーと気軽に2分間の対戦をお楽しみいただけます。 Tetris®&© 1985-2012 Tetris Holding. Tetris logos, Tetris theme song and Tetriminos are trademarks of Tetris Holding. The Tetris trade dress is owned by Tetris Holding. Licensed to The Tetris Company. Game Design by Alexey Pajitnov. Original Logo Design by Roger Dean. All Rights Reserved. Sub-licensed to Electronic Arts Inc. and G-mode Co., Ltd.	−
	ASTRO	アストロファイルマネージャを利用するためのアプリです。	P.90
	おサイフケータイ	おサイフケータイ®を利用します。	P.76
	3Dアルバム	撮影した3Dスイングパノラマ写真やスイングマルチアングル写真を閲覧できます。	−
	更新センター	最新のソフトウェアとアプリケーションをソニーモバイルコミュニケーションズのウェブサイトから取得することができます。	P.122
	LISMO WAVE※1	全国のFMラジオやミュージッククリップ・ライブなどの映像が楽しめます。	−
	省電力モード	省電力の設定を行います。	−

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	Eメール	Eメール（~@ezweb.ne.jp）の送受信ができます。	P.42
	OfficeSuite	Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	P.92
	お買い物サーチ※1	人気モールなどいろいろなサイトの商品をまとめて検索できます。	−
	Skype	音声通話やインスタントメッセージ（チャット）が利用できます。	P.79
	MonsterHunterDH※1	「指で狩る」全く新しい「モンスターハンター」がスマホに登場！画面をタッチするシンプル操作でダイナミックなハンティングアクションが誰でも楽しめる。巨大なモンスターを「指で狩れ！」	−
	音声検索	音声による検索を行います。	P.31
	ワンセグ	ワンセグを視聴します。	P.74
	家庭医学大全科 for au※1	2,600以上の病気について600人以上の医療専門家が執筆した最新版「家庭医学大全科」をもとにした家庭用医学事典アプリです。「フリーワード」「症状」「目次」「検査結果」など多角的に病気を検索することができます。	−
	SE Home	ソニーモバイルコミュニケーションズの製品やキャンペーン情報などを紹介するスマートフォン向けサイトです。	−
	3Dカメラ	3Dスイングパノラマやスイングマルチアングルを使用して、立体的な3D写真を撮影します。	P.69
	時計とアラーム	アラームの設定や時計などを表示します。	P.84
	ニュースEX※1	最新のニュース・天気・占いなどの情報を確認することができます。	P.83
	auスマートパス	月額390円（税込）で500以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。	P.86
	au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報）を利用することができるアプリです。	P.85
	LiveWare™ マネージャ	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホンを接続したとき、またはmicroUSBケーブルとACアダプタで充電接続したときなどに、選択したアプリケーションが自動的に起動するように設定できます。	−
	テレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。また、ワンセグに連携してご利用いただけます。	P.75
	life.episode™※1	ニュースや音楽などの最新情報を閲覧できます。	−
	GREEマーケット	au one GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。	−

※1 簡単にダウンロードできるショートカットアプリです。利用するにはダウンロードが必要です。

memo

◎IS12S本体内の『取扱説明書』アプリケーションでは、さまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。
◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

アプリケーションを並べ替える

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションアイコンを並べ替えます。

1 ホーム画面で[ ]→[ ]

2

カスタム並べ替え	アプリケーションアイコンを個別に指定して並べ替えます。 ▶P.29「アプリケーションを指定して並べ替える」
アルファベット順	アルファベット順に並べ替えます。
よく使うアプリ順	使用頻度順に並べ替えます。
最近インストールしたアプリ順	インストール順に並べ替えます。

■ アプリケーションを指定して並べ替える

1 ホーム画面で[ ]→[ ]

アプリケーションアイコンが移動できるようになります。

2 並べ替えるアイコンをロングタッチ

3 アイコンを並べ替える場所までドラッグして移動

アプリケーション画面の左端または右端までドラッグすると、別のアプリケーション画面に移動できます。

4 アイコンから指を離す→[ ]

memo

◎アイコンの移動中に一番右の画面までドラッグすると、アプリケーション画面を追加できます。

アプリケーションを削除する

アプリケーション画面から一部のアプリケーションを削除できます。

- 削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- いくつかのアプリケーションは削除できません。

1 ホーム画面で[ ]→[ ]

2 「 」のついたアプリケーションをタップ

削除画面が表示されます。
「 」のついたアプリケーションは削除できます。

3 [OK]→[OK]

4 [ ]

◎IS12Sにプリインストールされているアプリケーションは、削除できない場合があります。
◎アプリケーションを管理する画面からも削除できます。詳細については、「インストールされたアプリケーションを削除する」（▶P.78）をご参照ください。

最近使用したアプリケーションを表示する

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

1 ［⌂］をロングタッチ

最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

IS12Sの状態を知る

ステータスバーは、IS12Sの画面上部にあります。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側にはIS12Sの状態を表すステータスアイコンが表示されます。

アイコンの見かた

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	通話中
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	新着Eメール(～@ezweb.ne.jp)あり
	新着SMS(Cメール)あり／お留守番サービスの伝言お知らせ・着信お知らせあり
	SMS(Cメール)の配信に問題あり
	新着インスタントメッセージあり
	新着Facebookメッセージあり
	Facebookへデータアップロード中
	Facebookへデータアップロード完了
	Facebook機能の接続要求通知あり
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード
	Bluetooth®機能の接続要求通知あり
	カレンダーの予定あり
	楽曲を再生中
	FMラジオ視聴中
	ワンセグ視聴中
	赤外線通信中
	おサイフケータイ ロック設定中
	Connected devicesにてメディアサーバー実行中
	インストール完了(Androidマーケットなどでアプリケーションをインストールする際)
	アップデート通知(インストール済みマーケットアプリのアップデートが通知される際)
	同期に問題あり
	USB接続中
	Wi-Fi®オープンネットワーク利用可能
	VPN接続中
	VPN未接続
	データ通信無効
	ソフトウェア更新通知あり、または更新中
	microSDメモリカードを取り外すためにマウント解除(読み書き不可)／microSDメモリカードが取り外されている状態
	エラーメッセージ(赤色)、注意メッセージ(黄色)
	緊急地震速報あり
	Green Heart省エネアイコン(コンセントからACアダプタを外してください)
	その他の(表示されていない)通知あり

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要	ページ
12:34	時刻	P.106
	アラーム設定あり	P.84
	電池レベル状態 100%／充電中	–
	電波の強さ レベル4／圏外	–
	3Gデータ通信状態 3G使用可能／3Gデータの送信およびダウンロード中	–
	1Xデータ通信状態 CDMA 1X使用可能／CDMA 1Xデータの送信およびダウンロード中	–
	GSM／UMTSローミング中	–
	マナーモード(バイブレータ)設定中	P.102
	サウンドオフ(バイブレーションを使用せず、マナーモードがオンのとき)	P.101
	マイクオフに設定中	P.38
	ハンズフリーで通話中(スピーカーオン)	P.38
	Wi-Fi®接続中／ AutoIP機能でWi-Fi®接続中	P.96
	Bluetooth®利用中 Bluetooth®機能オン／ Bluetooth®対応機器と接続中	P.95
	GPS測位中	–
	データ同期中	P.103
	機内モード設定中	P.101
	au ICカードロック中、またはau ICカードが未挿入	–

通知パネルについて

通知アイコンは通知パネルに表示されます。通知アイコンの詳細を確認したり、対応するアプリケーションを起動できます。

1 ステータスバーを下にスライド

「通知を削除」をタップすると、通知内容を消去できます。

memo

◎通知内容によっては消去できない場合があります。

通知LEDについて

通知LEDの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中、電池残量が10%以下であることを示します。
橙色の点灯	充電中、電池残量が11%～89%であることを示します。
緑の点灯	充電中、電池残量が90%以上であることを示します。
赤の点滅	電源オン時に電池残量が起動するのに十分でないことを示します。
緑の点滅	バックライト消灯中に新着Eメール(～@ezweb.ne.jp)、新着Gmailがあることを示します。
青の点滅	バックライト消灯中に不在着信、新着PCメール、新着SMS(Cメール)があることを示します。

IS12Sやウェブサイトを検索する

IS12S内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面で[▦]→[検索]

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字から始まるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

🎤：音声で検索語句を入力し、ウェブ上を検索

3 一覧表示から項目を選択／クイック検索ボックスの[→]

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

◎「現在地を使用」確認画面が表示されたら、内容をご確認のうえ「同意する」／「同意しない」をタップします。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面で[▦]→[音声検索]

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口（マイク）に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

検索時のメニューを利用する

クイック検索ボックスで使用するウェブ検索エンジンや、IS12S本体内での検索対象を設定できます。

1 ホーム画面で[▦]→[検索]→[≡]→[検索設定]

2

Google検索の設定	検索する文字を入力する際、検索候補を表示するかどうか、検索候補に以前の検索結果を反映させるかどうかなどを設定します。 また、ブラウザでウェブ検索履歴設定のページを開くことができます。 • Googleアカウントの登録が必要です。
検索対象	IS12S本体内で検索対象とするデータの種類を選択します。
ショートカットを消去	最近選択した検索候補の表示をしないように消去できます。

基本的な操作を覚える

ここでは、IS12Sのよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

IS12Sの向きに合わせて、自動的に画面の縦／横画面表示を切り替えることができます。

◎ホーム画面で[≡]→[設定]→[画面設定]と操作して、「画面の自動回転」のチェックを外すと、縦画面表示で固定されます。
◎ホーム画面など、表示中の画面によっては、IS12Sの向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法は、メニューキー（[≡]）をタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

例：「電話帳」の連絡先一覧画面で[≡]をタップする場合

《連絡先一覧画面》　メニュー

例：「電話帳」の連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチする場合

《連絡先一覧画面》　メニュー

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス／ラジオボタンが表示されているときは、チェックボックス／ラジオボタンをタップすることで設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
☑／◉	設定がオンの状態です。
☐／●	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、複数のデータを選択できます。
選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。
チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

データを削除する

機能によって、表示される項目名や削除方法が異なる場合があります。

■ 1件削除

例：SMS（Cメール）を1件削除する場合

1 ホーム画面で[▦]→[SMS（Cメール）]

2 削除するSMS（Cメール）があるスレッドをタップ

3 削除するSMS（Cメール）をロングタッチ

4 [メッセージを削除]→[はい]

■ 選択削除

例：SMS（Cメール）のスレッドを選択削除する場合

1 ホーム画面で[▦]→[SMS（Cメール）]→[≡]→[複数のメッセージを削除]

2 削除するスレッドにチェックを入れる

「全て選択」／「全て選択解除」をタップすると、すべてのSMS（Cメール）を選択／選択解除できます。

3 ［削除］

■ 全件削除

例：通話履歴を全件削除する場合

1 ホーム画面で［電話］→ ≡ →［通話履歴を全件削除］

文字入力

文字を入力する

文字入力は、連絡先の登録時やメール作成時など、文字入力画面で入力欄をタップすると表示されるキーボードを使います。

◎ 文字入力画面から元の画面に戻るときは、 をタップします。

入力方法を選択する

IS12Sでは、入力方法（キーボード種別）を選択できます。

1 文字入力画面→入力欄をロングタッチ→［入力方法］

2

POBox Touch（日本語）	日本語を入力する場合に選択します。
外国語キーボード	入力する言語を選択できます。日本語以外の言語を入力する場合に選択します。
中国語キーボード	中国語を入力する場合に選択します。

◎ 入力方法（キーボード種別）は、文字入力中に変更できます。

キーボードについて

POBox Touch（日本語）では、12キー、QWERTY、50音、手書きの4種類のキーボードのスタイルを切り替えて使用できます。

キーボードを切り替える

1 文字入力画面→「」をロングタッチ

2 ［］／［］／［］／［］／［］／［］／［］／［］

「」：12キーキーボードを表示
「」：QWERTYキーボードを表示
「」：50音キーボードを表示
「」：手書きかな入力を表示
「」：POBox Touch（日本語）の設定画面が表示され、設定を確認／変更
「」：プラグインアプリの一覧が表示され、文字入力時に選択したプラグインアプリを利用
「」：半角／全角を切り替え
「」：キーボードを非表示

memo

◎ お買い上げ時は、12キーキーボードに設定されています。その他、「自動大文字変換」「予測変換」「入力ミス補正」「キーポップアップ」のオプション設定がオンに設定されています。
◎ キーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって異なります。

12キーキーボードでの文字入力

一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。「かな入力」で日本語を入力できます。

《12キーキーボード》

■ 各タッチキーの主な役割

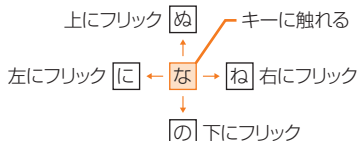
アイコン	機能
／	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ → a／A／a の順にステータスアイコンが表示されます。
／ （ロングタッチ）	ポップアップウィンドウを表示します。 ／／／：キーボード切り替え （全角）／（半角）：全角半角切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 ：キーボードの非表示
／	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ／A など→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
／ （ロングタッチ）	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（SMS（Cメール）入力時は絵文字タブも表示されます）。
英数カナ	変換確定前に表示され、予測変換候補または、タップしたキーに割り振られた英数文字の変換候補を表示します。
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
◀	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除できます。
␣	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
🎤	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
逆順	1つ前の文字を表示（逆順）します。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補を表示して入力できます。
候補 （ロングタッチ）	オンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
☺	数字入力時に表示され、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（SMS（Cメール）入力時は絵文字タブも表示されます）。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 変換確定前は「確定」と表示されます。また、検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

■ フリック入力について

上下左右にフリックして各行の文字を入力できます。キーを繰り返してタップすることなく、文字を入力できます。

例:「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

◎大文字/小文字の切り替えや濁点/半濁点の付加は、「大⇔小」をフリック/タップして行います。

◎フリック入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、ホーム画面で →[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch(日本語)]→[ソフトキーボード設定]と操作し、「フリック入力」のチェックを外します。

◎フリック入力の感度を変更するには、POBox Touch(日本語)の設定画面で[ソフトキーボード設定]→[フリック感度選択]と操作し、フリック入力感度を選択します。

■ トグル入力について

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

例:「あお」と入力する場合

① 「あ」を1回タップする

② 「 」をタップして「あ」を5回タップする

例:「ca」と入力する場合

① 「abc」を3回タップする

② 「 」をタップする
　大文字が入力された場合は をタップします。

③ 「abc」を1回タップする

◎キーをタップして一定時間が経過し、タップしたキーのハイライトが消えると、「 」をタップしなくても同じキーに配列された文字を続けて入力できます。

◎大文字/小文字の切り替えや濁点/半濁点の付加は、「大⇔小」をタップして行います。

◎トグル入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、ホーム画面で →[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch(日本語)]→[ソフトキーボード設定]と操作し、「トグル入力」のチェックを外します。

QWERTYキーボードでの文字入力

一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。「ローマ字入力」で日本語を入力できます。

《QWERTY キーボード》

■ 各タッチキーの主な役割

アイコン	機能
／	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ→a̲／A̲／A̲／a／A／A の順にステータスアイコンが表示されます。
／ (ロングタッチ)	ポップアップウィンドウを表示します。 ／／／：キーボード切り替え (全角)／(半角)：全角半角切り替え ：POBox Touch(日本語)の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 ：キーボードの非表示
／	「ひらがな漢字／英字」→「数字／記号」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ／A̲ など→1̲／1 の順にステータスアイコンが表示されます。
／ (ロングタッチ)	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます(SMS(Cメール)入力時は絵文字タブも表示されます)。
	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
	変換確定前に表示され、タップすると文字の変換方法を「直変換」に切り替えます。
／／	英数入力時にタップすると、1文字のみ大文字／大文字／小文字を切り替えます。
	ひらがな漢字入力時に、変換候補を表示して入力できます。
(ロングタッチ)	オンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch(日本語)の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
	数字入力時に表示され、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます(SMS(Cメール)入力時は絵文字タブも表示されます)。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 変換確定前は「確定」と表示されます。また、検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

■ アシストキーボードを選択する

QWERTYキーボードでひらがな漢字入力する場合に、よく使用するキーの表示幅を大きく、タップしやすくするようにアシストキーボードを変更することができます。

1 **QWERTYキーボードで文字入力時に「 」をロングタッチ→[ ]→[ソフトキーボード設定]→[アシストキーボード選択]**

2

ワイド	入力時によく使うキーの幅を広くタップしやすく表示します。
ハイライト	入力時によく使うキーの幅を広くして、次に入力が予測されるキーをハイライト表示します。
ダイナミック	次に入力が予測されるキーの幅をさらに広くタップしやすくして、ハイライト表示します。
ノーマル	キーの幅を均等に表示します。

■ キーボードに表示するキーを変更する

日本語入力でQWERTYキーボードに使用頻度の低いキー（Q、X、Cなど）を表示しないようにできます。

1 QWERTYキーボードで文字入力時に「あA」をロングタッチ→[✕]→[ソフトキーボード設定]→[表示キー選択]

2 表示しないキーのチェックを外す→[OK]

◎「アシストキーボード」（▶P.33）を「ノーマル」に設定している場合は、「表示キー選択」を選択できず、表示するキーの変更はできません。

■ キーボードをカスタマイズする

数字入力時に表示されるキーボードの記号の位置を入れ替えることができます。

1 QWERTYキーボードで文字入力時に「あA」をロングタッチ→[✕]→[ソフトキーボード設定]→[キーボードカスタマイズ]

キーボードカスタマイズ画面が表示されます。

2 変更する記号をタップ→現在設定されている文字を削除してから表示する文字を入力→[OK]→[OK]

◎全角・半角に関わらず1文字だけ入力できます。
◎キーボードカスタマイズ画面→[リセット]→[OK]と操作すると、変更した内容をリセットします。

50音キーボードでの文字入力

五十音順に並んだキーボードです。「かな入力」で日本語を入力できます。

《50音キーボード》

■ 各タッチキーの主な役割

アイコン	機能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ→a／A／A／a／A／A の順にステータスアイコンが表示されます。
あA／あA（ロングタッチ）	ポップアップウィンドウを表示します。 ■／■／■／■：キーボード切り替え 全角（全角）／全角（半角）：全角半角切り替え ✕：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ■：プラグインアプリの一覧を表示 ■：キーボードの非表示
大⇔小	ひらがな漢字入力時に表示され、大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点を付加します。
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ／A など→1／1 の順にステータスアイコンが表示されます。
123／123（ロングタッチ）	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（SMS（Cメール）入力時は絵文字タブも表示されます）。
◀	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除できます。
␣	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
🎤	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
⇧／⇧／⇧	英数入力時にタップすると、1文字のみ大文字／大文字／小文字を切り替えたり、キー入力できる記号に切り替えます。
☺	横画面時に表示され、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（SMS（Cメール）入力時は絵文字タブも表示されます）。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補を表示して入力できます。
候補（ロングタッチ）	オンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 変換確定前は「確定」と表示されます。また、検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

手書きかな入力での文字入力

手書きかな入力画面を指でなぞることで文字を入力できます。

◎入力方法を説明する画面が表示されたら、[OK]または ⮌ をタップします。

《手書きかな入力》

■ 各タッチキーの主な役割

アイコン	機能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ→a／A／A／a の順にステータスアイコンが表示されます。
あA／あA（ロングタッチ）	ポップアップウィンドウを表示します。 ■／■／■／■：キーボード切り替え 全角（全角）／全角（半角）：全角半角切り替え ✕：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ■：プラグインアプリの一覧を表示 ■：キーボードの非表示
大⇔小	ひらがな漢字入力時に表示され、大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点を付加します。
A⇔a	英字入力時に表示され、大文字／小文字を切り替えます。
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ／A など→1／1 の順にステータスアイコンが表示されます。
123／123（ロングタッチ）	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（SMS（Cメール）入力時は絵文字タブも表示されます）。
英数カナ	変換確定前に表示され、予測変換候補または、入力した文字に割り振られた英数文字の変換候補を表示します。
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
◀	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。

アイコン	機能
※2	入力文字、変換文字を確定します。入力·変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除できます。
	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
(ロングタッチ)	POBox Touch 徹底ガイド内の手書きかな入力の使い方ガイドが起動し、手書きかな入力の詳しい使い方を閲覧できます。
	ひらがな漢字入力時に、変換候補を表示して入力できます。
(ロングタッチ)	オンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch(日本語)の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
	数字入力時に表示され、半角記号/全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます(SMS(Cメール)入力時は絵文字タブも表示されます)。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 変換確定前は「確定」と表示されます。また、検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

memo

◎手書きかな入力で入力できる文字は、ひらがな、英字、数字、一部の記号となります。
◎入力した文字は消去せずに、そのまま次の文字を入力できます。
◎濁点や半濁点は、手書きかな入力画面の右上に入力してください。
◎句読点や小文字は、手書きかな入力画面の中央より下側に入力してください。
◎英字入力時は、手書きかな入力画面の下側の横罫線を基準に入力してください。

文字入力中のメニューを利用する

文字入力中に入力欄をロングタッチすると、メニュー項目が表示され、入力した文字の選択、コピー、切り取り、貼り付け、単語リストに追加などの操作が行えます。

例：入力した文字を切り取り/コピーする場合

1 文字を入力後、入力欄をロングタッチ→[語句を選択]/[すべて選択]

カーソルを移動して、選択範囲を調整します。

2 語句を選択後、入力欄をロングタッチ→[切り取り]/[コピー]

切り取り/コピーした文字を貼り付けるには、貼り付ける位置にカーソルを移動し、入力欄をロングタッチ→[貼り付け]と操作します。

辞書を利用する

あらかじめ辞書の設定をしておくと、文字入力時に優先的に変換候補として表示されます。

ユーザー辞書に登録する

ユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」と「英語ユーザー辞書」の2種類があります。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch(日本語)]

2 [日本語ユーザー辞書]/[英語ユーザー辞書]

3 [≡]→[追加]

4 「読み」の入力欄に読みを入力

5 「表記」の入力欄に単語を入力

6 [保存]

memo

◎ユーザー辞書に登録できる文字数は「読み」「表記」ともに、全角·半角に関わらず最大50文字まで、登録できる件数は最大500件となります。
◎登録した語句によっては、文字入力時に予測変換候補内で「直変」をタップすると、優先的に変換候補として表示される場合もあります。

学習辞書を設定する

POBox Touchの学習辞書機能をオンにしておくと、使えば使うほどよりスムーズに文字を入力できるようになります。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch(日本語)]→[学習辞書]

2 「入力した語句を自動学習」にチェックを入れる

memo

◎[学習辞書リセット]→[OK]と操作すると、学習辞書に保存した内容をリセットします。
◎すでに学習した語句を個別に削除するには、予測変換候補の中から削除する語句をロングタッチ→[学習データ削除]と操作します。

オンライン辞書を利用する

文字入力時に[候補]をロングタッチすると、オンライン辞書を起動することができます。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch(日本語)]→[オンライン辞書]

2 「オンライン辞書」にチェックを入れる

メッセージが表示されたら、内容をご確認のうえ「同意する」をタップしてください。

プラグインアプリを利用する

文字入力時に[あA]をロングタッチして[プラグイン]をタップすると、プラグインアプリの一覧が表示され、任意のプラグインアプリを利用できます。

「定型文」を利用する

「定型文」は、あらかじめ「インターネット」「あいさつ」「ビジネス」「返事」「プライベート」の5つのカテゴリーに分けて保存されています。カテゴリーも定型文も新規追加したり、削除したりして編集できます。

1 文字入力画面→「[あA]」をロングタッチ→[[プラグイン]]→[定型文]

2 カテゴリーを選択→定型文を選択

■ カテゴリーを追加して定型文を登録する

新しいカテゴリーを作成し、定型文を登録します。

1 ホーム画面で[▦]→[定型文]

カテゴリー一覧画面が表示されます。

2 [≡]→[カテゴリー追加]→カテゴリー名称を入力→[OK]

3 [新規追加]→定型文を入力→[OK]

memo

◎各カテゴリーをタップすると、登録されている定型文の一覧が表示されます。定型文をタップして、編集/削除できます。
◎カテゴリー一覧画面→[≡]→[初期化]→[OK]と操作すると、定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

「連絡先引用2.3」を利用する

電話帳に連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を使って連絡先の情報を引用できます。「連絡先引用2.3」は、プリインストールされているプラグインアプリです。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ→[ ]→[連絡先引用2.3]

連絡先一覧画面が表示されます。

2 連絡先一覧画面で引用する連絡先を選択

3 入力する項目にチェックを入れる→[完了]

「すべて選択」／「すべて選択解除」をタップすると、すべての項目を選択／解除できます。

memo

◎連絡先一覧画面で「引用履歴」や「お気に入り」をタップすると、連絡先を限定して表示することができます。

プラグインアプリを追加する

文字入力時に利用するプラグインアプリをインストールして追加できます。

1 ホーム画面で［≡］→[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch(日本語)]→[プラグインアプリの管理]

2 [OK]

プラグイン設定画面が表示されます。

3 [新規プラグインのダウンロード]

4 アプリを選択→画面の指示に従って操作

memo

◎プラグイン設定の画面でチェックの入っているプラグインアプリは、文字入力画面で起動することができます。

文字入力の設定をする

キーボード種別ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で［≡］→[設定]→[言語とキーボード]

2

項目	説明
外国語キーボード	外国語キーボードの各種設定を行います。
中国語キーボード	中国語キーボードの各種設定を行います。
POBox Touch(日本語)	▶P.36「POBox Touchを設定する」

memo

◎設定できる項目は、キーボードの種類により異なります。

POBox Touchを設定する

1 ホーム画面で［≡］→[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch(日本語)]

2

項目		説明
ソフトキーボード設定	アシストキーボード選択	▶P.33「アシストキーボードを選択する」
	表示キー選択	▶P.34「キーボードに表示するキーを変更する」
	キーボードカスタマイズ	▶P.34「キーボードをカスタマイズする」
	フリック入力	フリック入力を利用するかどうかを設定します。
	フリック感度選択	フリック入力時のスライド感度を設定します。 •「フリック入力」をオンにしていない場合は、選択できません。
	トグル入力	フリック入力時にトグル入力を利用するかどうかを設定します。 •「フリック入力」をオンにしていない場合は、選択できません。
	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キーをタップしたときに、タップしたキーをポップアップ表示するかどうかを設定します。
	モード別キーボード保持	画面の向きと、かな／英字／数字ごとに最後に使用したキーボードの種類(12キーキーボード／QWERTYキーボード／50音キーボード／手書きかな入力)を保つように設定します。
キセカエキーボード選択		キーボードの外観を変更します。 • ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。
プラグインアプリの管理		▶P.36「プラグインアプリを追加する」
自動大文字変換		英字入力時に文頭の文字を自動的に大文字にして入力するように設定します。
日本語ユーザー辞書		▶P.35「ユーザー辞書に登録する」
英語ユーザー辞書		
学習辞書		▶P.35「学習辞書を設定する」
バックアップと復元		ユーザー辞書と学習辞書に保存された内容を、内部ストレージにバックアップしたり、必要なときに復元したりできます。
オンライン辞書		▶P.35「オンライン辞書を利用する」
予測変換		予測変換機能を使って、日本語･英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示するかどうかを設定します。
入力ミス補正		QWERTYキーボードで半角英字を入力し、変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示するかどうかを設定します。 •「予測変換」をオンにしていない場合は、選択できません。
自動スペース入力		英語予測候補選択時に入力文字の後ろに自動でスペースを入力するかどうかを設定します。 •「予測変換」をオンにしていない場合は、選択できません。 • メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。
POBox Touch徹底ガイド		基本から応用まで、高機能なPOBox Touchを詳しく解説したガイドを閲覧できます。また、プラグインアプリやキセカエキーボードの紹介サイトから最新の情報を取得できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[電話]

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力します。
電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴に前方一致する電話番号が表示されます。

- ：入力した数字を1桁削除
- (ロングタッチ)：すべての数字を削除

「Cメールを送信」をタップするとSMS(Cメール)作成画面が表示されます。
「連絡先に追加」をタップすると電話帳の登録画面が表示されます。

3 [発信]→通話→[通話終了]

通話中に を押すと、通話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。

memo

◎ 送話口をおおっても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。

マイクをオフにするには

◎ 通話中に「 」をタップすると、アイコンのバーが点灯し相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。もう一度「 」をタップするとこちらの声が聞こえるようになります。

ハンズフリーで通話するには

◎ 通話中に「 」をタップすると、アイコンのバーが点灯しスピーカーから相手の方の声が聞こえるようになり、ハンズフリーで通話できます。もう一度「 」をタップすると元に戻ります。

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 010(au国際電話サービス：お申し込みは不要です)
- 171(災害用伝言ダイヤル)
- 177(天気予報：市外局番が必要です)
- 117(時報)
- 104(電話番号案内)
- 115(電報の発信)
- 110(警察への緊急通報)★
- 119(消防機関への緊急通報)★
- 118(海上保安本部への緊急通報)★
- 157(お客さまセンター)
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。
※次のNTTサービスはご利用になれません。
コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116(NTT営業案内)

通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
	通話中に連絡先リストを表示します。
	ハンズフリーで通話できます。
	マイクをオフにします。
	追加する電話番号を入力して連絡先に登録したり、三者通話サービス(▶P.112)に加入している場合は電話をかけることができます。
通話終了	通話を終了します。

履歴を利用して電話をかける

通話履歴を呼び出して利用できます。

1 ホーム画面で[電話]→[ ]

通話履歴一覧画面が表示されます。

- ：発信
- ：着信
- ：不在着信

2 電話をかける履歴を選択

「 」をタップすると通話詳細画面が表示されます。

memo

◎ 通話詳細画面から、連絡先に追加したり、SMS(Cメール)の作成をすることができます。

通話履歴のメニューを利用する

通話履歴一覧画面で をタップする、または履歴をロングタッチするとメニュー項目が表示され、番号を編集したり、履歴を削除するなどの操作が行えます。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

IS12Sからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

memo

◎ 通話設定(▶P.101)で「国番号表示(日本在圏時)」にチェックを入れると、電話発信時に国番号一覧が表示されます。地域番号(市外局番)+相手の電話番号を入力→[発信]と操作し、国番号一覧から相手の国を選択すると国際アクセスコードと国番号が自動的に付加され、国際電話をかけることができます。
◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00〜20:00
◎ 海外へ電話を転送できます(▶P.111「海外の電話へ転送する」)。

■ 緊急通報位置通知について

IS12Sは、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話を受ける

1 着信中に「 」（左）を「 」（右）までドラッグ

通話を開始します。

2 通話→［通話終了］

memo

かかってきた電話に出なかった場合は
◎ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号または連絡先に登録されている名前などが表示されます。
着信時に着信音／バイブレータを消すには
◎着信時に または を押すと、着信音やバイブレータを消すことができます。
他の機能をご利用中に着信した場合は
◎連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。画像を設定しているときは、画像がディスプレイに表示されます。

着信を拒否する

1 着信中に「 」（右）を「 」（左）までドラッグ

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

自分の電話番号を確認する

電話帳の連絡先一覧画面の最上部に自分の電話番号が表示されます。また、ここから名前やメールアドレスなど、自分の連絡先を編集できます。

1 ホーム画面で［ ］→［電話帳］

2 リスト最上部の［XXX-XXXX-XXXX］（自分の連絡先）をタップ

3 →［編集］

4 ［連絡先を編集］

「電話帳」と「au one Friends Note」のどちらかを選択します。
選択すると連絡先編集画面が表示されます。
編集できる項目については、「連絡先を登録する」（▶P.64）をご参照ください。

5 ［完了］

memo

◎「自分の連絡先」には、複数の電話番号、メールアドレスなどを登録できます。
◎「Eメール（ ）」アプリケーションでPCメールアドレスを設定すると、「自分の連絡先」に表示されます。

メール

メールについて

IS12Sでは、次のメールが利用できます。

■ Eメール

Eメール（～@ezweb.ne.jp）は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるauのサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます（▶P.42）。

■ SMS（Cメール）

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMS（Cメール）の送信および受信をご利用いただけます（▶P.53）。

■ PCメール

「Eメール（✉）」アプリケーションを利用して、au one メールのメールアカウントやExchange ActiveSyncアカウント、一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じようにIS12Sからメールを送受信できます（▶P.52、▶P.54）。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。IS12SからGmailの確認・送受信などができます（▶P.56）。

Eメールを利用する

- Eメールアプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、IS12S同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、IS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールは海外でもご利用になれます。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールの初期設定について

◎初期設定は、「エリア設定」を「日本」に設定し、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。
◎時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「ただいまメール設定を行っています。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
◎Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスを変更する」（▶P.51）をご参照ください。

Eメールを送信する

1 ホーム画面で［Eメール］→［新規作成］

送信メール作成画面が表示されます。

2 ［👤］

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3

アドレス帳引用	電話帳のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を越えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。au one Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のau one Friends Noteアプリをau one Marketからダウンロードしてください。
メール受信履歴引用 メール送信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。 **メールアドレスにチェックを入れる→［選択］** • ［≡］→［削除］→メールアドレスにチェックを入れる→［削除］→［削除］と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	自分の連絡先に登録されているメールアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け※1	クリップボードに記憶されたメールアドレスを貼り付けます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 ［件名を入力］→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5 本文入力欄を選択→本文を入力

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6 ［完了］→［送信］→［送信］

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号「ー（長音）゛（濁点）゜（半濁点）、。・「」」は入力できません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。
◎auの絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されて届きます。
※絵文字によっては変換されない場合があります。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどに送信した絵文字は、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.50）。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類（To／Cc／Bcc）を変更したりできます。

■ 宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の［👤］

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.42）の手順3へ進みます。
「宛先を追加」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→入力済みのアドレス入力欄の［✕］→［削除］

■ 宛先の種類を変更する場合

1 送信メール作成画面→アドレス入力欄の［To］

2

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

◎一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。
- IS12Sでは内部ストレージをmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカード」と表示されている場合でも、内部ストレージを表示します。

1 送信メール作成画面→［添付する］

2

SDカード	ファイル種別を選択して、内部ストレージのデータを添付します。
ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。

ギャラリー(動画)	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を録画して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

memo

◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎データを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 送信メール作成画面→削除するデータの[×]

2 [削除]

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[絵文字]

2 [D絵文字]/[ピクチャ]→[▲]

3

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードまたは内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [microSD]→[ダウンロード]

3

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます(デコレーションメール)。

1 送信メール作成画面→本文を入力

2 [装飾]

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→「⇦」/「⇨」で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置/効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※1	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	内部ストレージやギャラリーに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※1 「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
◎本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像/デコレーション絵文字/Flash®を挿入できます。
※一度挿入した画像/デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※Flash®は20件のうち最大2件まで挿入できます。ただし、同一のFlash®は挿入できません。
※挿入できる画像/デコレーション絵文字/Flash®は、拡張子が「.jpg」「.gif」「.swf」のファイルです。
◎「Eメールにデータを添付する」(▶P.42)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像/デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎手順4で[≡]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント/背景色を変更して、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめau one Marketから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→本文を入力

2 [速デコ]

「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

■ テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 Eメールトップ画面→[テンプレート]

テンプレート一覧画面が表示されます。
[≡]→[SDカードから読み込み]と操作すると、microSDメモリカードまたは内部ストレージ内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→[メール作成]

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[≡]

2

アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	「自分の連絡先」に登録している電話番号やメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文/冒頭文/署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文/署名はあらかじめ登録してください(▶P.50)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーにEが表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ステータスバーにメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

4 [受信ボックス]またはフォルダを選択→受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに[E]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.50)をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
◎「メール自動受信」(▶P.50)をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り[E]が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.44)の操作を行い、Eメールを受信してください。
◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字/半角約10,000文字(約10KB)までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

■ 受信済みの添付データを再生する場合

1 受信メール内容表示画面→添付データをタップ→[表示]→表示するアプリケーションを選択

■ 未受信の添付データを受信して再生する場合

1 受信メール内容表示画面→未受信の添付データをタップ→添付データをタップ→ [表示]→表示するアプリケーションを選択

memo

◎受信メール内容表示画面→添付データをタップ→[SDカードへ保存]と操作すると、添付データを内部ストレージに保存できます。
◎通常のEメール(テキストメール)では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif(アニメーションを含む)」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、インライン再生されない場合があります。
◎デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.50)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 Eメールトップ画面→[新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。
受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます。(送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります。)

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。
[返信]:返信のEメールを作成
[転送]:転送のEメールを作成
[保護]/[保護解除]:Eメールを保護/保護解除
[フラグ]/[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける/フラグを解除
▶:前のEメールを表示
◀:次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。
[再送信]:同じEメールをもう一度送信
[コピー編集]:コピーして編集
[保護]/[保護解除]:Eメールを保護/保護解除
[フラグ]/[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける/フラグを解除
▶:前のEメールを表示
◀:次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。
送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

3 Eメールをタップ

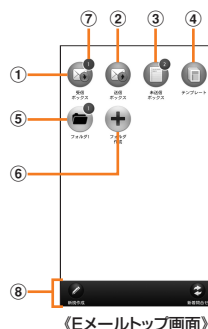
未送信メール内容表示画面が表示されます。
[送信]:宛先が入力されているEメールを送信
[編集]:Eメールを編集
[コピー編集]:保護されたEメールをコピーして編集
[保護]/[保護解除]:Eメールを保護/保護解除
[フラグ]/[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける/フラグを解除
▶:前のEメールを表示
◀:次のEメールを表示

memo

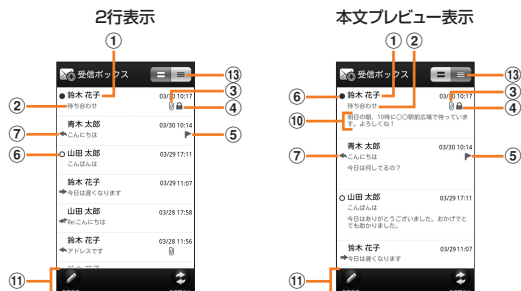
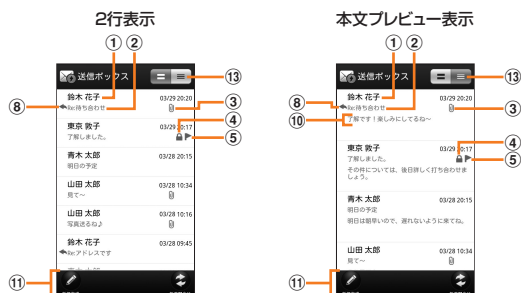
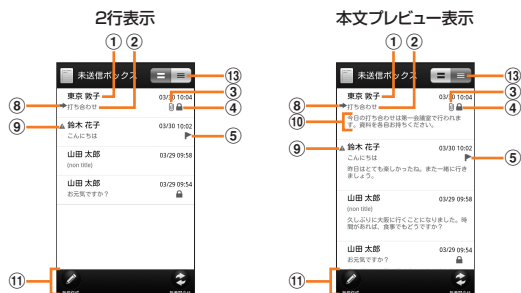
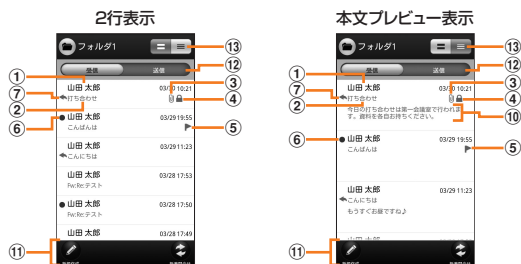
◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎Eメールトップ画面→[≡]→[au oneメール]→[au one メールTop]と操作すると、au one メールを利用できます(▶P.52「au one メールを利用する」)。
◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバーに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

■ Eメールトップ画面の見かた

Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《Eメールトップ画面》

① 受信ボックス
② 送信ボックス
③ 未送信ボックス
④ テンプレート
⑤ フォルダ
⑥ フォルダ作成
⑦ フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
⑧ アクションバー

メール

■ Eメール一覧画面の見かた

《メール一覧画面（受信ボックス）》

《メール一覧画面（送信ボックス）》

《メール一覧画面（未送信ボックス）》

《メール一覧画面（フォルダ）》

① 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

② 件名

③ 添付データあり

④ 保護されたEメール

⑤ フラグあり

⑥ ●：未読のEメール
○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

⑦ ←：返信したEメール
→：転送したEメール
⇄：返信／転送したEメール

⑧ ←：返信のEメール
→：転送のEメール

⑨ 送信に失敗したEメール／サーバーに元のメール（受信メール）がなく転送に失敗したEメール

⑩ 本文

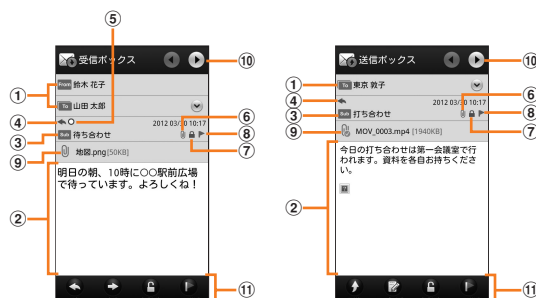
⑪ アクションバー

⑫ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

⑬ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

memo

◎横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール内容表示画面の見かた

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

① 受信メール
From：差出人の名前またはEメールアドレス
To ／ CC：宛先の名前またはEメールアドレス
※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。「⌄」をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。
送信メール
To ／ CC ／ BCC： 宛先の名前またはEメールアドレス

② 本文

③ Sub：件名

④ 受信メール
←：返信したEメール
→：転送したEメール
⇄：返信／転送したEメール
送信メール
←：返信のEメール
→：転送のEメール／転送したEメール

⑤ ○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

⑥ 添付データあり

⑦ 保護されたEメール

⑧ フラグあり

⑨ 📎：受信済みの添付データ
📎：未受信の添付データ
※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。「⌄」をタップすると、その他の添付データを表示できます。

⑩ 前のEメール／次のEメールを表示
※本文表示エリアを左右にフリックすることで、前のEメール／次のEメールを表示することもできます。

⑪ アクションバー

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→ [≡]

2

検索		▶P.49「Eメールを検索する」
移動		Eメールを移動します。 **移動するEメールにチェックを入れる→［移動］→移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.48）。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除		Eメールを削除します。 **削除するEメールにチェックを入れる→［削除］→［削除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。
保護／解除		Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除するEメールにチェックを入れる→［保護］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ		Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける／外すEメールにチェックを入れる→［つける］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
その他	SDカードへ保存 ※IS12Sでは内部ストレージをmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカードへ保存」と表示されている場合でも、内部ストレージに保存します。	Eメールを内部ストレージに保存します。microSDメモリカードに保存する場合は、以下の手順で内部ストレージに保存した後、「ASTRO」アプリケーションを利用してmicroSDメモリカードにEメールをコピーしてください（▶P.90）。 **内部ストレージに保存するEメールにチェックを入れる→［保存］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 内部ストレージに保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」でIS12Sに読み込むことができます（▶P.51）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.48「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を取得するEメールにチェックを入れる→［受信］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.49「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→操作するEメールをロングタッチ

2

返信		Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
送信		未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集		未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集		送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除		Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除		Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由		送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除		Eメールを削除します。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.48）。

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面 → [≡]**

2

転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.48）。	
削除	Eメールを削除します。	
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または「⇦」／「⇨」でカーソルを移動→［選択開始］→「⇦」／「⇨」で選択範囲を指定→［コピー］** • 受信／送信メール内容表示画面で本文をロングタッチ→［本文選択］と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→［語句を選択］／［すべて選択］→「」／「」をドラッグして選択範囲を指定→［コピー］と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。	
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。	
その他	SDカードへ保存 ※IS12Sでは内部ストレージをmicroSDメモリカードとしてマウントしていたため、「SDカードへ保存」と表示されている場合でも、内部ストレージに保存します。	Eメールを内部ストレージに保存します。microSDメモリカードに保存する場合は、一度内部ストレージに保存した後、「ASTRO」アプリケーションを利用してmicroSDメモリカードにEメールをコピーしてください（▶P.90）。 • 内部ストレージに保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」でIS12Sに読み込むことができます（▶P.51）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面**

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 **差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ**

3

Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先にしてEメールを作成します。 アプリケーションの選択画面が表示された場合は、メールを作成するアプリケーションを選択します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **［新規振分けフォルダ作成］／［「×××」（×××はフォルダ名）に追加］→［保存］** • ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.48「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.51「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

2 **件名をタップ→［コピー］**

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 **本文中の電話番号をタップ**

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 **http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html**
SMS（Cメール）作成	選択した電話番号を宛先としたSMS（Cメール）を作成します。 ▶P.53「SMS（Cメール）を送信する」
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを電話帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 **本文中のURLをタップ**

3

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージに保存できます。

1 受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面で本文をロングタッチ

2 [画像保存]

3 保存する画像にチェックを入れる

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 [保存先選択]

保存先選択画面が表示されます。

5 [保存]

選択した画像が内部ストレージの「MyFolder」に保存されます。

memo

◎ 保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください（▶P.44）。

Eメールトップ画面でできること

1 Eメールトップ画面→[≡]

2

検索		▶P.49「Eメールを検索する」
フォルダ編集		▶P.48「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除		選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け		現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定		▶P.49「Eメールを設定する」
au one メール	au one メールTop	▶P.52「au one メールを利用する」
	au one メールへ自動保存	Eメール（～@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **[次へ]→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→[OK]→画面に従って設定** • あらかじめau one メールの会員登録を行ってください（▶P.52）。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 Eメールトップ画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 [●]

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 [●]→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 Eメールトップ画面→[≡]→[フォルダ編集]→フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を設定する場合

2 [振分け条件追加]→[▾]

3

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • 「●」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • 「●」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを入れる→[保存]

memo

◎ 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。

◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。

◎ 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。

◎ 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「×」をタップして、条件を編集したり、削除することができます。

◎ 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。

◎ 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>･･･>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、通知LEDの色を設定できます。

1 Eメールトップ画面→[≡]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	SDカードから探す	内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]→[OK]→[保存]**	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知LEDの色を設定します。 **[OFF]／色を選択→[OK]→[OK]→[保存]**	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1〜60秒の範囲で指定します。	

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.49）。

1 **Eメールトップ画面→ ≡ →[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択**

2 **[フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]**

「フォルダロック」にチェックが入ります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 **[保存]**

フォルダを並び替える

1 **Eメールトップ画面で移動するフォルダをロングタッチ**

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 **移動する場所までドラッグして指を離す**

◎「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」は移動できません。

Eメールを検索する

1 **Eメールトップ画面→ ≡ →[検索]**

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面で ≡ →[検索]と操作します。

2 **キーワードを入力**

半角と全角を区別して入力してください。

3 **[🔍]**

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

■ 検索結果を絞り込む場合

4 **[From]／[To]／[件名]／[本文]**

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

1 **Eメールトップ画面／受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→ ≡ →（[その他]→）[Eメール設定]**

Eメール設定画面が表示されます。Eメールトップ画面では「その他」をタップする必要はありません。

2

受信･表示設定	▶P.50「受信･表示に関する設定をする」	
送信･作成設定	▶P.50「送信･作成に関する設定をする」	
通知設定	▶P.50「通知に関する設定をする」	
パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4〜16文字の英数字）を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更･その他の設定	▶P.51「Eメールアドレスを変更する」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ･復元	▶P.51「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[受信・表示設定]**

2

項目		説明
メール自動受信		サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**：電話帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録する。 • 「」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※1」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[ ]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。 • 受信メール一覧画面で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ		自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示		電話帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ		Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[送信・作成設定]**

2

項目	説明
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称（全角12／半角24文字まで）を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。 ※Flash®は1件のみ挿入できます。 ※冒頭文／署名に同一のFlash®は挿入できません。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。 ※Flash®は1件のみ挿入できます。 ※冒頭文／署名に同一のFlash®は挿入できません。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[通知設定]**

2

項目		説明
着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	SDカードから探す	内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**
LED		Eメール受信時の通知LEDの色を設定します。 **[OFF]／色を選択→[OK]**
着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知		Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知		Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

Eメールアドレスを変更する

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[OK]

2

Eメールアドレスの変更	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. [承諾する]** **3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力→[送信]→[OK]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	**オススメの設定はこちら** ▶P.51「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先	IS12Sで受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[終了]** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとにバックアップすることができます。また、バックアップしたデータはIS12Sへ読み込むことができます。
IS12Sではバックアップしたデータは、IS12S本体の内部ストレージ(/mnt/sdcard/private/au/email/BU)に保存されます。microSDメモリカードにバックアップする場合は、一度内部ストレージにバックアップした後、「ASTRO」アプリケーションを利用してmicroSDメモリカードにデータをコピーしてください。
microSDメモリカードから復元する場合は、「ASTRO」アプリケーションを利用して、microSDメモリカードから内部ストレージにデータをコピーしてから復元してください。

• 「ASTRO」アプリケーションの操作について詳しくは、「アストロファイルマネージャでコピー／移動する」（▶P.90）をご参照ください。

Eメールをバックアップする

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [SDカードへバックアップ]

3 バックアップするフォルダにチェックを入れる

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

4 [OK]

内部ストレージにバックアップされます。

バックアップデータを復元する

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [SDカードから復元]

3 復元するフォルダをタップ→[OK]

内部ストレージに保存されたバックアップデータが表示されます。

4 復元するバックアップデータにチェックを入れる→[OK]

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]／[上書き保存]→[OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎添付ファイルはバックアップされません。
◎バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます）、バックアップしたEメールを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールを転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[OK]

■おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルター]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。

詳細設定	個別設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
		迷惑メールおまかせ規制	メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
		なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（中）（低）の3つの設定があります。 ※指定受信リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することもできます。 注）本受信設定リストに、ezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。
		HTMLメール規制	メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。
		URLリンク規制	本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。
		ウィルスメール規制	メールサーバーで受信したメールの添付ファイルがウィルスに感染されている場合に、受信規制を行います。
		拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかしないかを設定することができます。
	指定受信リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リスト以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF（受信拒否）にしてください。
	指定拒否リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	アドレス帳受信設定		au one アドレス帳もしくはau one Friends Noteに保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
設定確認／解除			迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行			▶P.52「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって			迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）>なりすまし規制>指定拒否リスト設定>指定受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>一括指定受信>迷惑メールおまかせ規制>ウィルスメール規制
◎指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト（なりすまし・転送メール許可）に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール（～@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。
また、PCメールでau one メールを利用することができます。PCメールで利用する場合は、au one メールの会員登録を行った後、以下の設定を行う必要があります。

- au one メールのデスクトップ画面で［設定］→［メール転送とPOP/IMAP設定］と操作し、「IMAPを有効にする」に設定する
- au one メールのデスクトップ画面で［設定］→［アカウント］→［Google アカウントの設定］→［メールパスワード設定］と操作し、メールパスワードを設定する

memo

◎au one メールの機能や設定については、ホーム画面で［▦］→［au one］→［サポート］→［au one メール ヘルプ］と操作し、ヘルプの各項目をご参照ください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau one-IDが必要です。「au one-IDの設定をする」（▶P.22）をご参照ください。

1 **Eメールトップ画面→［≡］→［au oneメール］→［au one メールTop］**

2 **au one-IDとパスワードを入力→［ログイン］**

3 **［今はしない］／［保存］／［保存しない］**
会員登録画面が表示されます。
「保存」／「保存しない」をタップした場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 **画面の指示に従って必要項目を入力し、利用規約を読む**

5 **［規約に同意して登録する］**
登録内容の確認画面が表示されます。

6 **［上記の内容で登録する］**
会員登録が完了します。

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は以下の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面→[≡]→[au oneメール]→[au one メールTop]

au one メールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。

2 「au one メール表示:」の[標準]

受信トレイがau one メールの表示形式で表示されます。
ホーム画面で[▦]→[au one]→[メール]と操作しても、受信トレイをau one メールの表示形式で表示できます。
画面を上へスライドして「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

■ au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド(最初のメールへの返信)単位で表示されます。重要なメールにスター(星印)を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへの自動保存機能	Eメール(~@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます(▶P.48)。

SMS(Cメール)を利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

SMS(Cメール)を送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[▦]→[SMS(Cメール)]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。
スレッドには、相手の方と送受信したSMS(Cメール)が保存されます。

2 [■]

3 [■]→「連絡先」/「お気に入り」の一覧から送信する相手を選択→[完了]

画面上部のボックスに電話番号を入力→[追加]→[完了]と操作しても、宛先を追加できます。

4 [メッセージを作成]→本文を入力

メッセージは全角70/半角140文字まで入力できます。

5 [送信]

◎連絡先画面の上部にあるボックスに登録している名前または電話番号を入力すると、連絡先に登録されている電話番号を検索できます。
◎Shift JIS範囲外の文字を入力してSMS(Cメール)を作成、送信すると、文字によっては受信側で「?」と表示されます。
◎SMS(Cメール)が送信できなかった場合は、「送信できませんでした」と表示され、SMS(Cメール)が保存されます。保存されたSMS(Cメール)をロングタッチ→[メッセージを再送信]と操作すると、再送信できます。
◎SMS(Cメール)センターは、以下の通りSMS(Cメール)をお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMS(Cメール)は、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMS(Cメール)センターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMS(Cメール)が配信されるタイミングは、以下の通りです。

SMS(Cメール)蓄積後すぐに配信	新しいSMS(Cメール)がSMS(Cメール)センターに蓄積されるたびに、SMS(Cメール)センターでお預かりしていたSMS(Cメール)がすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMS(Cメール)を繰り返し送信するリトライ機能によりSMS(Cメール)を配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS12Sで通話を終了したときに、SMS(Cメール)センターにお預かりしていたSMS(Cメール)をすべて配信します。

◎発信者番号通知をせずにSMS(Cメール)を送信することはできません。
◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
◎SMS(Cメール)の送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信できませんでした」と表示される場合があります。

SMS(Cメール)を受信する

1 SMS(Cメール)を受信

SMS(Cメール)の受信が終了すると、ステータスバーに■が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 受信したSMS(Cメール)をタップ

memo

◎IS12Sの端末内部メモリの空き容量が少なくなると、SMS(Cメール)を受信できません。保存しているメールを削除するなどして、端末内部メモリの空き容量を増やしてください。
◎SMS(Cメール)の受信料は、無料です。
◎受信したSMS(Cメール)では、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎SMS(Cメール)メッセージの「☆」をタップすると「☆」(黄色)に変わります。「☆」(黄色)のメッセージは、スレッド一覧画面で[≡]→[スター付きメッセージ]と操作すると一覧表示できます。
◎本文中に電話番号やURLを含むSMS(Cメール)を受信するには、SMS(Cメール)安心ブロック機能を解除する必要があります(▶P.54)。
◎受信したメールはスレッド一覧画面で[≡]→[検索]と操作すると検索できます。
◎未読のSMS(Cメール)があるスレッドには、「■」が表示されます。

SMS(Cメール)を返信/転送する

1 ホーム画面で[▦]→[SMS(Cメール)]

2 返信/転送するスレッドをタップ

■ 返信する場合

3 [メッセージを作成]→本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するSMS(Cメール)をロングタッチ

4 [メッセージを転送]

5 宛先を選択

新規宛先を入力する場合は「■」をタップし、「連絡先」/「お気に入り」の一覧から転送する相手を選択→[完了]、または画面上部のボックスに電話番号を入力→[追加]→[完了]と操作します。

6 本文を入力

7 [送信]

SMS(Cメール)を削除する

1 ホーム画面で[▦]→[SMS(Cメール)]

■ 1件削除する場合

2 削除するSMS(Cメール)があるスレッドをタップ

3 削除するSMS(Cメール)をロングタッチ

4 [メッセージを削除]→[はい]

■ スレッドごとSMS(Cメール)を削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 [メッセージを削除]→[はい]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 [≡]→[複数のメッセージを削除]

3 削除するスレッドにチェックを入れる

すべてのスレッドを削除するときは、「全て選択」をタップします。

4 [削除]

SMS(Cメール)の電話番号を連絡先に登録する

1 ホーム画面で[▦]→[SMS(Cメール)]

2 登録する電話番号のスレッドをタップ

3 [≡]→[連絡先に追加]

■ 新規登録する場合

4 [連絡先を新規登録]

5 [連絡先を作成]/[連絡先を新規登録]

6 [本体連絡先]/[(Googleアカウント)]

Googleアカウントを設定していない場合は、「本体連絡先」に保存されます。
編集できる項目については、「連絡先を登録する」(▶P.64)をご参照ください。

7 必要項目を入力

8 [完了]

■ 既存の連絡先に追加登録する場合

4 追加登録する連絡先をタップ

5 [連絡先を編集]

「電話帳」と「au one Friends Note」のどちらかを選択します。
選択すると連絡先編集画面が表示されます。

6 必要項目を入力

7 [完了]

SMS(Cメール)安心ブロック機能を設定する

SMS(Cメール)安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMS(Cメール)を受信拒否する機能です。

memo

◎ SMS(Cメール)安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎ 機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ ブロック対象のSMS(Cメール)は、通常のSMS(Cメール)(ぷりペイド送信含む)です。
お留守番サービス(伝言お知らせ、着信お知らせ)、Eメールお知らせ、待ちうた情報お知らせサービスは対象外です。

■ SMS(Cメール)安心ブロック機能の設定方法

SMS(Cメール)安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMS(Cメール)を送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMS(Cメール)を送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMS(Cメール)を送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMS(Cメール)を送信する。

※ 設定時のSMS(Cメール)送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMS(Cメール)は、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS(Cメール)安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMS(Cメール)がSMS(Cメール)安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され送信されません。

SMS(Cメール)の設定を行う

SMS(Cメール)の各種設定は、設定画面から行います。

1 ホーム画面で[▦]→[SMS(Cメール)]

2 [≡]→[設定]

3

配信確認レポート	チェックを入れると、相手がメッセージを受信するたびに、自分の送ったメッセージにチェックがつきます。
通知	チェックを入れると、ステータスバーでSMS(Cメール)の受信を通知します。
通知音	通知設定を行っている場合、受信時に選択した着信音で通知します。
通知バイブレーション	通知設定を行っている場合にチェックを入れると、受信時に振動でもお知らせします。
通知ライト	通知設定を行っている場合にチェックを入れると、受信時に通知LEDが点灯してお知らせします。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントをIS12Sに設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります(▶P.54「PCメールのアカウントを設定する」)。
- 「Eメール(✉)」アプリケーションでau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります(▶P.52「au one メールを利用する」)。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
- PCメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプ(遠隔操作でデータを消去)を設定していると、IS12S内の該当アカウントのデータが消去される場合があります。

1 ホーム画面で[▦]→[Eメール(✉)]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力

3 [次へ]

自動的に受信メールサーバーや送信メールサーバーの設定が行われます。
設定を完了できない場合は、「手動セットアップ」をタップし、アカウント設定を手動で入力します(▶P.55)。

4 [このアカウントに名前を付ける]→アカウント名を入力

5 [あなたの名前]→あなたの名前を入力

6 **[完了]**

設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面(受信トレイ)が表示されます。

memo

◎「あなたの名前」はメールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名称です。
◎Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、手順**5**で「あなたの名前」は表示されません。ただし、登録後にアカウント設定を変更する場合(▶P.55)には設定できます。

■ 手動で設定する

ご利用になるPCメールアカウントのメールサーバーが自動設定されない場合や「手動セットアップ」を選択して設定する場合は、メールサーバーの設定を行います。

1 **ホーム画面で[▦]→[Eメール(✉)]**

2 **PCメールのメールアドレスとパスワードを入力**

3 **[手動セットアップ]**

4 **アカウントのタイプを選択**

5 **必要な項目を設定→[次へ]**

画面の指示に従って、受信メールサーバーや送信メールサーバーの設定をします。

6 **[このアカウントに名前を付ける]→アカウント名を入力**

7 **[あなたの名前]→あなたの名前を入力**

8 **[完了]**

設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面(受信トレイ)が表示されます。

memo

◎メール一覧画面(受信トレイ)→[≡]→[フォルダ]と操作すると、そのアカウントのメールボックス画面が表示されます。

別のPCメールアカウントを設定する

アカウントを追加登録できます。

1 **ホーム画面で[▦]→[Eメール(✉)]**

アカウント一覧画面が表示されます。アカウント一覧画面以外が表示された場合は、[≡]→[アカウント]または[≡]→[その他]→[アカウント]と操作するとアカウント一覧画面が表示されます。

2 **[≡]→[アカウントを追加]**

3 **PCメールのメールアドレスとパスワードを入力**

必要に応じて、「いつもこのアカウントでEメールを送信」にチェックを入れます。

4 **[次へ]**

設定を完了できない場合は、「手動セットアップ」をタップし、アカウント設定を手動で入力します(▶P.55)。

5 **[このアカウントに名前を付ける]→アカウント名を入力**

6 **[あなたの名前]→あなたの名前を入力**

7 **[完了]**

memo

◎アカウント一覧画面の「統合受信トレイ」には、設定したアカウントの受信メールがすべて表示されます。
◎アカウント一覧画面でアカウント名をタップすると、そのアカウントのみのメール一覧画面(受信トレイ)が表示されます。

アカウントの設定を変更する

1 **アカウント一覧画面→設定を変更するアカウントをタップ**

2 **[≡]→[その他]→[アカウント設定]**

3

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
署名	署名を変更します。
受信トレイの確認頻度※1	新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
優先アカウント	チェックを入れると、メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
Eメール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	PCメールを受信した場合の着信音を設定します。
バイブレーション	PCメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
受信サーバー設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。
送信サーバー設定	

※1「受信トレイの確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。

memo

◎Exchange ActiveSyncアカウントでは、「同期の頻度」「連絡先を同期」「カレンダーを同期」も設定できます。また、「送信サーバー設定」は設定できません。

PCメールのアカウントを削除する

1 **アカウント一覧画面→削除するアカウントをロングタッチ**

2 **[アカウント削除]**

3 **[OK]**

PCメールを送信する

1 **アカウント一覧画面→[✎]**

優先アカウント以外のメールアカウントからメールを送る場合は、アカウント一覧画面→メールを作成するアカウントをタップ→[✎]と操作します。

2 **[宛先]→宛先を入力**

「👤」をタップすると、電話帳からメールアドレスを宛先に入力できます。
CcまたはBccを追加するには、[≡]→[Cc/Bccを追加]と操作します。
複数の宛先にPCメールを送信する場合は、カンマで区切って次のメールアドレスを入力します。

3 **[件名]→件名を入力**

4 **本文入力欄を選択→本文を入力**

5 **必要に応じて[📎]→添付ファイルの追加操作を行う**

添付は「画像を追加」「写真を撮影」「ムービーを追加」などから選択できます。添付可能なファイルの種類は、最大5MBの画像/動画/ミュージックファイルとなります。

6 **[✉]**

memo

◎受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
◎メール作成中に他の画面に遷移すると、自動的に下書き保存します。
◎PCメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
◎PCメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末で「PCからの受信拒否」の設定を行っていると、メールを送受信できません。

PCメールを受信する

1 アカウント一覧画面→受信するPCメールのアカウントをタップ

2 [≡]→[更新]

3 メールをタップ

メール詳細画面が表示されます。

memo

◎PCメールのアカウント設定で「Eメール着信通知」にチェックを入れ、「受信トレイの確認頻度」を「手動」以外に設定している場合、新しいメールの受信をお知らせする[✉]がステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にスライドして受信したPCメールを確認できます。
◎PCメールのアカウント設定（▶P.55）で「受信トレイの確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信を利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。
◎受信したPCメールのアドレスをタップすると、連絡先に登録することができます。
◎メール詳細画面で「★」をタップすると「★」（黄色）に変わり、マークを付けたメールがアカウント一覧画面の「スター付き」フォルダに追加されます。「スター付き」フォルダを使用すると、マークを付けたメールにすばやくアクセスできます。メール詳細画面に「★」が表示されていないときは、「⌄」をタップすると表示されます。
◎本体内部メモリの残量が少なくなるとメモリが少ない旨が表示され、メールの受信ができなくなります。保存しているメールを削除するなどして本体メモリの容量を空けてください。

■ 添付ファイルを保存する

1 添付ファイル付きのメールの「⌄」をタップ

添付ファイルのリストが表示されます。

2 保存するファイルをタップ→[保存]

「開く」をタップして添付ファイルを表示させることもできます。

■ メール一覧画面（受信トレイ）の表示を変更する

メール一覧画面（受信トレイ）を分割して、メール本文を確認できます。

1 アカウント一覧画面→表示方法を変更するアカウントをタップ

2 [≡]→[その他]→[プレビュー画面]

3

OFF	メール一覧画面（受信トレイ）は分割されません。
横表示のみ利用	横画面時に受信トレイが分割され、選択したメールの本文が表示されます。
ON	受信トレイが分割され、選択したメールの本文が表示されます。

memo

◎複数のアカウントを登録している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。

PCメールを返信／転送する

1 アカウント一覧画面→返信／転送するPCメールのアカウントをタップ

■ 返信する場合

2 メールをタップ→[↩]（返信）／[↩↩]（全員に返信）

3 本文を入力

4 [✉]

■ 転送する場合

2 メールをタップ→[↪]（転送）

3 転送先のメールアドレスを入力

4 本文を入力

5 [✉]

memo

◎メールを返信または転送すると、返信または転送元のメールの内容が引用されます。元のメールの内容の引用を削除するには、「✕」をタップします。
◎メールを転送すると、元のメールの添付ファイルが引用されます。添付ファイルの引用を削除するには、「✕」をタップします。
◎メールをロングタッチ→[返信]／[全員に返信]／[転送]と操作しても、返信／全員に返信／転送できます。

PCメールを削除する

1 アカウント一覧画面→削除するPCメールのアカウントをタップ

2 メールをロングタッチ→[削除]→[はい]

memo

◎複数のメールを削除するには、メール一覧画面→[≡]→[複数選択]→削除するメールにチェックを入れる→[🗑]→[はい]と操作します。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。IS12SからGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.22）をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Gmail受信トレイ画面→[≡]→[その他]→[ヘルプ]と操作してモバイルヘルプをご確認ください。

Gmailを起動する

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

アカウント設定したGmail受信トレイ画面が表示されます。
[≡]→[ラベルを表示]と操作すると、受信トレイや送信トレイなどが一覧できるラベル画面が表示されます。

Gmailを更新する

IS12Sの「Gmail」アプリケーションとGmailアカウントを同期して、受信トレイを更新します。

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 [≡]→[更新]

受信トレイが更新されます。
自動で更新するには、Gmail受信トレイ画面→[≡]→[アカウント]→[≡]→[アカウントの設定]と操作して、「自動同期を有効にする」にチェックを入れてください。

Gmailを送信する

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 [≡]→[新規作成]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メッセージを作成]→本文を入力

6 [✉]

「💾」をタップすると下書き保存されます。

Gmailを確認する

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 受信したメールをタップ

Gmailを返信／転送する

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 返信／全員に返信／転送するメールをタップ

■返信する場合

3 [↩]→[返信 ▾]→[返信]／[全員に返信]

4 [メッセージを作成]→本文を入力

5 [▣]

■転送する場合

3 [↩]→[返信 ▾]→[転送]

4 [To]→宛先を入力

5 [メッセージを作成]→本文を入力

転送元のメールの内容を引用するには、「引用返信」をタップします。

6 [▣]

◎返信／全員に返信／転送するメールで「◂」をタップしても、「返信」／「全員に返信」／「転送」を選択できます。

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で[≡]をタップするとメニュー項目が表示され、メールの検索や設定、アカウントの追加などの操作が行えます。

メール

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

- パケット通信（IS NET、au.NET）（▶P.60「パケット通信を利用する」）
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能（▶P.96「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）

memo

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円、税込）と別途通信料がかかります。

パケット通信を利用する

IS12Sは、「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。IS12SにはあらかじめIS NETやau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

memo

◎最大通信速度受信9.2Mbps／送信5.5Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
※ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

◎ISフラットなどのパケット通信料定額サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。IS NET、au.NET、パケット通信料定額サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額サービスのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※1	有料

※1 通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

ウェブページを表示する

1 ホーム画面で[▦]→[ブラウザ]

ブラウザ画面が表示されます。

memo

◎ブラウザ画面では、IS12Sを横向きにして閲覧することもできます。ブラウザ画面→[≡]→[その他]→[設定]と操作して、「常に横向きに表示」にチェックを入れると、横画面表示で固定されます。

■ ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でウェブページを閲覧できます。

- **タップ**：リンクやキーを選択・実行できます。
- **スライド／フリック**：ページをスクロールできます。
- **ピンチアウト／ピンチイン**：ページを拡大／縮小できます。
- **ダブルタップ**：タップした位置を拡大／縮小できます（ウェブページによっては操作できない場合があります）。
- [－]：縮小
- [＋]：拡大

ウェブページを移動する

1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ

2 URLまたは検索する文字を入力

入力した文字から始まる候補が入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／アドレスバーの「▶」をタップ

4 前のページに戻るには[↩]

memo

◎「🎤」をタップすると、音声で検索語句を入力し、ウェブページを検索できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

ブラウザ画面で[≡]をタップするとメニュー項目が表示され、再読み込みやブックマークの管理などの操作が行えます。

ウィンドウを利用する

ウェブページを表示中に新しいウィンドウを開き、最大8つの別のウィンドウを表示することができます。

■ 新しいウィンドウを開く

1 ブラウザ画面→[≡]→[新しいウィンドウ]

新しいウィンドウが開き、ホームページに設定したウェブページが表示されます。

■ ウィンドウを切り替える

1 ブラウザ画面→[≡]→[ウィンドウ]

2 表示するウィンドウをタップ

■ ウィンドウを閉じる

1 ブラウザ画面→[≡]→[ウィンドウ]

2 閉じるウィンドウの「×」をタップ

■ ウェブページ内のテキストを検索する

1 ブラウザ画面→[≡]→[その他]→[ページ内検索]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索する文字を入力

文字を入力すると、一致する文字が緑色でハイライト表示されます。

3 前の一致項目に戻るには[◀]／次の一致項目に進むには[▶]

4 検索バーを閉じるには[×]

■ ウェブページ内のテキストをコピーする

1 ブラウザ画面→[≡]→[その他]→[テキストを選択してコピー]

2 コピーするテキストの開始点に指を置き、コピーするテキストの終了点までドラッグ

選択されたテキストはオレンジ色でハイライト表示されます。

3 画面から指を離し、選択したテキスト部分をタップ

テキストがコピーされると、「テキストをクリップボードにコピーしました。」と表示されます。

memo

◎コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先のテキストボックスをロングタッチ→[貼り付け]と操作します。
◎テキストを選択できないウェブページもあります。

■ ウェブページ内の画像をダウンロードする

1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像／画像を含むリンクをロングタッチ

2 [画像を保存]

3 保存先を選択→[OK]

「既定のダウンロード先に設定」にチェックを入れると、以降は選択した保存先に自動的に保存されます。

memo

◎「既定のダウンロード先に設定」にチェックを入れた後に、画像の自動保存先を変更するには、ブラウザ画面→ ≡ →[その他]→[設定]→[ダウンロード設定]と操作します。
◎ダウンロードした画像は、ホーム画面で[▦]→[ギャラリー]と操作して確認できます。選択した保存先によって、フォルダは異なります。また、ブラウザ画面→ ≡ →[その他]→[ダウンロード履歴]と操作するか、「ダウンロード」アプリケーションからも確認できます。

■ ウェブページの表示を自動調整する

画面に合わせてウェブページの表示やサイズを自動調整します。

- お買い上げ時は、「ページの自動調整」にチェックが入った状態になっています。

1 ブラウザ画面→ ≡ →[その他]→[設定]→「ページの自動調整」にチェックを入れる

リンクを操作する

1 リンクを操作するウェブページを開く

2 リンクをタップ

リンクがオレンジ色のボックスで囲まれ、リンク先のページへ移動します。

■ リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ブックマーク登録や保存、URLのコピーなどの操作が行えます。
また、画像や画像を含むリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、画像の保存や壁紙に設定などの操作が行えます。

memo

◎ブラウザでは一部の電話番号が認識されるため、電話番号に発信できます。電話番号への発信を行うには、電話番号をタップします。
◎Basic認証またはSSL通信を必要とするウェブサイトから「リンクを保存」でファイルをダウンロードする際、ダウンロードできない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→ ≡ →[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 開くブックマークをタップ

memo

◎アドレスバーの右側に表示される「 ★ 」をタップしても、ブックマーク画面が表示されます。

ブックマークに登録する

1 ブラウザ画面→ ≡ →[ブックマーク]

≡ →[リスト表示]／[サムネイル表示]と操作すると、ブックマーク一覧の表示方法を切り替えることができます。

■ サムネイル表示の場合

2 [★追加]→必要に応じてブックマークの名前を編集→[OK]

■ リスト表示の場合

2 [★現在のページをブックマーク]→必要に応じてブックマークの名前を編集→[OK]

memo

◎ブックマーク画面→ ≡ →[最後に表示したページをブックマークする]→[OK]と操作しても、ブックマークに登録できます。
◎ブックマーク画面→[よく見るサイト]／[履歴]→各履歴の[☆]と操作すると、★ に変わり、ブックマークに登録できます。

■ ブックマーク画面のメニューを利用する

ブックマーク画面でブックマークをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。

履歴を確認する

1 ブックマーク画面→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ

3 確認するURLをタップ

よく閲覧するウェブページを確認するには、「よく見るサイト」をタップします。

memo

◎ブラウザ画面→ ↩ をロングタッチしても、履歴画面を表示できます。

履歴を削除する

1 履歴画面→ ≡ →[履歴削除]

すべての履歴が削除されます。
履歴を削除すると、「よく見るサイト」一覧もすべて削除されます。

memo

◎1件削除の場合、履歴画面→削除する履歴をロングタッチ→[履歴から削除]と操作します。

ブラウザを設定する

ブラウザの表示やコンテンツに関する設定、プライバシー設定、セキュリティ設定などを行うことができます。変更した設定をリセットすることもできます。

1 ブラウザ画面→ ≡ →[その他]→[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更

memo

◎ブラウザ設定画面→[ホームページ設定]→[現在のページを使用]→[OK]と操作すると、表示されているウェブページがホームページに設定されます。また、設定されたURLは新しいウィンドウを開くと表示されます。
◎キャッシュなどの一時インターネットファイルを消去するには、ブラウザ設定画面で「プライバシー設定」の各項目を設定してください。
◎フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリーに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断できます。ホーム画面で ≡ →[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[フィルタリング設定]→[はい]と操作し、パスコードを設定すると、フィルタリング機能を設定できます。

ツール・アプリケーション

電話帳

連絡先を登録する

電話帳の連絡先一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加したり、ソーシャルネットワークサービス（SNS）の更新情報を表示したりすることもできます。

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎「アカウントと同期」（▶P.103）を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などとIS12Sの電話帳を同期できます。（Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。）

1 ホーム画面で［▦］→［電話帳］

連絡先一覧画面が表示されます。
初めて電話帳を開いたときは、セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードでは、microSDメモリカードや内部ストレージから連絡先を読み込んだり、GoogleアカウントとIS12Sの連絡先の同期を行うことができます。
「完了」をタップすると、電話帳をご利用になれます。

《連絡先一覧画面》

① 連絡先検索フィールド
② 新しい連絡先の追加アイコン
③ 自分の連絡先
④ 連絡先に登録された名前
⑤ Googleトークオンライン状況※1
⑥ 検索バー
　名前を五十音順、アルファベット順などで検索します。
⑦ 画面切替タブ
　連絡先／電話／お気に入りタブを切り替えます。

※1 使用状況によりGoogleトークのオンライン表示と異なる場合があります。

2 ［👤⁺］

3 ［連絡先を作成］

「連絡先を新規登録」（au one Friends Note）でも登録できます。

4 ［本体連絡先］／［（Googleアカウント）］

Googleアカウントを設定していない場合は、「本体連絡先」に保存されます。

5 名前を入力

6 必要に応じて他の項目を入力

電話番号やメールアドレス、着信音などが入力できます。
「フィールドを追加」をタップして項目を増やすことができます。

7 ［完了］

memo

◎「ふりがな（姓／名）」を登録した場合、連絡先一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順に従って表示されます。

連絡先の着信音を設定する

1 連絡先一覧画面→着信音を設定する連絡先をロングタッチ

2 ［連絡先を編集］

3 ［連絡先を編集（電話帳）］

4 着信音の項目をタップ→着信音を選択→［完了］

着信音を選択すると、選択した曲が再生されます。

5 ［完了］

memo

◎「au one Friends Note」で着信音の設定はできません。

連絡先の画像を設定する

1 連絡先一覧画面→画像を設定する連絡先をロングタッチ

2 ［連絡先を編集］

3 ［連絡先を編集（電話帳）］

「au one Friends Note」でも設定できます。

4 ［👤］

■画像をギャラリーから選択して設定する場合

5 ［ギャラリーから選択］→［アストロ］／［ギャラリー］

「アストロ」を選択した場合は、画像が含まれているフォルダをタップします。

6 登録する画像をタップ→連絡先として登録する画像部分にオレンジ色の枠をドラッグ→［保存］

7 ［完了］

■写真を撮影して設定する場合

5 ［新しい写真を撮影］

6 カメラで撮影→連絡先として登録する画像部分にオレンジ色の枠をドラッグ→［保存］

7 ［完了］

memo

◎「ギャラリー」アプリケーションからも画像を設定できます（▶P.71）。

ソーシャルネットワークサービス（SNS）の連絡先情報を表示する

ソーシャルネットワークサービス（SNS）のアカウント設定を行っている場合、連絡先を同期させて、連絡先一覧画面に「友達」などの連絡先情報を表示することができます。また、各サービスのステータス更新情報を表示させることもできます。

1 連絡先一覧画面→［≡］→［設定］

2 ［アカウントと同期］

アカウントを設定していない場合は、「アカウントを追加」をタップして設定できます。

3 同期するアカウントをタップ

4 同期する項目をタップ

同期が終わると、連絡先一覧画面にソーシャルネットワークサービス（SNS）に登録した連絡先情報が表示されます。

■ステータス更新情報の表示／非表示を設定する

あらかじめ、アカウント設定したソーシャルネットワークサービス（SNS）のウィジェットをホーム画面に追加し、同期しておくことで、ステータス更新情報の表示／非表示を設定できるようになります。

1 **連絡先一覧画面→[≡]→[設定]→[ステータス表示設定]**

2 **ステータス更新情報を表示する項目をタップ**

「すべて」をタップすると、すべてのサービスのステータス更新情報を表示できますが、1つの連絡先に複数のサービスアカウントがある場合は、ステータス更新の新しい方の更新情報が表示されます。
「OFF」をタップすると、ステータス更新情報を表示しないように設定されます。

連絡先を利用する

連絡先の登録内容を利用して、電話をかけたり、メールを送信したりできます。

連絡先から電話をかける

1 **連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ**

2 **電話番号をタップ**

登録したメールアドレスにメールを送る

1 **連絡先一覧画面→メールを送る連絡先をタップ**

2 **[ ]／メールアドレスをタップ**

「 」をタップするとSMS(Cメール)を作成できます。メールアドレスをタップするとアプリケーションを選択してメールを作成できます。

連絡先を送信する

登録した連絡先や自分の連絡先の情報を、Bluetooth®機能やメール添付、赤外線通信などを利用して送信できます。

1 **連絡先一覧画面→[≡]→[連絡先を送信]**

2 **送信する連絡先にチェックを入れる**

「すべて選択」をタップすると、すべての連絡先を選択できます。

3 **[送信]→[OK]**

■ Bluetooth®機能を利用する場合

4 **[Bluetooth]→[ONにする]**

Bluetooth®機能がオンになり、送信先の機器を検索します。すでにBluetooth®機能がオンになっている場合は、Bluetooth®端末のスキャン画面が表示されます。

5 **リストから送信先の機器をタップ**

■ メールに添付する場合

4 **[Eメール( )]／[Eメール( )]／[Gmail]**

「Eメール( )」は、「Eメール( )」アプリケーションにPCメールアカウントを登録している場合に表示されます。

5 **メールを作成して送信**

■ 赤外線通信を利用する場合

4 **[赤外線通信]**

送信先の機器に赤外線ポートを向かい合わせると送信を開始します。
複数の連絡先を送信する場合は、認証パスコードの入力が必要になります。認証パスコードは、送信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

memo

◎ 連絡先の送信が可能なアプリをダウンロードした場合、手順3で「OK」をタップすると「連絡先の送信方法」にアプリ名が表示されますが、アプリによっては正しく動作しないものもあります。

連絡先のショートカットを利用する

連絡先一覧画面で写真(画像)部分をタップすると、電話番号やメールなどのショートカットが表示され、ショートカットをタップして電話をかけたり、メールを作成して送信したりできます。

ショートカット	説明
	登録した電話番号に電話をかけます。
	連絡先の情報フィルター画面(▶P.66)が表示されます。
	SMS(Cメール)を作成して送信します。
	メールアプリを選択してメールを作成し、送信します。

※ その他、登録したGoogleトークアカウントや住所などを利用することができます。

memo

◎ 連絡先一覧画面で写真(画像)部分以外をタップすると、ショートカットは表示されず、情報フィルター画面(▶P.66)が表示されます。
◎ メールのショートカットは、選択している連絡先にメールアドレスが登録されていて、「Eメール( )」アプリケーションで自分のPCメールアカウントを設定している場合に表示されます。「Eメール( )」アプリケーションにPCメールアカウントが設定されていない場合は、「Eメール( )」が表示されます。

連絡先を編集する

一度登録した連絡先を修正します。

1 **連絡先一覧画面→編集する連絡先をロングタッチ**

2 **[連絡先を編集]**

3 **[連絡先を編集(電話帳)]**

連絡先編集画面が表示されます。
「au one Friends Note」でも編集できます。

4 **項目を選択して編集**

編集できる項目については、「連絡先を登録する」(▶P.64)をご参照ください。

5 **[完了]**

連絡先をリンクする

複数の連絡先として登録された連絡先を1つにリンクさせて、まとめることができます。

1 **連絡先一覧画面→リンクさせる連絡先をロングタッチ**

2 **[サービスリンク]**

3 **リンクさせる連絡先をタップ→[OK]**

memo

◎ 「電話帳」の連絡先編集画面→[連絡先をリンク]と操作しても、連絡先のリンクができます。
◎ リンクを解除するには、「電話帳」の連絡先編集画面→[リンクを解除]→[OK]と操作します。

オートリンク機能について

保存先が異なり、同じ名前などで別々に登録された連絡先が、自動でリンクされて1つの連絡先にまとめられます。

■ オートリンクされる場合

姓名が一致する連絡先は、保存先(本体連絡先／Googleアカウントなど)の異なる連絡先が登録されている場合、自動でリンクされます。
また、保存先(アカウント種別)が異なっていて、次のいずれかの内容で連絡先が登録されている場合も自動でリンクされます。

- 姓／名を入れ替えて連絡先が登録されている
- 姓／名に分けずに、姓または名にだけ連絡先が登録されている
- 姓／名は異なるが、ふりがなの姓／名が一致している
- 姓／名と、ふりがなの姓／名が一致している
- 姓／名がなく、電話番号またはメールアドレスが一致している
  (類似した姓／名で登録された連絡先もオートリンクされる場合があります。)

- 次の内容で姓／名が連絡先に登録されている
  - ・全角ひらがな／全角カタカナ／半角カタカナ
  - ・アルファベットの大文字／小文字
  - ・アクセント記号や発音記号の有無

■ オートリンクされない場合

姓／名が同じで、かつ保存先（アカウント種別）が同じ場合は、自動でリンクされません。

連絡先をお気に入りに登録する

連絡先にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた連絡先にすばやくアクセスできます。

1 連絡先一覧画面→お気に入りに登録する連絡先をタップ

2 名前の横の★をタップ

★が黄色に変わります。

◎ 連絡先一覧画面で「お気に入り」タブをタップすると、お気に入り一覧画面が表示され、お気に入りリストを確認できます。
◎ お気に入り一覧画面で★のついたアイコンをタップして連絡先を選択するか、連絡先一覧画面→お気に入りに登録する連絡先をロングタッチ→［お気に入りに追加］と操作しても、お気に入りに登録できます。
◎ お気に入りから削除するには、手順2で★を再度タップするか、連絡先一覧画面→お気に入りに登録済みの連絡先をロングタッチ→［お気に入りから削除］と操作します。

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面→ ≡ →［連絡先を削除］

2 削除する連絡先にチェックを入れる

「すべて選択」をタップすると、すべての連絡先を選択できます。

3 ［削除］→［OK］

◎ 1件削除の場合、連絡先一覧画面→削除する連絡先をロングタッチ→［連絡先を削除］→［OK］と操作しても、削除できます。

連絡先を検索する

1 連絡先一覧画面→検索する名前や読みを連絡先検索フィールドに入力

入力した文字で始まる連絡先が表示されます。

連絡先の表示条件を変更する

連絡先一覧画面で ≡ →［連絡先フィルター］と操作すると、表示条件を設定したり、連絡先の保存先やアカウントごとの連絡先の表示／非表示を設定したりできます。

■ 表示条件

次の項目にチェックを入れて設定します。

項目	表示
電話番号のある連絡先のみ	電話番号を登録している連絡先のみを表示
オンラインの連絡先のみ	Googleトークでオンライン中の方の連絡先のみを表示

■ 表示／非表示の設定

連絡先の保存先やアカウント設定したソーシャルネットワークサービス（SNS）名をタップし、「すべての連絡先」などにチェックを入れると、同期している連絡先が表示されます。チェックを外すと表示されなくなります。

連絡先のメニューを利用する

連絡先一覧画面で ≡ をタップ、または連絡先をロングタッチするとメニュー項目が表示され、連絡先の編集や削除、インポート、エクスポートなどの操作が行えます。

連絡先情報フィルターを利用する

連絡先一覧画面で連絡先をタップして、画面下に表示されるフィルターを左右にフリックさせると次の情報を表示することができます。

フィルター	表示
情報	連絡先電話番号、メールアドレス、住所、Facebookプロフィール、最新ステータスの情報など
写真	連絡先の「友達」がFacebookにアップした画像や、タグ付き画像
趣味と関心	連絡先の「友達」がFacebookで「いいね！」を付けた情報
Facebook	連絡先のFacebookステータス更新履歴

memo

◎ Facebook関連のフィルターや情報は、Facebookで設定している場合に表示されます。最新の情報が表示されない場合は、Timescape™を起動して更新してください。
◎ Facebook関連の情報が表示されない場合は、連絡先一覧画面→ ≡ →［設定］→［アカウントと同期］→［Xperia™用 Facebook］と操作して、各項目を同期します。詳しくは、「Xperia™用Facebookを設定する」（▶P.104）をご参照ください。

連絡先をエクスポート／インポートする

連絡先をmicroSDメモリカードや内部ストレージへエクスポート／インポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がエクスポート／インポートされない場合があります。

エクスポートする

すべての連絡先をmicroSDメモリカードや内部ストレージへエクスポートします。

1 連絡先一覧画面→ ≡ →［連絡先エクスポート］

2 ［内部ストレージ］／［SDカード］→［OK］

外部ストレージを接続している場合は「USBストレージ」も選択できます。

インポートする

microSDメモリカードや内部ストレージに保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先一覧画面→ ≡ →［連絡先をインポート］

2 ［内部ストレージ］／［SDカード］

外部ストレージを接続している場合は「USBストレージ」も選択できます。

3 ［本体連絡先］／［（Googleアカウント）］

Googleアカウントを設定していない場合は、「本体連絡先」に保存されます。
アプリケーション選択画面が表示された場合は「Contacts import」を選択します。

4 インポートするvCardファイルを選択→［OK］

ファイルの中に複数の連絡先がある場合は、すべて一度にインポートされます。

マルチメディア

撮影ボタン、または画面をタップするか、カメラキー（ ）を使用して、静止画の撮影や動画の録画ができます。静止画撮影は、横向きと縦向きのどちらでも利用できます。3Dスイングパノラマ撮影／スイングマルチアングル撮影／スイングパノラマ撮影／動画撮影は横向きのみ利用できます。

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。カメラを動かしながらシャッターを押すと、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  ・強い逆光のもとにある被写体
  ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  ・暗い場所にある被写体
  ・動きが速い被写体
- IS12Sは強い光が出ますので、フラッシュ／フォトライトを目に近付けて点灯させないでください。フラッシュ／フォトライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- 不安定な場所にIS12Sを置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS12Sが落下するおそれがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- IS12Sを利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様がIS12Sのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

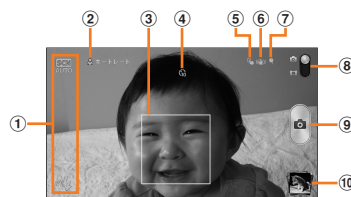
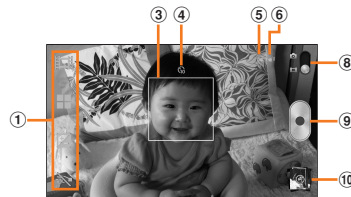
■ 3Dスイングパノラマ／スイングマルチアングル／スイングパノラマのご注意

- 以下の場合、3Dスイングパノラマ撮影／スイングマルチアングル撮影／スイングパノラマ撮影に適していません。
  ・動きのある被写体がある場合
  ・主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
  ・空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
  ・大きな被写体がある場合
  ・波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 一定時間内に3Dスイングパノラマ撮影画角／スイングマルチアングル撮影画角／スイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。
  この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がぶれたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- 3Dスイングパノラマ撮影／スイングマルチアングル撮影／スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。
- 以下の場合、3Dスイングパノラマ撮影／スイングマルチアングル撮影／スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  ・カメラを動かす速度が速すぎる場合／遅すぎる場合
  ・ぶれすぎた場合
  ・カメラを撮影方向と逆に動かした場合

カメラを起動する

1 **（1秒以上長押し）／ホーム画面で[▦]→[カメラ]**

静止画撮影画面が表示されます。
カメラを閉じるには をタップします。

カメラ画面の見かた

《静止画撮影画面》

《動画撮影画面》

① **設定アイコン表示エリア**
最大で4つの設定アイコンが表示されます。アイコンをタップすると、設定を変更できます。
表示されるアイコンは設定した内容によって異なります。
（▶P.68「撮影画面設定項目」）
アイコンを入れ替えたり、削除することもできます（▶P.69）。

② **シーン認識アイコン（静止画のみ）**
「撮影モード」（▶P.68）を「シーン認識」に設定している場合、ポートレートなどの認識したシーンのアイコンが表示されます。

③ **オートフォーカス枠**

④ **セルフタイマーアイコン：**
（ON（10秒））（ON（2秒））非表示（OFF）

⑤ **タッチ撮影アイコン：**
（タッチ撮影） 非表示（その他の撮影方法）

⑥ **手ぶれ補正アイコン：** （ON） 非表示（OFF）

ツール・アプリケーション

⑦ **ジオタグアイコン(静止画のみ):** (ON) 非表示(OFF)
⑧ **静止画／動画の切り替えアイコン**
⑨ **撮影ボタン**
「撮影方法」(▶P.69)を「撮影ボタン」に設定している場合に表示されます。
⑩ **サムネイル表示**
撮影した静止画／動画がサムネイル表示されます。
撮影画面でサムネイルに触れたまま画面の左方向(撮影画面が縦向きの場合は上方向)に向かってスライドすると、最新5件分の撮影履歴を表示できます。
サムネイルをロングタッチすると、アイコンが表示され次の操作ができます。
:静止画／動画の再生画面を表示
:共有
:削除
サムネイルをタップすると、撮影した静止画／動画の再生画面が表示されます。

- 再生画面で をタップすると、「機器で再生」「共有」「削除」「スライドショー」「登録」※1「その他」※1「詳細情報」※2「動画を編集」※2が表示されます。

※1 静止画再生画面でのみ表示されます。
※2 動画再生画面でのみ表示されます。

カメラの設定をする

1 撮影画面→ ／画面上の設定アイコンをタップ

設定内容により表示される設定アイコンは変わります。

2 設定項目を選択し、必要に応じて設定を変更

■ 撮影画面設定項目

設定項目		説明
撮影モード※1	シーン認識	カメラが最適なシーンを判断します。シーンが認識されると、認識したシーンのアイコンが表示されます。
	ノーマル	標準的な撮影モードです。
	フロントカメラ	▶P.69「フロントカメラを使用して撮影する」
	3Dスイングパノラマ	▶P.69「スイングパノラマを撮影する」
	スイングマルチアングル	
	スイングパノラマ	
録画モード※2	ビデオカメラ	▶P.70「動画を録画する」
	フロントビデオカメラ	▶P.70「フロントカメラを使用して録画する」
シーン		撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。 「OFF」「ポートレート」「風景」「夜景」「夜景ポートレート」「ビーチ&スノー」「スポーツ」「パーティー」「ドキュメント」 • 動画の場合は、「夜景ポートレート」「ドキュメント」の設定はできません。また、「夜景」のアイコンは「」になります。
解像度※1	12MP 4:3	標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
	9MP 16:9	フルHDより高解像度です。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
	2MP 4:3	標準サイズの画面に表示するのに適しています。
	2MP 16:9	ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
	1MP 16:9	ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。 撮影モードが「フロントカメラ」のときに利用できます。
	1MP 4:3	標準サイズの画面に表示するのに適しています。 撮影モードが「フロントカメラ」のときに利用できます。
ビデオサイズ※2	フルHD	縦横比16:9のフルワイドHD形式です(1920×1080ピクセル)。 撮影モードが「ビデオカメラ」のときに利用できます。
	HD 720p	縦横比16:9のHD形式です(1,280×720ピクセル)。
	VGA	縦横比4:3のVGA形式です(640×480ピクセル)。
パノラマ画像サイズ※3	16:9	ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
	標準	パノラマ標準サイズです。パノラマ撮影に適しています。
フラッシュ※1		暗い場所や逆光での撮影時に、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。 「自動」「強制発光」 「赤目軽減」「OFF」
照明		暗い場所や逆光での撮影時に、フォトライトを点灯させるかどうかを設定します。 「ON」「OFF」
セルフタイマー		セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、撮影を開始します。 「ON(10秒)」「ON(2秒)」 「OFF」
スマイル検出※1		スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します。検出した顔が、設定した笑顔のレベルになると自動的に撮影されます。 「大笑い」「笑顔」「ほほ笑み」 「OFF」
フォーカスモード		ピントの合わせかたを設定します。撮影モードが「ノーマル」のときまたは録画モードが「ビデオカメラ」のときに利用できます。 **シングルオートフォーカス**:自動的にピントを合わせる **マルチオートフォーカス**:撮影画面の複数箇所にピントを合わせる **顔検出**:複数の顔(最大5人)を検出し、ピントを合わせる **無限遠**:遠く離れた被写体にピントを合わせる **タッチフォーカス**:撮影画面でタップした箇所にオートフォーカス枠を移動し、ピントを合わせる • 動画の場合は、「シングルオートフォーカス」「顔検出」「無限遠」から選択します。
明るさ(EV補正)		バーをタップまたはドラッグして明るさ(露出補正)を調整します。
ISO※1		ISO感度を設定します。光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影します。 撮影モードが「ノーマル」のときに利用できます。 「自動」「100」「200」 「400」「800」
ホワイトバランス		周囲の光源に合わせて色合いを調整します。 「自動」「電球」「蛍光灯」 「太陽光」「曇り」
測光		画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。 「中央」「平均」「スポット」
手ぶれ補正		撮影時の手ブレを軽減することができます。 「ON」「OFF」

設定項目	説明
ジオタグ※1	静止画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグを付けるかどうかを設定します。 「ON」「OFF」 • あらかじめ「現在地情報とセキュリティ」の「無線ネットワークを使用」(▶P.80)または「GPS機能を使用」(▶P.80)にチェックを入れておく必要があります。位置情報の詳細については、「GPS機能を利用する」(▶P.80)をご参照ください。 • ジオタグの付加(位置情報)により、静止画の撮影場所を特定できるようになります。
マイク※2	録画時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」
撮影方法	撮影方法を設定します。 「撮影ボタン」「タッチ撮影」「カメラキー」
クイック起動※1	画面ロック中/キーロック中に[カメラ]を1秒以上長押しした場合のカメラの動作を設定します。 「起動&撮影」「起動のみ」「OFF」
保存先	撮影した静止画/動画の保存先を設定します。 「内部ストレージ」「SDカード」
撮影方向※4	スイングパノラマの撮影方向を設定します。 「右」「左」「下」「上」

※1 静止画撮影画面でのみ表示されます。
※2 動画撮影画面でのみ表示されます。
※3 3Dスイングパノラマ画面でのみ表示されます。
※4 スイングパノラマ画面でのみ表示されます。

memo

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。
◎表示エリアの設定アイコンを入れ替えるには、撮影画面→[メニュー]→表示された設定項目アイコンをロングタッチ→撮影画面の設定アイコン表示エリアにドラッグと操作します。削除する場合は、設定アイコン表示エリアのアイコンをロングタッチして、画面中央にドラッグします。
※「撮影モード」アイコンは入れ替え/削除できません。
※3Dスイングパノラマ撮影/スイングマルチアングル撮影/スイングパノラマ撮影では設定アイコンの入れ替え/削除はできません。

静止画を撮影する

1 カメラを起動

静止画撮影画面が表示されます。
カメラの起動方法については、「カメラを起動する」(▶P.67)をご参照ください。
[音量キー]:ズームを調整

2 [カメラ]

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に設定した保存先(▶P.69)に保存されます。
撮影したデータは静止画撮影画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

memo

◎静止画撮影画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。

オートフォーカスロックについて

◎静止画撮影画面で[カメラ]を半押しすると、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が緑色に変化してロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。
「撮影方法」(▶P.69)を「撮影ボタン」/「タッチ撮影」に設定している場合は、撮影ボタン/画面をロングタッチするとフォーカスロックができます。指を離すと撮影されます。
※「フォーカスモード」(▶P.68)が「無限遠」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

顔検出オートフォーカスについて

◎「フォーカスモード」(▶P.68)を「顔検出」に設定している場合は、静止画撮影画面で人物の顔を検出すると、オートフォーカス枠が顔の位置に表示されます。複数の顔(最大5人)が検出された場合、優先する顔を黄色の枠で、それ以外の顔を白の枠で表示します。オートフォーカス枠をタップして、ピントを合わせる顔を切り替えることもできます。

オートフォーカス枠の移動操作について

◎「フォーカスモード」(▶P.68)を「タッチフォーカス」に設定している場合は、タップした箇所にオートフォーカス枠を移動できます。

■ 画面をタップして撮影する

1 静止画撮影画面→[メニュー]→[撮影方法]→[タッチ撮影]

2 画面をタップして撮影

「撮影方法」を「撮影ボタン」に設定した場合は、撮影ボタン(▶P.68)をタップして撮影します。

■ フロントカメラを使用して撮影する

1 静止画撮影画面→撮影モードのアイコンをタップ→[フロントカメラ]

2 静止画を撮影

スイングパノラマを撮影する

スイングパノラマを使用すると、ワイドなアングルのパノラマ撮影ができます。
画面の白枠と黒枠を合わせながらカメラを設定した撮影方向へゆっくりと動かして撮影します。
3Dスイングパノラマやスイングマルチアングルを使用すると、立体的な3D写真も撮影できます。

■ 3Dスイングパノラマ/スイングマルチアングル/スイングパノラマを設定する

1 静止画撮影画面→撮影モードのアイコンをタップ→[3Dスイングパノラマ]/[スイングマルチアングル]/[スイングパノラマ]

2 パノラマ画像サイズ/撮影方向/照明のアイコンをタップ

3 必要に応じて設定を変更

■ 3Dスイングパノラマ/スイングマルチアングル/スイングパノラマを使用して撮影する

1 3Dスイングパノラマ/スイングマルチアングル/スイングパノラマを設定し、カメラを被写体に向ける

2

画面に、白枠と大きい黒枠が表示されます。

3 白枠を大きい黒枠に合わせながらカメラを左から右へゆっくり動かす

スイングパノラマで撮影方向を変更した場合は、設定した方向へゆっくり動かして撮影します。
撮影が成功すると、撮影終了音が鳴り、撮影したデータが自動的に設定した保存先(▶P.69)に保存されます。
撮影したデータは撮影画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

memo

◎ホーム画面で[アプリ]→[3Dカメラ]と操作すると、撮影モードが3Dスイングパノラマの状態でカメラを起動できます。

動画を録画する

1 **カメラを起動**

静止画撮影画面が表示されます。
カメラの起動方法については、「カメラを起動する」(▶P.67)をご参照ください。

2 **静止画／動画の切り替えアイコンをタップ**

動画撮影画面に切り替わります。

3 **[カメラ]**

録画開始音が鳴り、録画中画面が表示されます。

4 **[カメラ]**

録画終了音が鳴り、録画したデータが自動的に設定した保存先(▶P.69)に保存されます。
録画したデータは動画撮影画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

memo

◎動画撮影時は、マイク(送話口)を指などでふさがないようにしてください。
◎動画撮影画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。

■ 画面をタップして録画する

1 **動画撮影画面→[≡]→[撮影方法]→[タッチ撮影]**

2 **画面をタップして録画開始**

3 **画面をタップして録画を終了**

「撮影方法」を「撮影ボタン」に設定した場合は、撮影ボタン(▶P.68)をタップして録画開始／終了します。

■ フロントカメラを使用して録画する

1 **動画撮影画面→録画モードのアイコンをタップ→[フロントビデオカメラ]**

2 **動画を録画**

録画した動画を切り出す

録画した動画を部分的に切り出して保存できます。

1 **動画撮影画面→サムネイル表示をタップし、切り出しする動画を表示**

2 **[≡]→[動画を編集]**

画面下にプログレスバーが表示されます。

3 **プログレスバー左側のマーカーを切り出しの開始点までドラッグ**

4 **プログレスバー右側のマーカーを切り出しの終了点までドラッグ**

画面をタップすると、切り出した部分を再生して確認できます。

5 **[保存]**

切り出した動画はギャラリーのアルバム(▶P.70)に保存されます。
「キャンセル」をタップすると、保存せずに動画再生画面に戻ります。

memo

◎「ビデオサイズ」(▶P.68)を「フルHD」に設定して撮影した動画は切り出しができません。

テレビに接続して静止画や動画を見る

IS12Sをテレビに接続して、画像や動画をテレビに表示することができます。接続にはHDMIケーブル(type D)(別売)をご利用ください。

1 **HDMIケーブルでIS12Sとテレビを接続**

TV launcherが起動します。
起動しない場合は、ステータスバーを下にスライドして「TV launcher」をタップします。

2 **アイコンを左右にスライド／フリックして、使用するアプリケーションを選択**

初めてHDMIケーブルを接続したときは、「OK」／「詳細を確認」が表示されます。「詳細を確認」をタップすると、リモートコントロールの使用方法を確認できます。

memo

◎ステータスバーを下にスライドして、実行中の項目から「HDMI接続」をタップすると、HDMIの制御や出力に関する設定ができます。テレビのリモートコントローラによっては、操作できない場合があります。
◎HDMIケーブルを取り外すと、接続を終了しますが、テレビがHDMI入力のモードのままになる場合があります。テレビの取扱説明書に従って、地デジテレビのモードに切り替えるなどの操作を行ってください。
◎HDMI接続を使用しないときはHDMIケーブルを取り外してください。HDMI接続されたままだと電池の消耗が早くなる場合があります。

ギャラリーを利用する

ギャラリーを使って、画像やカメラで撮影した静止画／動画を閲覧・再生できます。再生可能なファイル形式については、「ファイル形式」(▶P.124)をご参照ください。
また、Media Goを使ってIS12SのmicroSDメモリカードや内部ストレージにデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳しくは、「パソコンとデータのやりとりをする」(▶P.89)をご参照ください。

画像／動画のアルバムを表示する

撮影した静止画／動画やパソコンから取り込んだ画像／動画がアルバムで表示されます。

1 **ホーム画面で[▦]→[ギャラリー]**

アルバム一覧画面が表示されます。
「[カメラ]」をタップすると、カメラを起動します。
「[3D]」をタップすると、3Dアルバムを起動します。

2 **アルバムをタップ**

アルバム内の画像／動画データが一覧で表示されます。
右上の「[切替]」をタップすると、日時別のアルバムとすべてのデータ一覧を切り替えることができます。
日時別のアルバムを選択するとすべてのデータが表示され、選択した日時のデータの枠が他の日時のデータに比べ太く表示されます。

memo

◎FacebookやPicasaなど同期可能なオンラインサービスにログインしている場合は、同期することによりオンラインサービス上のアルバムが表示されます。
◎保存されている画像の枚数により、画面にすべての画像を読み込むのに時間がかかる場合があります。

ツール・アプリケーション

画像を再生する

1 アルバム一覧画面→アルバムをタップ

2 画像をタップ

画像再生画面が表示されます。

■ 画像再生画面

① アルバム情報
② ズームアウト
③ ズームイン

◎Facebookのアルバムの画像再生画面では、Facebook上にコメントを投稿したり「いいね！」を付けることができます。

スライドショーを開始する

1 画像再生画面→[≡]→[スライドショー]

画像を共有する

画像をオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth®や赤外線、メール添付で送信することができます。

1 画像再生画面→[≡]→[共有]

2 送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法(アプリケーション)により異なります。

memo

◎FacebookやPicasaのオンラインウェブアルバムへのアップロードが可能です。オンラインサービスのアカウントを設定していない場合は、転送方法でオンラインサービスを選択すると、設定ウィザードに従って設定できます。
◎Picasaでアップロードする場合、IS12Sに設定したGoogleアカウントで行います。「その他のアカウントを追加する」(▶P.104)で設定したPicasaのアカウントにはアップロードされません。

画像をトリミングする

1 画像再生画面→[≡]→[その他]→[トリミング]

2 トリミング枠を調整

トリミング枠の端を矢印が表示されるまでロングタッチして、トリミング枠の中央または外側に向かってドラッグするとサイズを変更できます。
トリミング枠を画像の別の部分に移動させるには、枠の内側に触れたまま移動先までドラッグします。

3 [保存]

画像を壁紙に使用する

1 画像再生画面→[≡]→[登録]→[壁紙]

必要に応じて画像をトリミング(▶P.71)してください。

2 [保存]

◎FacebookやPicasaなどオンラインサービス上のアルバムの画像を壁紙に設定する場合は、画像再生画面→[≡]→[壁紙として設定]と操作します。

画像を連絡先に登録する

1 画像再生画面→[≡]→[登録]→[連絡先の画像]

アプリケーション選択画面が表示された場合は「電話帳」を選択します。

2 登録する連絡先を選択

必要に応じて画像をトリミング(▶P.71)してください。
新規の連絡先に登録する場合は、「＋連絡先を新規登録」をタップしてください。詳しくは「連絡先を登録する」(▶P.64)の手順3以降をご参照ください。

3 [保存]

動画を再生する

1 アルバム一覧画面→動画を含むアルバムをタップ

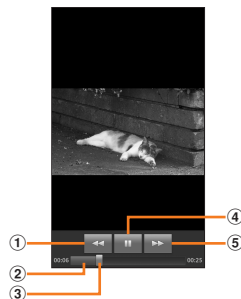
アルバム内の画像／動画データが一覧で表示されます。動画データには が付与されています。

2 動画をタップ→[動画]

動画再生画面が表示されます。
「LISMO Player」でも動画を再生できます。
[◁ ▷]：音量を調節

memo

◎動画再生画面で動画の再生／一時停止中に[≡]→[画面設定]と操作すると画面設定できます。

■ 動画再生画面

① 巻き戻し
② プログレスバー
③ マーカー
ドラッグまたはタップすると、再生位置を変更できます。
④ 再生／一時停止
⑤ 先送り

動画の再生位置を変える

1 動画再生画面→プログレスバーのマーカーを右または左にドラッグ

プログレスバーをタップすると、タップした位置までマーカーが移動し、再生位置を変更できます。

動画を共有する

動画をYouTubeにアップロードしたり、Bluetooth®や赤外線、メール添付で送信することができます。

1 アルバム一覧画面→動画を含むアルバムをタップ

2 送信する動画をチェックが入るまでロングタッチ

すべてのデータにチェックボックスが表示されます。複数のデータを送信する場合は、データをタップするとチェックボックスにチェックが入り、選択状態となります。もう一度タップすると、選択を解除します。

3 [≡]→[共有]→送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法(アプリケーション)により異なります。

ツール・アプリケーション

memo

◎共有可能な容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、送信するアプリケーションにより制限される場合があります。またデジタル著作権管理（DRM）コンテンツは共有することができません。

ギャラリーのメニューを利用する

ギャラリー内のデータをロングタッチすると、チェックボックスにチェックが入り、データの選択状態になります。選択状態になると、ギャラリーのメニューが利用できます。

1 ギャラリー内でデータをロングタッチ→［≡］

ロングタッチした後、続けて他のデータをタップすると、複数のデータを選択できます。選択状態のデータをタップすると、選択を解除できます。

2

項目		説明
機器で再生		▶P.91「IS12SのメディアファイルをDLNA機器で再生する」
共有		▶P.71「画像を共有する」 ▶P.71「動画を共有する」
削除		選択している画像／動画を削除します。
全選択		すべてのデータを選択します。
選択全解除		選択したデータをすべて解除します。
その他	詳細情報	タイトル、種類、撮影年月日、アルバム名などを表示します。
	左に回転	画像を左に90度回転します。
	右に回転	画像を右に90度回転します。
	地図に表示	画像に含まれている位置情報を地図上に表示します。
	動画を編集	▶P.70「録画した動画を切り出す」

memo

◎表示される項目は、画面によって異なります。
◎データによっては、編集できない場合があります。

スクリーンショットを撮る

現在表示されている画面を画像として撮影（スクリーンショット）できます。撮影したスクリーンショットはギャラリーの「Pictures」アルバムで表示できます。

1 スクリーンショットを撮影する画面で［⏻］（1秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 ［スクリーンショットを撮る］

スクリーンショットが撮影され、画面上に保存先を示すメッセージが表示されます。

memo

◎撮影完了時の画面で「共有」／「設定」をタップすると、撮影したスクリーンショットをBluetooth®機能やメールなどで共有（送信）したり、壁紙や連絡先の画像として登録したりできます。

ミュージックプレーヤーを利用する

ミュージックプレーヤーを使用すると、音楽やプレイリストなどを視聴することができます。再生可能なファイル形式については、「ファイル形式」（▶P.124）をご参照ください。

楽曲データを検索して再生する

microSDメモリカードや内部ストレージに保存されたカテゴリー別のコンテンツを表示して再生できます。

- 楽曲再生中にmicroSDメモリカードのマウント解除（▶P.105）は行わないでください。

1 ホーム画面で［▦］→［ミュージック］

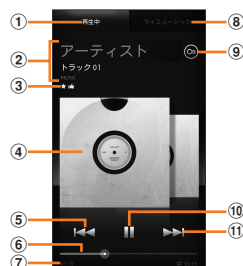
ミュージックプレーヤー画面が表示されます。

2 ［マイミュージック］

カテゴリー一覧画面が表示されます。

3 カテゴリーを選択

4 再生する楽曲を選択

■ ミュージックプレーヤー画面

① **再生中タブ**
② **アーティスト名、曲名、アルバム名**
③ **お気に入り／「いいね！」アイコン**
お気に入りに追加したり、「いいね！」を付けた場合に表示されます。
④ **アルバムアート**
タップすると、「いいね！」／お気に入りに追加／機器で再生／再生リストのカテゴリーを表示します。
「いいね！」は、Facebookにログインしている場合に表示されます。
⑤ **前へ**
再生中の楽曲の先頭、もしくは現在のプレイリスト内の前のタイトルに戻ります。
⑥ **プログレスバー**
ドラッグまたはタップすると、指定位置から再生を再開します。
⑦ **再生時間**
⑧ **マイミュージックタブ**
カテゴリー一覧画面を表示します。
⑨ **インフィニットボタン**
GoogleやWikipedia、YouTubeなどに接続して再生中の楽曲に関連する情報を表示します。
⑩ **再生／一時停止**
⑪ **次へ**
現在のプレイリスト内の次のタイトルに進みます。

■ 再生中のキー操作

［◁ ▷］：音量を調節
［≡］：メニューを表示
［⌂］：ホーム画面に戻り、バックグラウンドで再生

memo

◎アルバムアートをタップ→[再生リスト]と操作すると、再生中の楽曲とその楽曲を含む一覧が表示されます。
- 再生曲の再生／一時停止の切り替えと、一覧から他の楽曲をタップして再生曲の変更ができます。
- 楽曲をロングタッチすると、楽曲の共有やプレイリストへの追加、着信音登録や再生リストからの削除などのメニューが表示されます。
- 「保存」をタップすると、一覧に表示されている楽曲をプレイリストとして保存できます。
- 楽曲の左にある「▐」を上下にドラッグすると、一覧の曲順を変更できます。
- 一覧に他の楽曲を追加するには、トラック／アルバム／アーティスト／プレイリスト／お気に入りのカテゴリーから追加する楽曲をロングタッチ→[再生リストに追加]と操作します。

◎バックグラウンド再生中は、ステータスバーに▶が表示されます。
◎バックグラウンド再生中にミュージックプレーヤー画面に戻るには、ホーム画面で[▦]→[ミュージック]と操作するか、ステータスバーを下にスライドして、実行中の項目から再生中の曲名をタップします。
◎ホーム画面にミュージックプレーヤーのウィジェットを表示している場合は、再生／一時停止などの操作ができます。また、アルバムアート部分をタップすると、ミュージックプレーヤー画面を表示できます。
◎楽曲の再生中は、キーロック解除画面にもミュージックプレーヤーのウィジェットが表示されます。
◎ミュージックプレーヤー画面→[≡]と操作すると、「シャッフルモード」「リピートモード」「イコライザー」「編集」が表示されます。
- 「イコライザー」をタップすると、「イコライザー」タブで音質の変更ができるほか、「その他」タブでヘッドフォン用にサラウンド効果を選択したり、スピーカー用にxLOUD™のオン／オフを設定できます。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetooth®や赤外線、メール添付で送信することができます。

1 **カテゴリー一覧画面→カテゴリーを選択**

2 **送信する楽曲をロングタッチ→[送信]**

3 **送信方法を選択**

以降の操作は、選択した送信方法(アプリケーション)により異なります。

memo

◎共有(送信)可能な容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、送信するアプリケーションにより制限される場合があります。またデジタル著作権管理(DRM)コンテンツは共有することができません。

楽曲を着信音として使用する

1 **カテゴリー一覧画面→カテゴリーを選択**

2 **着信音として使用する楽曲をロングタッチ→[着信音に設定]**

楽曲の再生／一時停止中でも設定できます。

ミュージックプレーヤーのメニューを利用する

ミュージックプレーヤー画面で[≡]をタップ、または楽曲一覧画面で[≡]をタップ／楽曲をロングタッチすると、メニュー項目が表示され、イコライザーの設定やアルバムの情報更新、プレイリストに楽曲を追加するなどの操作が行えます。

プレイリストを利用する

ミュージックプレーヤーでは、自動的に「お気に入り」「新規追加されたトラック」「最も再生回数の多いトラック」「未再生トラック」のプレイリストが作成されます。また、新しいプレイリストを作成することもできます。
Media Go(▶P.90)を使用すると、ミュージックライブラリを管理したり、プレイリストを作成したりして、自分用のプレイリストを作成することもできます。自分用に作成するプレイリストはm3u形式で保存されます。

プレイリストを再生する

1 **カテゴリー一覧画面→[プレイリスト]**

プレイリスト一覧画面が表示されます。自分で作成したプレイリストも一覧に表示されます。

2

新規プレイリストの作成	▶P.73「プレイリストを作成する」
お気に入り	お気に入りに追加した楽曲のリストを表示します。
新規追加されたトラック	新しく追加した楽曲のリストを表示します。
最も再生回数の多いトラック	再生回数の多い楽曲のリストを表示します。
未再生トラック	再生可能で再生し終えていない楽曲の一覧を表示します。

3 **楽曲を選択**

タップした楽曲から再生されます。

プレイリストを作成する

1 **プレイリスト一覧画面→[新規プレイリストの作成]**

2 **タイトル入力欄をタップ→タイトルを入力→[OK]**

3 **追加する楽曲を選択→[保存]**

LISMOを利用する

LISMO Playerを利用してmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存した音楽を再生したり、音楽コミュニティ「うたとも®」を利用したり、最新の楽曲情報を調べたりできます。

1 **ホーム画面で[▦]→[LISMO Player]**

初めて起動したときは、アクセス許可画面の内容を確認して「閉じる」をタップします。続けて、サービス利用確認設定画面の内容を確認し、お客様の音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを選択してください。

memo

◎LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
LISMO Portを利用する場合は、ホーム画面で[≡]→[設定]→[Xperia™]→[接続設定]と操作して、「MSCで自動接続」にチェックを入れてください。
◎通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。
◎音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページをご参照ください。
www.gracenote.com

TrackIDを利用する

TrackIDは、楽曲認識サービスです。スピーカーを通して聞こえている曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を検索することができます。TrackIDで良好な結果を得るために、静かな場所で使用してください。他の人に楽曲をすすめたりすることもできます。さらに、YouTubeで関連するコンテンツを検索し、表示することができます。TrackIDを使用できない場合は、「無線とネットワーク」(▶P.100)でインターネット接続をご確認ください。

楽曲情報を検索する

1 **ホーム画面で[▦]→[TrackID™]**

2 **IS12Sを音源に向ける→[◉]**

楽曲情報画面が表示されます。

TrackIDの結果を利用する

TrackIDによって楽曲が認識されたら、他の人にすすめたり、YouTubeでその楽曲に関連したコンテンツを検索したりすることができます。楽曲情報は、検索後に表示されますが、履歴リストにも記録されます。

- 楽曲が認識されると楽曲情報画面が表示されます。楽曲情報画面の項目やアイコンをタップすると、Facebookで「いいね！」を付けたり、アーティスト情報を表示、楽曲のダウンロード、共有、YouTubeで検索などを行うことができます。
- 楽曲情報画面は、「履歴」／「チャート」をタップし、リストから楽曲を選択しても表示できます。

FMラジオを利用する

IS12SでFM放送を聴くことができます。自動または手動で選局でき、お好みの局をお気に入りに登録することもできます。FMラジオをご利用になる場合は、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などのハンズフリー機器やヘッドフォンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

放送局を検索してお気に入りに登録する

1 マイク付ステレオヘッドセット（試供品）をIS12Sに接続

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）の接続については、「マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を使用する」（▶P.120）をご参照ください。

2 ホーム画面で［▦］→［FMラジオ］

FMラジオ画面が表示されます。

自動的に放送局を検索し、放送局の電波をキャッチすると、検索が終了します。

画面中央を左右にドラッグしても選局できます。

さらに検索する場合は、［≡］→［チャンネルを検索］と操作します。

3 ［★］→［+ XX.Xをお気に入りに追加］

XX.Xには選局中のチャンネルが入ります。

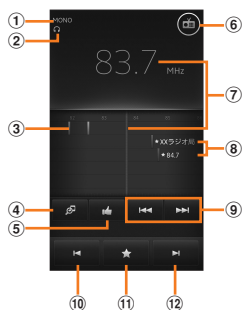
4 任意の名前を入力→［保存］

検索した放送局の帯域がお気に入りに登録されます。

FMラジオを停止するには、「⏻」をタップします。

■ FMラジオ画面

① サウンド種別表示

② ヘッドフォン／スピーカー

③ 帯域ポイント

受信状態が良い場合に表示されます。

④ TrackID（▶P.73）で楽曲情報を検索

⑤ Facebook上で「いいね！」を付ける

- Facebookにログインしている場合に表示されます。
- TrackID経由で検索された楽曲に対して設定します。

⑥ FMラジオのオン／オフを切り替え

⑦ 選局中の放送局

⑧ お気に入りに登録した放送局

⑨ 選局ボタン

⑩ 左方向にお気に入りを選局※1

⑪ お気に入りアイコン

お気に入りを追加／編集／削除します。

⑫ 右方向にお気に入りを選局※1

※1 お気に入りを複数登録している場合に選局できます。

■ 視聴中のキー操作

［◁ ▷］：音量を調節

［≡］：メニューを表示

［⌂］：ホーム画面に戻り、バックグラウンドで視聴

memo

◎バックグラウンド視聴中は、ステータスバーに📻が表示されます。

◎バックグラウンド視聴中にFMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で［▦］→［FMラジオ］と操作するか、ステータスバーを下にスライドして、実行中の項目から「FMラジオ」をタップします。

スピーカーとハンズフリー機器を切り替える

1 FMラジオ画面→［≡］

2 ［スピーカーで再生］／［ヘッドフォンで再生］

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

- IS12Sはワンセグ録画、キャプチャ、BGM再生には対応しておりません。

「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

ワンセグをご利用になる前に

■ ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を使用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送、BSアナログ放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、IS12Sが温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

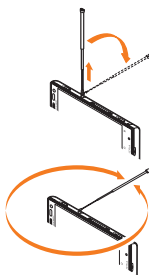
- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ ホイップアンテナについて

ワンセグを視聴する際は、放送波を十分受信できるようにホイップアンテナを伸ばしてご利用ください。
ホイップアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、ホイップアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

memo

◎ホイップアンテナを操作するときは、以下の点に注意してください。
- ホイップアンテナの向きを変えるときは、ホイップアンテナの根元付近を持ち、方向をよく確認してください。
- ホイップアンテナを収納するときは、ホイップアンテナを縮めて、まっすぐ上に向け、ホイップアンテナの先端の向きに注意して収納してください。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、チャンネル設定を行います。設定が完了すると、ワンセグを視聴することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]

ワンセグメニュー画面が表示されます。

2 [チャンネル設定]→[地域選択]→現在の地域を選択→[はい]

チャンネル設定画面で「現在地から設定」をタップすると、チャンネルスキャンが開始されます。スキャン完了後、[はい]→チャンネルリストのタイトルを入力→[完了]と操作します。
[↩]をタップしてワンセグメニュー画面に戻ります。

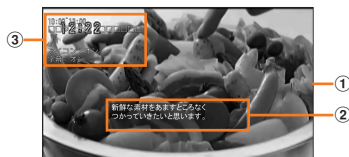
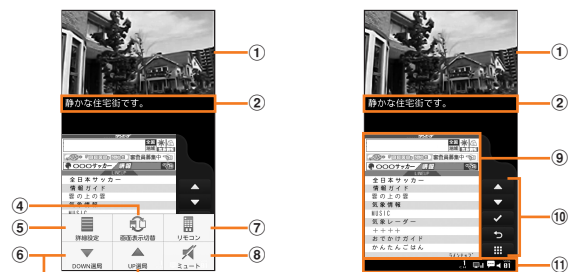
memo

◎地上デジタルテレビ放送のサービスが開始されたばかりの地域では、うまく設定できない場合があります。

ワンセグを見る

1 ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]

2 [ワンセグ視聴]

ワンセグ視聴画面が表示されます。
映像をタップすると一時的にチャンネル、放送局名、番組名、マルチチャンネル編成（複数サービス）などの番組情報が表示されます。
ワンセグ視聴画面で[≡]をタップすると、操作バーが表示されます。

《ワンセグ視聴画面（全画面）》

《ワンセグ視聴画面（操作バー画面）》

《ワンセグ視聴画面（データ放送あり）》

① **映像**
② **字幕**
③ **番組情報**
④ **画面表示切替**
データ放送全画面、ワンセグ視聴＋データ放送の画面を切り替えます。縦画面でのみ有効です。
⑤ **詳細設定**
⑥ **DOWN選局とUP選局**
視聴中のチャンネルの前／後を選局します。
⑦ **リモコン**
チャンネル切替用の1～12の数字キーとサーチ選局キーが表示されます。
⑧ **ミュート**
⑨ **データ放送**
データ放送コンテンツが表示されます。
⑩ **データ放送用リモコン**
フォーカス移動、フォーカス選択、戻る、テンキー表示など、データ放送中に操作するキーが表示されます。
⑪ **ワンセグステータスバー**
受信レベル、字幕あり表示、ミュート、チャンネル表示、音量表示、オフタイマーなどがアイコンで表示されます。

memo

◎ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎ワンセグを視聴中に音声着信があったときは、通話が優先され、通話終了後再開します。

■ ワンセグ視聴中の操作

縦横切替
ワンセグ視聴中は本体の向きを縦横にすることで、自動的に画面表示が縦横に切り替わります。データ放送は縦画面のときに表示されます。

音量調節
音量調節は、[◁ ▷]で行います。

チャンネル切替
ワンセグ視聴画面の映像部分を左右にフリックするとチャンネルを変えることができます。

ワンセグを終了する
ワンセグ視聴画面で[↩]をタップします。

ワンセグの設定をする

1 ワンセグ視聴画面→[≡]→[詳細設定]

2

項目	説明
チャンネル情報	視聴可能なチャンネル情報が表示されます。
番組情報表示	取得した番組情報が表示されます。
チャンネルリスト選択	登録した地域（放送エリア）がチャンネルリストとして一覧で表示されます。
チャンネル設定	チャンネルの設定をします。
チャンネル追加登録	ワンセグ視聴画面からチャンネルを追加登録します。
番組表	「テレビ.Gガイド」アプリケーションを起動し、番組表が閲覧できます。 • ワンセグメニュー画面→[番組表]と操作しても起動できます。
画面表示切替	映像とデータ放送の表示を切り替えます。
字幕表示設定	字幕表示のオン／オフを切り替えます。
オフタイマー	ワンセグ視聴を終了するタイマーの設定をします。
主／副音声設定	主／副音声の設定をします。
音声切替	音声切替の設定をします。
音量設定	音量レベルを調節します。
効果音設定	データ放送の効果音のオン／オフを切り替えます。
確認表示初期化	確認画面の表示を初期化します。
データ放送へ戻る	データ放送が表示されます。
サービス選局	1つのチャンネルを複数のサブチャンネルに分けたマルチ編成番組の放送が行われている場合は、サブチャンネルを選択できます。
テレビリンク	登録したテレビリンクが表示されます。
操作ガイド	ワンセグ視聴に関するガイドが表示されます。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。
データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(テレビリンク)が表示される場合があります。テレビリンクをIS12Sに登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

テレビリンクは、最大100件まで登録できます。

1 **ワンセグ視聴画面(データ放送)→登録するテレビリンクを選択**

◎テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

テレビリンクを表示する

1 **ワンセグメニュー画面→[テレビリンク]**

テレビリンクのリスト画面が表示されます。

2 **テレビリンクを選択**

■ リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合

3 **[はい]／[OK]**

リンク先にアクセスします。

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。

テレビリンクの詳細を見る･削除する

1 **テレビリンクのリスト画面→[≡]**

2

登録件数確認	テレビリンクの登録件数を表示します。
全件削除	登録したテレビリンクをすべて削除します。
複数件削除	登録したテレビリンクを複数件削除します。 **削除するテレビリンクにチェックを入れる→[≡]→[削除]→[はい]**

◎リスト画面でテレビリンク項目をロングタッチするとメニュー項目が表示され、詳細表示などの操作が行えます。

放送エリアを登録･変更する

お使いの地域(放送エリア)によって視聴できるチャンネルは異なります。

放送エリアを登録する

放送エリアはチャンネルリストとして10件まで登録できます。

1 **ワンセグメニュー画面→[チャンネル設定]**

2 **[地域選択]→登録する地域を選択→[はい]**

放送エリアを変更する

1 **ワンセグメニュー画面→[チャンネルリスト選択]**

2 **チャンネルリストを選択**

視聴する放送エリアが変更されます。

■ チャンネルリスト選択画面のメニューを利用する

チャンネルリスト選択画面で画面をロングタッチするとメニュー項目が表示され、設定、情報の表示、タイトル編集、削除などの操作が行えます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。各放送局はリモコン番号に対応した番号で呼び出すことができます。

1 **ワンセグメニュー画面→[チャンネルリスト選択]**

2 **変更する放送局の地域を選択→チャンネル情報をロングタッチ**

3 **[リモコン番号設定]**

4 **変更する放送局を選択→登録するリモコン番号をタップ**

5 **[⮌]→[はい]**

ユーザー設定をする

視聴画面、データ放送の設定や各種初期化やリセットを行うことができます。

設定を初期化する

チャンネル設定やワンセグ設定などを初期化します。

1 **ワンセグメニュー画面→[ユーザー設定]**

2 **[チャンネル設定初期化]／[ワンセグ設定リセット]→[はい]**

おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは、FeliCa™と呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。IS12Sをリーダー／ライター(店舗のレジなどにあるFeliCa™チップ内のデータをやりとりする装置)にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- IS12S本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失･盗難などに備え、「おサイフケータイ ロック設定」をおすすめします。
- 紛失･盗難･故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「おサイフケータイ ロック設定」をされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- 充電ケーブル、もしくはmicroUSBケーブルを挿入した場合は、おサイフケータイ®の機能が利用できない場合があります。
- FeliCa™チップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障･修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCa™チップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCa™チップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- FeliCa™チップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからのFeliCa™チップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 機内モード設定中は、おサイフケータイ®をご利用になれません。
- 充電中などのケーブル類を接続した状態で、au ICカードが挿入されておらず無線LAN（Wi-Fi®）も使用できない場合、また一度も電波を受けていない場合は、おサイフケータイ®をご利用になれません。

おサイフケータイ®対応サービスを利用する

1 ホーム画面で［▦］→［おサイフケータイ］

初めて起動したときは初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
サービス一覧画面が表示されます。

2 サービスを選択

サービス一覧画面に表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になるサービスを選択してください。
- サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

サービス一覧画面のメニューを利用する

1 サービス一覧画面→［≡］

2

おサイフケータイ ロック設定	▶P.77「おサイフケータイ®の機能をロックする」	
表示形式切替	表示モードを切り替えます。	
サービス一覧更新	サービス一覧画面を最新の状態に更新します。	
メモリ使用状況	おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。	
サポートメニュー	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	設定リセット	サービス一覧情報をリセットします。 • おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

リーダー／ライターとやりとりする

FeliCa™マークをリーダー／ライターにかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。

- FeliCa™マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCa™マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCa™マークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
- FeliCa™マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、IS12Sを少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCa™マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCa™マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

◎おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中はご利用いただけません。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCa™データ受信の利用を制限できます。
- おサイフケータイ®のロックは、本体端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。
- おサイフケータイ®のロックパターンおよび秘密の質問を忘れた場合は「おサイフケータイ ロック設定」を解除できません。解除できなくなった場合、IS12SをauショップもしくはPiPitにお持ちください。なお、解除処理は有償となり、IS12S内のデータ（FeliCa™のバリューを含む）はすべて初期化されますのでご注意ください。

1 サービス一覧画面→［≡］

2 ［おサイフケータイ ロック設定］→［次へ］→［次へ］

3 ロックパターンを入力→［次へ］→再度ロックパターンを入力→［確認］→［OK］

4 秘密の質問を選択→［次へ］

5 秘密の質問の答えを入力→［確認］→［OK］→［はい］

おサイフケータイ®の機能がロックされます。

memo

◎「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中に電池が切れると、「おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「おサイフケータイ ロック設定」を解除してください。
◎「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中におサイフケータイ®のメニューをご利用になるには、ロックパターンの入力が必要になります。
◎「おサイフケータイ ロック設定」をご利用になると、ステータスバーに［LOCK］が表示されます。
◎おサイフケータイ®のロックパターンとFeliCa™のバリューは、IS12Sを初期化しても削除されません。
◎「おサイフケータイ ロック設定」を解除するには、サービス一覧画面から設定時と同様の操作を行ってください。
◎IS12Sを紛失してしまった場合は、安心セキュリティパックの「3LM Security」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「安心セキュリティパックでできること」（▶P.84）をご参照ください。
遠隔操作でロックをかけた場合、「おサイフケータイ ロック設定」からは解除できません。「3LM Security」の操作で解除するか、「データの初期化」を行ってください。

Androidアプリ

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、IS12Sにダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションやIS12Sと互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、マーケットのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Androidマーケットヘルプ」(▶P.78)でご確認ください。

Androidマーケットをご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]と操作して、「データ通信を有効にする」のチェックを外します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- IS12Sに搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 ホーム画面で[マーケット]

初めて起動したときは、利用規約が表示されますので内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリケーションを購入するときは

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションはIS12Sからアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Androidマーケットヘルプ

Androidマーケットについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[≡]→[ヘルプ]と操作します。ブラウザよりAndroidマーケットヘルプウェブページに進みます。

au one Marketを利用する

au one Marketからアプリケーションをダウンロード・インストールできます。目的のアプリをカテゴリーやキーワードから検索したり、ランキングから探すことができます。

- 一部の機能を利用するには、au one-IDを設定する必要があります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.22)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[au one Market]

初めて起動したときは、利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意」をタップしてください。

memo

◎au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法はau one Marketの配信元によって異なります。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎本書記載のサービス名称「au one Market」は、2012年3月に「au Market」への変更を予定しております。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いのIS12Sと個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[アプリケーション]

2 「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる

3 表示される内容を確認して[OK]

■ ダウンロードしたアプリケーションを表示する

1 ホーム画面で[▦]→[ブラウザ]

2 [≡]→[その他]→[ダウンロード履歴]

memo

◎Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

■ アプリケーションを強制停止する

1 アプリケーションが応答しないというポップアップウィンドウが表示されたら[強制停止]

memo

◎アプリケーションを強制停止したくないときには、「キャンセル」をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[アプリケーション]

2 [アプリケーションの管理]

3 削除するアプリケーションをタップ

4 [アンインストール]→[OK]

アプリケーションがアンインストールされます。

5 [OK]

◎ Androidマーケットからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
◎ アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、ホーム画面で[≡]→[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]→データを消去するアプリケーションをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。
◎ アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、ホーム画面で[≡]→[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。
◎ 開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

YouTubeを利用する

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはYouTube用アカウントを設定する必要があります。

1 ホーム画面で[▦]→[YouTube]

YouTube画面が表示されます。

2 再生する動画を選択

◎ 動画コンテンツのダウンロード・アップロードの際に、パケット通信料がかかる場合があります。
◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。
◎ アップロード中は、ステータスバーに通知アイコンが表示され、通知パネルでアップロードの進捗状況を確認できます。
◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→[≡]→[設定]→[ヘルプ]と操作して確認してください。

Skype™ | auを利用する

音声通話や、インスタントメッセージ(チャット)ができます。

■ 音声通話について

「Skype™」宛の通話と、海外の電話への通話ができます。

- 「Skype™ | au」から「Skype™」宛の通話
  発信先のSkype名を指定して発信します。「Skype™ | au」同士のみならず、PCや他事業者のスマートフォンなど、機器を問わず、Skype™アプリ搭載機器であれば通話が可能です。
- 「Skype™ | au」から海外の電話への通話
  発信先の電話番号をダイヤルして発信します。ご利用には事前にSkype社が提供する「Skype™クレジット」の購入が必要です。「Skype™クレジット」の購入方法は、Skype社公式ホームページ(http://www.skype.com/intl/ja/prices)、またはSkype™アプリのヘルプをご参照ください。

◎「Skype™ | au」を利用して日本国内の電話へ発信した場合は、通常のau携帯電話からの発信になります。

■ インスタントメッセージ(チャット)について

パケット通信を利用し、「Skype™」同士でのチャットがいつでもお楽しみいただけます。

au one Friends Noteを利用する

au one Friends Noteを利用して、連絡先やmixiのマイミク、Gmailの連絡先など複数の友達リストを管理することができます。
複数のメディアの友達の投稿やメッセージを、まとめて参照したり、写真やメッセージを複数のメディアにまとめて投稿することができます。

- au one Friends Noteを利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.22)をご参照ください。
- 以前の「jibe」アプリを利用していた場合は、「jibe」アプリの設定情報を引き継ぐことができます。

1 ホーム画面で[▦]→[Friends Note]

初回起動時には許可画面と利用規約が表示されます。[同意する]→[次へ]と操作し、「Friends Note利用規約」をタップして利用規約を確認します。

2 [同意する]

au one-ID確認画面が表示されます。
au one-IDが未設定の場合は、設定画面/ログイン画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

3 [次へ]

au one Friends Noteにリニューアルされる前の「jibe」アプリを利用していた場合、au one-IDにて以前の設定状態を継続して利用できるようID紐付けいたしますので、以前お使いのIDをご入力ください。

4 [今すぐ]/[後で]

memo

◎ 本書記載のサービス名称「au one Friends Note」は、2012年3月に「Friends Note」への変更を予定しております。

Googleサービス

Googleトークを利用する

Googleトークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。Googleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。

Googleトークにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で[▦]→[トーク]

2 [次へ]→[ログイン]

3 ユーザー名とパスワードを入力→[ログイン]

◎ Googleトークの詳細については、Googleトークの画面→[≡]→[設定]→[利用規約とプライバシー]→[Help Center]と操作して確認してください(Talk Helpは英語で表示されます)。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

- Googleマップの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[マップ]

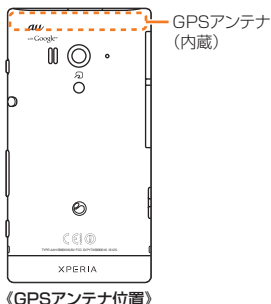
マップ画面が表示されます。

memo

◎現在地を取得する前に現在地検索の設定を有効にしてください（▶P.80）。
◎Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi®接続が必要です。
◎Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
◎3G/Wi-Fi®の接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。
◎Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

GPS機能を利用する

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi®（無線ネットワーク）またはGPSを使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。GPSを使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。無線ネットワークとGPSの両方を有効にすると、両方のメリットを生かして測位することができます。
IS12Sには、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナをおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

《GPSアンテナ位置》

memo

◎GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
◎本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。
◎衛星利用測位（GPS）は、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
◎ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
◎各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
◎当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本製品の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

■ GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で[≡]→[設定]

2 [現在地情報とセキュリティ]

3 「GPS機能を使用」にチェックを入れる

4 内容を確認して[同意する]

■ 現在地検索を有効にする

モバイルネットワークとWi-Fi®を使った現在地検索を有効にします。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]

2 [現在地情報とセキュリティ]

3 「無線ネットワークを使用」にチェックを入れる

4 内容を確認して[同意する]

5 位置情報についての内容を確認して[同意する]

無線ネットワークを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

地図上で現在地を検出する

1 マップ画面→[◈]

現在地が地図上で青い矢印の点滅で表示されます。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。

1 マップ画面→ストリートビューで表示する地点をロングタッチ

2 表示された吹き出しをタップ

3 [人]（ストリートビュー）

ストリートビュー表示中に[≡]→[コンパスモード]と操作すると、IS12Sの地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。
ストリートビュー非対応地域の場合はグレー表示となります。

興味のある場所を検索する

1 マップ画面→[≡]→[検索]

2 検索ボックスに検索する場所を入力

住所、都市、ビジネスの種類や施設（例えば、ロンドン　美術館）を入力できます。
検索ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが画面に表示されます。リストで住所などをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 [🔍]／[🔍]

地図上に検索した場所が表示されます。
マップ画面左下に[☜]が表示された場合は、「[☜]」をタップして表示する場所を選択することができます。
マップ画面上部に「もしかして･･･」と表示された場合は、「もしかして･･･」をタップして表示する場所を選択することができます。

4 目的の場所をタップ

詳細情報画面が表示されます。

◎詳細情報画面では、「地図」、「経路」、「通話」などが利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。
◎マップ画面→[≡]→[その他]→[プレイス]と操作すると、検索した地点を中心にして「レストラン」「カフェ」などのカテゴリーを選択して検索し、地図表示できます。検索カテゴリーは追加することもできます。詳しくは「Googleプレイスを利用する」(▶P.81)をご参照ください。

地図を拡大/縮小する

1 「+」/「-」をタップして拡大/縮小

画面をダブルタップやピンチすることでも拡大/縮小できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 マップ画面→[ ]

2

渋滞状況	渋滞状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
路線図	路線情報を表示します。
Latitude	▶P.81「Google Latitudeを利用する」
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップはIS12Sからは閲覧するだけで作成できません。
ウィキペディア	Ⓦを表示します。「Ⓦ」をタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。

※渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 マップ画面→[≡]→[経路]

2 上のテキストボックスに出発地を入力し、下のテキストボックスに目的地を入力

テキストボックス右の「 」をタップして「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から出発地、目的地を選択することもできます。

3 [ ](車)/[ ](公共交通機関)/[ ](徒歩)

4 [経路を検索]

目的地への道案内が表示されます。

5 公共交通機関で検索した場合には、リストの中から好みの経路をタップ

車や徒歩で経路検索した場合は、経路が地図で表示されます。
「 」をタップすると、経路の詳細が表示されます。
「←→」をタップすると、経路のポイントが表示されます。

◎「ナビ」アプリケーションを利用すると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用になれます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 マップ画面→[≡]→[地図をクリア]

クリアする内容がない場合には「地図をクリア」はタップできません。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。

位置情報を共有するには、Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 マップ画面→[≡]→[その他]→[Latitudeに参加]

初めてLatitudeに参加するときに、友人とGoogleに現在地の共有を許可するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。
一度Latitudeに参加すると、メニュー項目は「Latitude」に変わります。

◎Latitudeレイヤ(▶P.81)からもLatitudeに参加できます。
◎Latitudeの設定およびログアウトは、マップ画面→[≡]→[設定]→[現在地送信]と操作して、設定画面から行います。

Googleプレイスを利用する

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。

1 ホーム画面で[ ]→[プレイス]

2 検索するカテゴリーをタップ

画面上部のキーワード入力欄に地名や店名を入力しても検索できます。
カテゴリーを追加する場合は、[≡]→[検索を追加]→カテゴリーなどを入力→[追加]と操作します。

3 検索結果から目的の情報をタップ

◎利用する場所によって、使用できる機能が異なります。
◎サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Timescape™を利用する

Timescape™は、Facebook、Foursquare、Twitter、mixiの更新などの履歴が画面上に時系列で表示されます。1つの履歴を表示する前に、個別の履歴をタイル形式にして時系列で並べたプレビューを表示できます。また、 (インフィニットボタン)を使用すると、登録した連絡先に関するすべてのコミュニケーション情報を表示できます(▶P.82)。

memo

◎ソーシャルネットワークサービス(SNS)を設定することでTimescapeの利点を最大限に活用できます。
◎Facebook アカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.comのウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
◎Foursquareアカウントをまだお持ちでない場合は、https://ja.foursquare.comのウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
◎Twitterアカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.twitter.comのウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
◎mixiアカウントをまだお持ちでない場合は、http://mixi.jpのウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
◎設定したFacebook、Foursquare、Twitter、mixiなどの更新内容は、Timescapeから確認することができます。

Timescapeの初期設定をする

Timescapeを初めて起動すると、セットアップウィザードにより各アカウント登録に必要な手順が表示されます。

1 ホーム画面で[▦]→[Timescape™]

2 タイルをタップ

3 必要に応じて、Facebook／Foursquare／Twitter／mixiのアカウント情報を入力

4 [完了]

Timescape画面が表示されます。

memo

◎ Timescapeは、Timescapeウィジェットの「 」をタップして起動することもできます。
◎ セットアップウィザード中に、アカウント情報を登録する画面で「拡張機能検索」をタップすると、Androidマーケットに接続して、Timescapeの新たなサービスを検索できます。
◎ セットアップウィザード完了後も、Timescape画面→[≡]→[設定]と操作して、いつでもTimescapeの設定を変更することができます。
◎ Facebook／Foursquare／Twitter／mixiの自動更新を設定すると、より速く情報の更新を確認できますが、電池の消耗が早くなります。手動更新に設定することで電池を節約することができます。

Timescapeを起動する

Timescape画面

① **最新のコメント**
Facebook／Foursquare／Twitter／mixiに投稿した最新のコメントを表示します。タップして、サービスに投稿することができます。

② **タイル**
Facebook、Foursquare、Twitter、mixiの友人からの更新の各種情報を時系列に沿って表示します。

③ **フィルター**
フィルター項目をタップして、特定のサービスの情報に絞り込みます。フィルターの並び順は異なる場合があります。

Timescapeでタイルをスクロール

1 タイルを上下にスライド

Timescapeでタイルをプレビュー

タイルを選択して、タイル上で内容を確認できます。

1 タイルをタップ

フィルターのアイコン

フィルターアイコン	表示するタイル
(すべて)	すべてのタイル
(Facebook)	Facebookの更新情報タイル
(Foursquare)	Foursquareの更新情報タイル
(Twitter)	Twitterの更新情報タイル
(mixi)	mixiの更新情報タイル

表示されたタイルにフィルターを適用する

1 Timescape画面→フィルターアイコンをタップ

Timescape画面を更新する

Timescape画面を更新すると、インターネットに接続してTimescapeでアカウント設定済みのサービスの情報を更新します。

1 Timescape画面→[≡]→[更新]

TimescapeからFacebook、Foursquare、Twitter、mixiへ投稿する

1 Timescape画面→[≡]→[ステータスを入力]

2 投稿するサービスにチェックを入れる→[続行]

3 テキストを入力→[投稿]

タイルのアイコン

タイルの中に表示されるアイコンは、次の情報内容を示しています。

アイコン	情報内容
(Facebook)	Facebook更新。タイルをタップして、Facebookの更新を表示できます。
(Foursquare)	Foursquare更新。タイルをタップして、Foursquareの更新を表示できます。
(Twitter)	Twitter更新。タイルをタップして、Twitterの更新を表示できます。
(mixi)	mixi更新。タイルをタップして、mixiの更新を表示できます。

タイルの詳細情報を表示する

1 Timescape画面→タイルをタップ→もう一度タップ

Timescapeのインフィニットボタン

タイルをタップすると、右上隅に(インフィニットボタン)が表示される場合があります。「 」をタップすると、連絡先に登録された情報やタイルフィルターごとの履歴を表示できます。

Timescapeから連絡先の登録情報を表示する

1 Timescape画面→タイルをタップ

2 [ ]

選択されているタイルの種別ごとの履歴を表示します。

3 画面下部の情報フィルターをフリック

連絡先の情報を表示します。

Timescapeの設定をする

Timescapeの設定画面を表示する

1 Timescape画面→[≡]→[設定]

2

更新方法	Timescapeを起動時に、アカウント設定済みのFacebook、Foursquare、Twitter、mixiの情報を手動／自動で更新するように設定します。
Timescape™コンテンツ	Timescapeに表示されるコンテンツ種別を変更します。
サービスを設定	Facebook／Foursquare／Twitter／mixiのアカウントを設定したり、Timescapeの新たなサービスを検索します。

au one ニュースEXを利用する

ニュースEXを利用して、最新のニュースや天気、占い、交通情報などを確認できます。
- ご利用いただくには、アプリケーションのインストールが必要です。
- 一部の機能を利用するにはau one-IDを設定する必要があります（▶P.22）。

1 ホーム画面で[▦]→[ニュースEX]

初めて起動したときは、インストールの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってインストール、各種設定を行ってください。

memo

◎すべてのコンテンツを閲覧するには、別途お申し込み（情報料有料）が必要です。
◎データの取得間隔が短いほど最新の情報を取得できますが、電池の消耗が早くなります。
◎本書記載のサービス名称「au one ニュースEX」は、2012年3月に「au ニュースEX」への変更を予定しております。

音楽と動画を利用する

音楽と動画は、Facebookで共有した動画や音楽の一覧を表示するアプリケーションです。Facebookで登録した友達が共有している動画や音楽も一覧表示することができます。また、動画や音楽を選択すると、「いいね！」を付けたり、コメントの投稿や閲覧ができます。
- 音楽と動画をご利用になるには、あらかじめFacebookにログインする必要があります（▶P.104）。

1 ホーム画面で[▦]→[音楽と動画]

カレンダーを利用する

IS12Sには予定を管理するカレンダーが内蔵されています。Googleアカウントを持っている場合は、IS12Sのカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。「アカウントと同期の設定をする」（▶P.103）をご参照ください。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。
「月」／「週」／「日」をタップして表示を切り替えることができます。

《カレンダー画面（1ヶ月表示の場合）》

① **選択されている日付**
色が付きます。
色は設定しているテーマ（▶P.25）によって異なります。

② **予定一覧**
選択されている日付の予定が時系列で一覧表示されます。上下にスライドして予定を確認できます。

③ **予定作成アイコン**
選択されている日付の予定を作成できます。

④ **予定**
登録した予定があるときに表示されます。

⑤ **今日の日付**
背景がハイライトされます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[☰]

2

予定を作成	▶P.83「カレンダーの予定を作成する」
今日	今日の日付にカーソルを移動します。
マイカレンダー	設定されているカレンダーアカウントを表示します。同期や表示の設定ができます。
設定	▶P.83「カレンダーの設定を変更する」

カレンダーの予定を作成する

1 カレンダー画面→[+]

カレンダー画面→[☰]／画面をロングタッチ→[予定を作成]と操作しても作成できます。

2 予定のタイトル、日時を入力

3 複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、目的のカレンダーを選択

4 必要に応じて、予定の繰り返し間隔を選択

5 予定の通知間隔を選択

予定に新しい通知を追加するには、「+」をタップします。

6 予定の場所、内容、その他を入力

7 [保存]

■ カレンダーの予定を表示する

1 カレンダー画面→予定のある日付をタップ→表示する予定をタップ

左右にフリックすると、1ヶ月表示では前後の月、1日表示では前後の日、1週間表示では前後の週を表示します。

memo

◎Facebookのカレンダーと同期している場合は、Facebookのイベントもカレンダーの予定に表示されます。

予定のリマインダーを解除またはスヌーズを設定する

1 ステータスバーに[30]（リマインダーアイコン）が表示されたら、ステータスバーを下にスライド

通知パネルが開きます。
リマインダーアイコンは通知を設定した時刻になると表示されます。

2 目的の予定をタップ

3 [すべてスヌーズ]／[すべて解除]

該当の予定のほかにも保留中の予定がある場合、それらの予定も同じ画面に表示されます。
「すべてスヌーズ」をタップすると、5分後にすべてのカレンダーをスヌーズします。（スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。）

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示、リマインダーの通知方法、着信音、バイブレーション、通知間隔などを設定します。

1 カレンダー画面→[☰]→[設定]

2 項目を選択して変更

時計／アラームを利用する

「時計とアラーム」を利用すると、アラームを設定できるほか、ディスプレイに時計や写真のスライドショーを表示させたり、ミュージックプレーヤーで音楽を流したりする設定ができます。

1 ホーム画面で[▦]→[時計とアラーム]

時計画面が表示されます。

《時計画面》

① **アラーム表示**
設定したアラームがある場合に表示されます。

② ：バックライト消灯
点灯させるには画面をタップします。

③ **時計表示**
ディスプレイに触れず5分経過すると、日付･時刻のみの表示になります。

④ **ニュースと天気**
タップすると「ニュースと天気」アプリケーションを起動します。
※現在地の天気予報を表示するには、現在地情報が取得できるように設定（▶P.80）する必要があります。

⑤ ：アラーム一覧画面を表示
⑥ ：スライドショーを表示
⑦ ：ミュージックプレーヤー画面を表示
⑧ ：ホーム画面に戻る

アラームを設定する

1 時計画面→[ ]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [アラームを追加]

3 数字を上下にドラッグして時刻を合わせる

4 必要に応じて、項目を設定

5 [完了]

アラーム一覧画面に戻ります。
設定したアラームにチェックが入り、ステータスバーに が表示されます。

アラームをオフにする

1 アラーム一覧画面→オフにするアラームのチェックを外す

アラームを削除する

1 アラーム一覧画面→削除するアラームをロングタッチ

2 [アラームを削除]→[はい]

アラームを止める

1 アラームが鳴っているときの画面で「スヌーズ-XX分」をタップ／「 」を右にスライド

XXには設定した時間が入ります。
「スヌーズ」ではアラームを一定時間止めて、XX分後に再度鳴らします。「 」を右にスライドするとアラームは停止します。
アラームが鳴っている画面が表示されていない場合は、ステータスバーを下にスライドし、アラームをタップすると画面を表示させることができます。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

• 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[MENU]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]

初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」を選択します。
サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイト（https://cs.kddi.com/）にて行えます。
利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート＆サービス	▶P.84「安心セキュリティパックを利用する」
ウェブサイト	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへの接続などができます。

memo

◎画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や設定メニューなどが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™モバイル for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

• 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

◎安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター™モバイルfor au」のセットアップを行ってください。

3LM Security

• 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
• IS12Sを盗難･紛失された場合に、IS12S内のデータを削除する場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
• IS12Sを盗難･紛失された場合に、IS12Sを遠隔操作でロックすることができます。また、遠隔操作でロックを解除することもできます。
• 「3LM Security」を起動したときやIS12Sが遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
• 定期的にIS12Sの端末情報をサーバーに送信します。

■ リモートサポート

- 携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のIS12Sの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ ウイルスバスター™モバイルfor au

- 不正アプリ対策
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック／SMSブロック
  迷惑電話やSMS（Cメール）の着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上ご注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- 「GPS機能を使用」（▶P.80）を無効にしていると位置情報は通知されません。
- ご契約いただいているau ICカード情報と利用開始設定時のau ICカード情報が一致している端末の検索ができます。

3LM Securityを利用する

1 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[3LM Security]→[個人向け設定]

初回起動時は、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意します]→[有効にする]と操作してください。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[リモートサポート]

起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

3 オペレータの指示に従って操作

ウイルスバスター™モバイルfor auを利用する

1 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[ウイルスバスター]

初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 項目を選択

3 画面の指示に従って操作

memo

◎ ホーム画面で[▦]→[3LM Security]／[リモートサポート]／[ウイルスバスター]と操作しても利用することができます。
◎ Webフィルタは、Android標準ブラウザでのIS NET、無線LAN（Wi-Fi®）接続時に有効です。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報）を利用することができるアプリです。

1 ホーム画面で[▦]→[au災害対策]

au災害対策メニュー画面が表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がIS NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールを設定する」（▶P.49）をご参照ください。
◎ Wi-Fi®接続中は利用できません。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、緊急地震速報や災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※ お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

1 au災害対策メニュー画面→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**：受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。

◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達·遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎SMS(Cメール)／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円(税込)で、500以上のアプリ取り放題、auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画·電話帳のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心·快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパストップページから「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。

memo

◎ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。

1 ホーム画面→[▦]→[auスマートパス]

auスマートパスにご登録いただいてない場合は、ページトップにある「会員ログイン(非会員 新規登録)」を選択し、au one-IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認のうえ、「利用規約に同意」をタップしてください。au one-IDをお持ちでない場合は、au one-IDを取得してください。

2

アプリ取り放題	500以上のアプリからお好きなアプリを好きなだけダウンロードいただくことができるサービスです。
クーポン&プレゼント	auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼントなどを紹介しています。
au Cloud	大切な写真や動画、電話帳を簡単·安心に預けることができるサービスです。
セキュリティ	大切な情報をしっかりガードする、安心の強力セキュリティアプリです。

memo

◎画面下部の「お問い合わせ」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口を表示できます。
◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎アプリケーションなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。
◎各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ファイル管理

内部ストレージ

IS12Sでは、microSDメモリカードとは別にIS12S本体の内部ストレージにデータを保存できます。
内部ストレージには、赤外線通信で受信したデータやEメール(~@ezweb.ne.jp)のバックアップデータなどが保存されます。
アプリケーションによっては、データの保存先としてmicroSDメモリカード/内部ストレージのどちらかを選択できる場合もあります。
「ASTRO」アプリケーションを利用して内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータを確認したり、フォルダやファイルのコピー/貼り付けによって管理したりすることができます。

- 「ASTRO」アプリケーションの操作について詳しくは、「アストロファイルマネージャでコピー/移動する」(▶P.90)をご参照ください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)をIS12Sに取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

◎ microSDメモリカードの空き容量を確認する方法については、「メモリの使用量を確認する」(▶P.91)をご参照ください。
◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS12Sでは正常に使用できない場合があります。IS12Sで初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.91)をご参照ください。

保護データについて

◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えてもIS12Sで再生できない場合があります。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- IS12SにmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- IS12SのmicroSDメモリカード挿入口には、液体・金属体・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- IS12Sでは市販の2GBまでのmicroSDメモリカード、32GBまでのmicroSDHCメモリカードに対応しています(2012年2月現在)。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSD/microSDHCメモリカード>

※4GB以上は、microSDHCメモリカードの対応状況です。

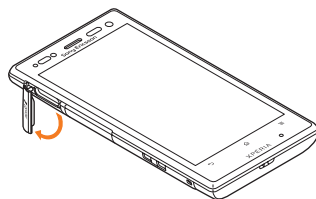
発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	-	○	○	○	○
Panasonic	○	○	○	○	○
SanDisk	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	○	-
バッファロー	○	○	○	○	○
ソニー	○	○	○	○	-

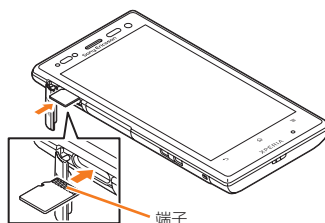
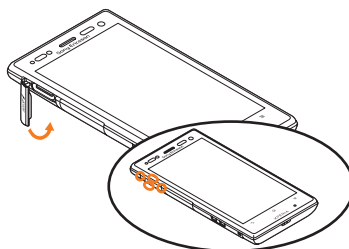
○:動作確認済み　-:未確認または未発売　2012年2月現在

※IS12Sでは、2012年2月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

microSDメモリカードを取り付ける/取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 microSDメモリカード挿入口カバーを矢印の方向に開く

2 microSDメモリカードの端子面を上にして、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 microSDメモリカード挿入口カバーを閉じ、すき間がないことを確認する

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す場合は、必ずマウント(読み書き可能状態)を解除してから行ってください。

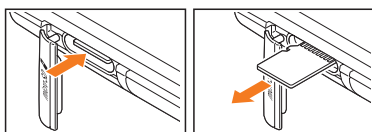
1 ホーム画面で［≡］→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

マウントが解除されるとステータスバーにが表示されます。

2 microSDメモリカード挿入口カバーを開き、microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へまっすぐにゆっくりと押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードが出てこない場合は指で軽く引き出して取り外してください。
microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

4 microSDメモリカード挿入口カバーを閉じ、すき間がないことを確認する

◎アプリケーションにより、microSDメモリカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリカードを挿入してご利用ください。
◎ステータスバーにが表示され、マウントが解除されたことを確認してから、microSDメモリカードを取り外してください。マウント解除完了前に取り外すと、故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、ホーム画面で[≡]→[設定]→[ストレージ]→[SDカードをマウント]と操作してください。

パソコンとデータのやりとりをする

IS12S本体とパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、本体の内部ストレージおよびmicroSDメモリカードがパソコンに認識され、データをドラッグ＆ドロップできるようになります。

◎次の場合には、パソコン側でmicroSDメモリカードがマウント（読み書き可能状態）されないことがあります。
- microSDメモリカードがセットされていない場合
- ステータスバーが表示されないようなフルスクリーンで画面表示するアプリケーションが起動している場合

◎一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。
◎USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと以下のオペレーティングシステム（OS）で、microUSBケーブルを使用してファイルを転送できます。
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP

microUSBケーブルでパソコンと接続する

IS12SとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、お買い上げ時はUSB接続モードの「メディア転送モード（MTP）」と「ファイル転送モード（MSC）」の両方で接続されます。「メディア転送モード（MTP）」は、内部ストレージにアクセスできます。また、「ファイル転送モード（MSC）」は、IS12Sに挿入したmicroSDメモリカードにアクセスできます。

1 microUSBケーブルでIS12Sとパソコンを接続

初めてmicroUSBケーブルで接続したときは、パソコンにIS12Sのドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionのインストール確認画面が表示されます。

2 [スキップ]

内部ストレージおよびmicroSDメモリカードがパソコンに接続されます。

■内部ストレージに保存したデータを確認する場合

3 パソコン上のエクスプローラーに、ポータブルデバイスとしてIS12Sが表示されていることを確認

IS12Sの内部ストレージ（「Internal Storage」）にアクセスできるようになります。

■microSDメモリカードに保存したデータを確認する場合

3 パソコン上のエクスプローラーに、リムーバブルディスクとして表示されていることを確認

microSDメモリカードにアクセスできるようになります。

memo

◎接続時にステータスバーを下にスライドして、「内部ストレージが接続されました」をタップ、または[SDカードが接続されました]→[接続設定]と操作すると、接続状態の確認や以下の接続設定を変更できます。

PC Companionのインストール	パソコン接続時にPC Companionのインストールウィザードを起動します。
USB接続モード	「メディア転送モード（MTP）」および「ファイル転送モード（MSC）」の機能説明を確認できます。
MSCで自動接続	パソコン接続時に自動的に「ファイル転送モード（MSC）」を有効にします。チェックを外すと、パソコンからmicroSDメモリカードにアクセスできません。
信頼された機器	Wi-Fi®ネットワーク経由でホストとなる機器とIS12Sとをペア接続します（▶P.90）。

「MSCで自動接続」にチェックを入れてパソコンに接続するとリムーバブルディスクとしてmicroSDメモリカードにアクセスします。本体側でmicroSDメモリカードにアクセスできなくなるため、カメラ、ギャラリー、ミュージックプレーヤーなどでmicroSDメモリカードを使用する機能が利用できなくなる場合があります。
◎PC Companionをインストールすると、本体のソフトウェア更新をパソコンに接続して行うことができます（▶P.122）。また、パソコンと接続して、メディアファイルを管理したり、バックアップファイルを作成するなど、パソコン上から次のアプリケーションを利用できます。詳細については、インストール後のPC Companion画面で確認できます。

Support Zone	IS12Sのソフトウェア更新をパソコンに接続して行います（▶P.122）。
Contacts Setup	以前ご利用の携帯電話の電話帳をIS12Sにコピーできます。
Media Go	▶P.90「Media Goを利用する」
Sync Zone	OutlookとIS12Sの間でカレンダーと連絡先を同期します。
バックアップと復元	IS12Sのデータをバックアップしたり、別の携帯電話に移動したりできます。
ファイルマネージャ	IS12S内のファイルの種類、更新時間、場所などを確認できます。

◎パソコンに接続すると自動的に充電を開始します。
◎LISMO Portを利用する場合は、「MSCで自動接続」にチェックを入れてください。

取扱上のご注意

- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

microUSBケーブルを安全に取り外す

■メディア転送モード（MTP）の場合

1 データ転送中でないことを確認

2 microUSBケーブルを取り外す

■ファイル転送モード（MSC）の場合

1 データ転送中でないことを確認

2 ステータスバーを下にスライド

「SDカードが接続されました」と表示されている場合は、手順3へ進みます。「本体が接続されました」と表示されている場合は、手順5へ進みます。

3 [SDカードが接続されました]

4 [接続解除]

5 microUSBケーブルを取り外す

本体とパソコンでデータをドラッグ＆ドロップする

画像やミュージックなどのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。

1 **microUSBケーブルでIS12Sとパソコンを接続（▶P.89）**

2 **IS12Sとパソコンの間で、選択したデータをドラッグ＆ドロップ**

memo

◎microSDメモリカードがパソコンにマウントされると、本体からはmicroSDメモリカードにアクセスできなくなるため、カメラなどでmicroSDメモリカードを使用する機能が利用できなくなる場合があります。

Wi-Fi®機能を使ってIS12Sとパソコンを接続する

Wi-Fi®ネットワーク上でIS12Sとパソコン※1がペアになるように接続設定しておくことで、IS12SのユーザーがWi-Fi®ネットワークエリア内に出入りした際、IS12Sの内部ストレージとパソコンが自動的に接続／切断できるようになります。接続したパソコンから内部ストレージ内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

※1 パソコンのオペレーティングシステム（OS）は、Microsoft Windows 7である必要があります。Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、その他のオペレーティングシステム（OS）ではペア接続の設定はできません。

1 **ペア接続するパソコンを、Wi-Fi®ネットワークに接続**

2 **IS12SをWi-Fi®ネットワークに接続（▶P.96）**

3 **パソコンとIS12SをmicroUSBケーブルで接続**
IS12S上にPC Companionのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」をタップしてください。

4 **パソコン上のエクスプローラーに、ポータブルデバイスとしてIS12Sが表示されていることを確認**

5 **ポータブルデバイスのアイコンを右クリックし、「ネットワーク構成」をクリックし、「次へ」をクリック**

6 **IS12S上のポップアップ画面で［ペア］**

7 **パソコンのポータブルデバイスのネットワーク構成画面で、「完了」をクリック**

8 **microUSBケーブルを取り外す**

9 **IS12Sのホーム画面で［≡］→［設定］→［Xperia™］→［接続設定］→「信頼された機器」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップ→［接続］**
Wi-Fi®ネットワーク上でパソコンとIS12Sが「メディア転送モード（MTP）」で接続され、ファイルをやり取りできるようになります。

memo

◎初めてご利用になる場合は、手順9の後でパソコン側にドライバをインストールする必要があります。ドライバをインストールするには、パソコンのスタートメニューから「コンピューター」→「ネットワーク」をクリック→表示されているIS12Sのアイコンを右クリックし、「インストール」をクリックします。
◎接続設定を解除するには、IS12Sのホーム画面で［≡］→［設定］→［Xperia™］→［接続設定］→「信頼された機器」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップ→［除外する］と操作します。
「除外する」をタップするまでは、Wi-Fi®ネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。
◎Wi-Fi®ネットワーク（アクセスポイント）のプライバシーセパレータ機能が有効になっている場合はペア接続ができません。

Media Goを利用する

Media Goは、IS12Sとパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。
Media Goを利用すると、CDからパソコンに楽曲を取り込み、IS12Sへ転送することができます。
Media Goを使用するには、以下のいずれかのオペレーティングシステム（OS）が必要です。

- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP、Service Pack 3以降

memo

◎Media Goの使用方法の詳細については、Media Goのメインメニューのヘルプをご参照ください。

Media Goをインストールする

1 **microUSBケーブルでIS12Sとパソコンを接続**
PC Companionのインストール確認画面が表示されます。

2 **IS12Sの画面で［インストール］**
パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 **パソコンの自動再生画面で「インストール」をクリック**
以降は画面の指示に従って操作してください。

4 **インストール完了後、パソコンに表示される「Sony PC Companion」画面で「Media Go」をインストール**

memo

◎Media Goは、http://www.sonymobile.co.jp/mediago/からダウンロードして入手することもできます。

Media Goを使ってデータを転送する

1 **microUSBケーブルでIS12Sとパソコンを接続**
PC Companionのインストール確認画面が表示されたら、「スキップ」をタップします。

2 **パソコンのスタートメニューからMedia Goを選択して、Media Goを起動**
Media Goで、IS12Sとパソコンの間でファイルを移動できます。

アストロファイルマネージャでコピー／移動する

バックアップと復元機能（▶P.100）でバックアップや復元ができないデータは、「ASTRO」アプリケーションを利用してファイルのコピー／貼り付けなどができます。
IS12Sの内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータは、次のパスで確認できます。
内部ストレージ：/mnt/sdcard
microSDメモリカード：/mnt/ext_card

データをコピー／移動する

IS12SからmicroSDメモリカードにコピー／移動する

1 **ホーム画面で［▦］→［ASTRO］**
初めて起動したときは、ライセンス契約書が表示されます。内容をご確認のうえ［同意］→［OK］と操作してください。

2 **［ファイルマネージャ］**
ディレクトリに「/mnt/sdcard」と表示され、IS12Sの内部ストレージが確認できます。

3 **コピーするファイルやフォルダをロングタッチ→［コピー］／［移動］**

4 ディレクトリに「/mnt」と表示されるまで「上へ」をタップ→「ext_card」
microSDメモリカードが確認できます。

5 任意の場所で[貼り付け]

microSDメモリカードからIS12Sにコピー／移動する

1 ホーム画面で[▦]→[ASTRO]

2 [ファイルマネージャ]

3 ディレクトリに「/mnt」と表示されるまで「上へ」をタップ→[ext_card]
microSDメモリカードが確認できます。

4 コピーするファイルやフォルダをロングタッチ→[コピー]／[移動]

5 ディレクトリに「/mnt」と表示されるまで「上へ」をタップ→[sdcard]
IS12Sの内部ストレージが確認できます。

6 任意の場所で[貼り付け]

Connected devicesでファイルを共有する

Connected devicesを利用すると、Wi-Fi®機能を利用して、他のクライアント(DLNA: Digital Living Network Alliance)機器とIS12Sのメディアファイルを共有し再生できます。
操作の前にあらかじめ他のクライアント機器とWi-Fi®接続(▶P.96)を設定しておきます。

Connected devicesを設定する

1 ホーム画面で[▦]→[Connected devices]
Connected devices画面が表示されます。
初めて起動したときは、Connected devicesの機能説明画面が表示されます。「閉じる」をタップするとConnected devicesをご利用になれます。

2 [≡]→[メディアサーバー]
メディアサーバー設定画面が表示されます。

3

サーバー情報	クライアント機器上で見えるIS12S(サーバー)の名称を変更できます。
コンテンツ共有	クライアント機器からWi-Fi®経由でIS12Sに接続できるように設定します。
アクセス許可待ちの機器	アクセス許可待ちのクライアント機器を管理します。
登録された機器	IS12Sに登録されたクライアント機器を管理します。

◎メディアサーバー設定画面→[≡]と操作すると、Wi-Fi®接続を設定したりヘルプを確認できます。

DLNA機器のメディアファイルをIS12Sで再生する

あらかじめDLNA機器をWi-Fi®接続し、IS12Sからのアクセスを許可しておいてください。

1 ホーム画面で[▦]→[Connected devices]
サーバーリストにデバイス名が表示された場合は、手順4へ進みます。

2 [無線とネットワーク]→「Wi-Fi」にチェックを入れる

3 [⮌]
Connected devices画面に戻ります。

4 サーバーリストに表示されたデバイス名をタップ→目的のカテゴリーをタップ

5 メディアファイルをタップ

IS12SのメディアファイルをDLNA機器で再生する

あらかじめDLNA機器をWi-Fi®接続しておいてください。

1 ホーム画面で[▦]→[Connected devices]

2 [≡]→[メディアサーバー]→「コンテンツ共有」にチェックを入れる→[OK]

3 「Wi-Fi」にチェックを入れる
ステータスバーに▯が表示されます。

4 [⌂]
ホーム画面に戻ります。

5 ホーム画面で[▦]→[ギャラリー]

6 アルバムから再生するファイルをタップ

7 [≡]→[機器で再生]

8 表示されたデバイスをタップ
DLNA機器で再生されます。

メモリを管理する

メモリの使用量を確認する

microSDメモリカード、USBストレージ、内部ストレージ、IS12Sの本体メモリの容量を確認できます。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[ストレージ]
microSDメモリカード、USBストレージ、内部ストレージ、IS12Sの本体メモリの合計容量と空き容量が表示されます。

メモリをフォーマットする

microSDメモリカード、USBストレージ、内部ストレージを初期化できます。
• USBストレージとは、市販のリーダー／ライターケーブルを使ってIS12Sに接続されたmicroSDメモリカードなどの外部記録媒体のことです。

microSDメモリカードをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[ストレージ]

2 [SDカードのマウント解除]

3 [SDカード内データを消去]

4 [SDカード内データを消去]→[すべて削除]

USBストレージをフォーマットする

あらかじめ、microSDメモリカードなどの外部記録媒体を挿入した市販のリーダー／ライターケーブルを、IS12Sに接続しておきます。
フォーマットを行うと、USBストレージ(microSDメモリカードなどの外部記録媒体)の内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[ストレージ]

2 [USBストレージのマウント解除]

3 [USBストレージ内データ消去]

4 [USBストレージデータ削除]→[すべて削除]

IS12Sの内部ストレージをフォーマットする

フォーマットを行うと、IS12Sの内部ストレージの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ストレージ]

2 [内部ストレージ内データ消去]

3 [内部ストレージデータ削除]→[すべて削除]

IS12Sの本体メモリの空き容量を増やす

IS12Sの本体メモリの空き容量が少ない場合、次の操作を行うと空き容量を増やすことができます。

- ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします。詳細については、「履歴を削除する」(▶P.61)をご参照ください。
- 使用しないアプリケーションをアンインストールします。詳細については、「インストールされたアプリケーションを削除する」(▶P.78)をご参照ください。

OfficeSuiteを利用する

OfficeSuiteを利用して、IS12S本体や、microSDメモリカードからWord、Excelなどのファイルを閲覧できます。

OfficeSuiteを起動する

1 ホーム画面で[▦]→[OfficeSuite]

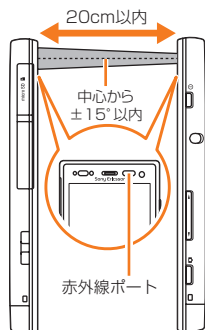
OfficeSuiteが起動します。

データ通信

赤外線通信

IS12Sと赤外線通信機能を持つ他の端末との間で、連絡先、カメラで撮影したデータ、ギャラリーで表示されるデータなどを送受信できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、IS12Sの赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

◎赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎IS12Sの赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
◎送受信時に認証パスコードの入力が必要になる場合があります。認証パスコードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎赤外線通信中に着信した場合は、赤外線通信を終了して着信画面を表示します。
◎赤外線通信中にアラームの設定時刻になった場合は、赤外線通信を終了してアラームが鳴ります。
◎赤外線通信中は、ステータスバーに▥が表示されます。
◎データの送受信が完了すると、「通知音」(▶P.101)で設定した通知音で通知します。通知音量の設定については、「各種音量を調節する」(▶P.102)をご参照ください。マナーモード設定中には通知音は消音されます。通知音のオン／オフを切り替えるには、ホーム画面で[▦]→[赤外線通信]→[≡]→[通知音ON]／[通知音OFF]と操作します。

■ 送受信できるデータについて

- 連絡先
- 自分の連絡先
- ギャラリーで表示されるデータ
- オーディオ(オーディオファイル)

◎送受信できるデータ容量は2MBまでです。データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎相手の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。
◎受信したデータはIS12Sの内部ストレージに保存されます。

赤外線でデータを受信する

1 ホーム画面で[▦]→[赤外線通信]→[1件受信]／[複数件受信]

「複数件受信」を選択した場合は、認証パスコードを入力します。

2 データを受信したら[はい]→保存するアプリケーションを選択

連絡先を受信したときに、同期しているアカウントがある場合は、「本体連絡先」／同期しているアカウントの連絡先から保存先を選択できます。

memo

◎画像、動画、オーディオの複数件の受信はできません。
◎本体メモリの容量がいっぱいの場合は、連絡先を保存できないことがあります。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が127文字(Unicode)以上のデータは正しく保存できない場合があります。
◎ホーム画面の赤外線ウィジェットを利用して、ホーム画面で1件のデータを受信できます。

赤外線でデータを送信する

各機能のメニューや「赤外線通信」アプリケーションからデータを送信できます。

■各機能のメニューから送信する場合

1 各機能のメニューで[共有]→[赤外線通信]

連絡先を赤外線通信で送信する場合は、ホーム画面で[▦]→[電話帳]→[≡]→[連絡先を送信]→送信する連絡先を選択／[すべて選択]→[送信]→[OK]→[赤外線通信]と操作します。
連絡先を全件または複数件選択した場合は、認証パスコードを入力します。

■「赤外線通信」アプリケーションから送信する場合

1 ホーム画面で[▦]→[赤外線通信]→[送信]

2 送信するデータの種別を選択

「連絡先全件」を選択した場合は、認証パスコードを入力します。

◎画像、動画、オーディオの複数件の送信はできません。
◎ホーム画面の赤外線ウィジェットを利用して、ホーム画面から自分の連絡先を送信できます。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。障害物のない10メートル以内の範囲での使用を推奨します。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。IS12SとBluetooth®機器のペア設定を行う必要がある場合もあります。

Bluetooth®

※「Bluetooth®」はBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。

Bluetooth®機能でできること

■ オーディオ出力

ワイヤレスで音楽などを聴くことができます。

■ ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■ データ送受信

連絡先、カメラで撮影したデータ、ギャラリーで表示中のデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

◎IS12SはすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎IS12Sで対応しているBluetooth®のプロファイルについては、「主な仕様」(▶P.123)をご参照ください。
◎Bluetooth® DUNには対応しておりません。IS12Sをモデムとしてパソコンからダイヤルアップ接続することはできませんのでご注意ください。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎microUSBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中(ペア設定中)」、「データ送受信中」、「登録機器一覧からの検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器とIS12Sの間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とIS12Sの間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、「 」を右方向にドラッグすると通話することができます。Bluetooth®で音楽再生中は、音楽が一時停止します。Bluetooth®でデータ通信中は、Bluetooth®通信を継続します。
- アラームを設定した時刻と重なった場合は、アラーム画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。

Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. IS12SとほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、IS12SのBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、IS12SのBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. IS12Sと無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

IS12SでBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→「Bluetooth」にチェックを入れる

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに (接続待機中のアイコン)が表示されます。

2 [Bluetooth設定]→「検出可能」にチェックを入れる

IS12Sが、他のBluetooth®機器から120秒間検出可能になります。

memo

◎初期設定では、Bluetooth®機能はオフです。オンにしてIS12Sの電源を切ると、Bluetooth®機能もオフになります。電源を再度入れると、Bluetooth®機能は自動的にオンになります。
◎Bluetooth®をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

◎オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。

■ Bluetooth®の起動状態を示すアイコンについて

アイコン	説明
	Bluetooth®オン(接続待機中)
	Bluetooth®接続中
	Bluetooth®接続要求通知あり

■ Bluetooth®機器からの接続要求に応答するには

Bluetooth®をオンにしているときに、Bluetooth®機器からの接続要求があると、ステータスバーに「ペア設定リクエスト」のメッセージおよび通知アイコンが表示され、タップするとパスキーを入力する画面が表示されます。
パスキーを入力する画面ではなく、登録機器一覧など、ポップアップによる通知が表示される場合もあります。また、Bluetooth®機器によってはパスキー入力が不要な場合もあります。

■ ハンズフリー通話について

Bluetooth®をオンにした状態で、ハンズフリー機器(最後に接続した機器または優先接続先設定で設定した機器)やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

◎ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」/「HFP」です。
◎ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー通話中に[音量キー]を押すと、ハンズフリー対応機器の受話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。
◎ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

Bluetooth®機器を登録する

IS12SからBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器をペアに設定します。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

Bluetooth設定画面が表示されます。

2 [端末のスキャン]

検出されたBluetooth®機器名が、一覧表示されます。

3 ペア設定を行うBluetooth®機器名を選択

4 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

パスキー入力画面が表示されたときは、IS12SとBluetooth®機器で同じパスキー(4〜16桁の数字)を入力します。認証に成功すると、Bluetooth®機器を使用できます。
ペア設定と接続の状態は、Bluetooth®機器リストのBluetooth®機器名の下に表示されます。
Bluetooth®機器によっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行う機器があります。

◎Bluetooth®機器と接続中は、「端末のスキャン」を実行できない場合があります。
◎ペア設定を行う機器側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎セキュアシンプルペアリング(SSP)機能に対応したBluetooth®機器とペア設定を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペア設定します。
◎接続するBluetooth®機器名が表示されていないときは、「端末のスキャン」をタップして、機器を再検索します。
◎Bluetooth®機器リストでBluetooth®機器をロングタッチすると、メニューに「ペアに設定して接続」が表示されます。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、IS12SおよびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。IS12Sでは、4〜16桁の数字を入力できます。

memo

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

■ ペア設定について

一度IS12SとBluetooth®機器のペア設定を行うと、ペア設定情報は記憶されます。IS12Sと他のBluetooth®機器のペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力を必要とする場合があります。IS12Sは、自動的にパスコード「0000」を試行します。この試行でうまくいかない場合は、Bluetooth®機器の取扱説明書をご参照ください。ペア設定を行ったBluetooth®機器に次回接続するときは、パスコードを再入力する必要はありません。
2つのBluetooth®ヘッドセットとペア設定するという使い方はできませんが、同じBluetooth®プロファイルを使用していない状態で、複数のBluetooth®機器とペア設定を行うことはできます。

他のBluetooth®機器と接続する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続するBluetooth®機器名をロングタッチ

機器名の下に「この端末をペアに設定する」と表示されている機器をロングタッチします。

2 ［ペアに設定して接続］

ペア設定が完了すると、機器の種類により機器名の下に接続状態が表示されます。機器と接続中は、ステータスバーに が表示されます。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続中のBluetooth®機器名をロングタッチ

接続中の機器名の下に、IS12Sとペア設定され接続された状態が表示されています。

2 ［接続を解除］

機器名をタップして接続解除の確認画面で［OK］と操作しても、接続を解除できます。いずれもペア設定された状態のままで、機器名の下の表示が「ペア設定、非接続」に変わります。再接続するときは、機器名をタップします。

Bluetooth®機器の登録を解除する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続中のBluetooth®機器名をロングタッチ

2 ［切断してペアを解除］

接続が切断され、ペア設定も解除されます。
Bluetooth®機器とペア設定のみの状態（非接続）の場合は、「ペアを解除」と表示されます。

Bluetooth®でデータを送受信する

各機能のメニューからBluetooth®でデータを送受信できます。

Bluetooth®でデータを受信する

あらかじめ、Bluetooth®機能をオンにして、相手のBluetooth®機器とペア設定を行ってください。

1 相手のBluetooth®機器からデータを送信

2 データを受信→ステータスバーを下にスライド

3 ［Bluetooth共有：ファイル受信］→［承諾］

Bluetooth®でデータを送信する

1 各機能のメニューで［共有］→［Bluetooth］→送信するBluetooth®機器を選択

連絡先をBluetooth®で送信する場合は、ホーム画面で［ ］→［電話帳］→［ ］→［連絡先を送信］→送信する連絡先を選択／［すべて選択］→［送信］→［OK］→［Bluetooth］と操作します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機（Wi-Fi®ネットワーク）をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能をオンにする

Wi-Fi®を使用するには、Wi-Fi®をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で［ ］→［設定］→［無線とネットワーク］→「Wi-Fi」にチェックを入れる

Wi-Fi®が起動し利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
※Wi-Fi®接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

memo

◎Wi-Fi®がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®が優先されます。
◎Wi-Fi®ネットワークが切断された場合には、自動的に3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
◎Wi-Fi®を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いのIS12Sの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面で［ ］→［設定］→［無線とネットワーク］→［Wi-Fi設定］

Wi-Fi設定画面が表示されます。
利用可能なWi-Fi®ネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されます。
 が表示されているWi-Fi®ネットワークは、オープンネットワークです。
 が表示されているWi-Fi®ネットワークは、セキュリティで保護されています。接続するには、パスワード（セキュリティキー）の入力が必要になります。
 が表示されているWi-Fi®ネットワークは、WPS対応機器にPINコードを入力して接続することができます（▶P.97）。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→［接続］

セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続しようとすると、接続する前にそのWi-Fi®ネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。
接続が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

データ通信

memo

◎Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
◎お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
◎次回接続時には、本体にセキュリティキーが記憶されています。
◎「WEPで保護」と表示されているWi-Fi®ネットワークに接続する場合、間違ったセキュリティキーを入力すると、IPアドレスの取得が開始された後に「接続が制限されています」と表示されることがありますが、Wi-Fi®ネットワークには接続されていません。

■ ステータスバーに表示されるWi-Fi®ネットワーク状態表示アイコン

Wi-Fi®ネットワークの接続状態によって、ステータスバーに次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	Wi-Fi®ネットワークに接続すると表示されます。
	AutoIP機能を使ってWi-Fi®ネットワークに接続すると表示されます。
	オープンネットワークを検出すると表示されます。※1

※1 Wi-Fi®ネットワークに接続していない状態で、あらかじめWi-Fi®ネットワークの通知をオンにしておく必要があります（▶P.97）。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fi®のネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。あらかじめWi-Fi®機能をオンにしておく必要があります（▶P.96）。

1 Wi-Fi設定画面→「ネットワークの通知」にチェックを入れる

ネットワーク通知が設定されます。

Wi-Fi®ネットワークを手動でスキャンする

1 Wi-Fi設定画面→ [≡]

2 ［スキャン］

Wi-Fi®ネットワークのスキャンが開始され、Wi-Fi®ネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されます。

3 一覧にあるWi-Fi®ネットワークをタップ

ネットワークに接続します。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→［Wi-Fiネットワークを追加］

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティタイプを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 ［保存］

memo

◎手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
◎Wi-Fi設定画面→Wi-Fi®ネットワークをロングタッチ→［ネットワークを変更］と操作すると、パスワードを編集できます。

WPS対応機器でWi-Fi®ネットワークに接続する

WPSとは、無線LAN（Wi-Fi®）機器の接続やセキュリティに関する複雑な設定を簡単に行うことができる機能です。IS12SのWPS機能を使うと、WPSに対応している無線LAN（Wi-Fi®）機器をアクセスポイントにしてWi-Fi®ネットワークに接続できます。必要に応じて、WPS対応機器の設定を行ってください。

1 Wi-Fi設定画面→［自動設定（WPS）］

2 対応機器側のWPSボタンを押す

Wi-Fi®ネットワークが接続されます。
PINコード方式で接続する場合は、 が表示されているWi-Fi®ネットワークをタップ→［PINを利用］と操作し、WPS対応機器側でPINを入力すると接続されます。

Wi-Fi®を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 ［切断］

memo

◎Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→［ネットワークから切断］と操作しても、Wi-Fi®接続を切断できます。
◎切断すると、再接続のときにセキュリティキーの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®のスリープ設定をする

Wi-Fi®のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときにIS12SのWi-Fi®機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→ [≡] →［詳細設定］→［Wi-Fiのスリープ設定］

2 Wi-Fi®のスリープ設定を選択

「画面がOFFになったとき」／「電源接続時はスリープにしない」／「スリープにしない」のいずれかをタップします。

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→ [≡] →［詳細設定］→「静的IPを使用する」にチェックを入れる

IP設定の項目が選択できるようになります。

2 項目を選択→必要な情報を入力

静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」「DNS2」の入力が必要です。

3 [≡] →［保存］

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを起動する

1 ホーム画面で［≡］→［設定］

設定メニュー画面が表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
Xperia™	IS12SのFacebookの同期機能を設定したり、IS12S本体内のデータやファイルをバックアップ／復元したり、パソコンや他の機器にUSB接続またはWi-Fi®で接続するときの設定などができます。	P.100
無線とネットワーク	機内モード、Wi-Fi®、Bluetooth®、モバイルネットワーク設定など、通信に関する設定を行います。	P.100
通話設定	留守番電話、転送電話などネットワークサービスを設定します。	P.101
音設定	マナーモードの設定、音声着信音、メール受信音、操作音、バイブレータ（振動）、メディア再生音量などを変更できます。	P.101
画面設定	モバイルブラビアエンジン、アニメーション表示、画面の向き（縦横表示の切り替え）、バックライト消灯など、画面表示に関する設定を行います。	P.102
現在地情報とセキュリティ	GPS機能のオン／オフなどの位置情報に関する設定や、画面ロックの設定などのセキュリティに関する設定を行います。	P.102
アプリケーション	アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。	P.103
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.103
プライバシー設定	データの初期化を行います。	P.104
ストレージ	microSDメモリカード、USBストレージ、内部ストレージ、IS12S本体メモリの容量を確認できます。また、microSDメモリカード、USBストレージ、内部ストレージを初期化できます。	P.105
言語とキーボード	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.105
音声入出力	Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。	P.105
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。	P.105
日付と時刻	日付と時刻の表示形式の設定などをします。	P.105
端末情報	電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もできます。	P.106

memo

◎ホーム画面で［▦］→［設定］と操作しても、設定メニュー画面を表示できます。

Xperia™の設定をする

1 設定メニュー画面→［Xperia™］

2

Xperia™用Facebook	Xperia™用Facebookの接続、同期設定を行います。
バックアップと復元	▶P.100「バックアップ／復元する」
接続設定	▶P.89「microUSBケーブルでパソコンと接続する」

電池性能表示	内蔵電池の性能を表示します。 内蔵電池は充放電の繰り返しにより次第に劣化し、充電できる容量（充電能力）が減少します。本機能では、この内蔵電池の充電能力がどの程度劣化しているかを判定します。 実際に充電できる容量が、お買い上げ時の容量の50%以上の場合は「内蔵電池の充電能力は良好です（50%以上）」、50%未満の場合には「内蔵電池の充電能力が低下しています（50%未満）」と表示されます。 ※本機能は電池の性能を判定するものであり、電池の残量を示すものではありません。

バックアップ／復元する

microSDメモリカードにIS12Sの連絡先、通話履歴、SMS（Cメール）、ブックマーク、IS12Sのカメラで撮影した静止画や動画をバックアップします。

- 事前に電池残量が十分であることを確認してください。
- バックアップ／復元中に「SDカードのマウント解除」を行わないでください。

■ microSDメモリカードにバックアップする

1 設定メニュー画面→［Xperia™］

2 ［バックアップと復元］→［バックアップ］

3 ［今すぐデータをバックアップ］／［今すぐメディアをバックアップ］→［OK］

「今すぐデータをバックアップ」をタップすると、連絡先、通話履歴、SMS（Cメール）、ブックマークのデータをmicroSDメモリカードへバックアップできます。
「今すぐメディアをバックアップ」をタップすると、IS12Sのカメラで撮影した静止画や動画ファイルをmicroSDメモリカードへバックアップできます。

memo

◎Googleアカウントなどに登録された連絡先はバックアップできません。
◎Eメール（～@ezweb.ne.jp）やGmail、ウェブサイトからダウンロードした静止画や動画などは、バックアップできません。

■ バックアップファイルをIS12Sに復元する

1 設定メニュー画面→［Xperia™］

2 ［バックアップと復元］→［復元］

3 ［今すぐデータを復元］／［今すぐメディアを復元］→［OK］→［OK］

「今すぐデータを復元」をタップすると、連絡先、通話履歴、SMS（Cメール）、ブックマークのバックアップデータがIS12Sに復元されます。復元するデータがすでにIS12Sに存在している場合は追加されません。
「今すぐメディアを復元」をタップすると、IS12Sの静止画や動画ファイルは削除され、microSDメモリカード内の静止画や動画のバックアップファイルが復元されます。

memo

◎連絡先、通話履歴、SMS（Cメール）、ブックマークの復元後は、バックグラウンドでシステムが作動しているため5分間はIS12Sの電源を切らないでください。

■ ASTROを使ってデータをコピーする

「ASTRO」アプリケーションを利用して、IS12SとmicroSDメモリカードとの間でデータのコピー／移動ができます。
詳しくは、「アストロファイルマネージャでコピー／移動する」（▶P.90）をご参照ください。

無線とネットワークの設定をする

1 設定メニュー画面→［無線とネットワーク］

2

機内モード	▶P.101「機内モードの設定をする」
Wi-Fi	▶P.96「無線LAN（Wi-Fi®）機能」
Wi-Fi設定	

Bluetooth	▶P.94「Bluetooth®機能」
Bluetooth設定	
VPN設定	▶P.101「VPNを設定する」
モバイルネットワーク	▶P.101「モバイルネットワークを設定する」 ▶P.115「エリアを設定する」

機内モードの設定をする

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi®、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

■ 機内モードをオンにする

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]

2 「機内モード」にチェックを入れる

「機内モード」のチェックを外すと、機内モードはオフになります。
機内モードがオンの場合でもWi-Fi®をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域ではWi-Fi®を使用しないよう注意してください。

memo

◎ [電源]（1秒以上長押し）→[機内モード]と操作してもオン／オフを切り替えることができます。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
IS12SからVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
詳しくは、http://www.sonymobile.co.jp/support/をご参照ください。

- IS12Sは以下の種類のVPNに対応しています。
  - ・PPTP VPN
  - ・L2TP VPN
  - ・L2TP/IPSec PSK VPN
  - ・L2TP/IPSec CRT VPN

■ VPNを追加する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

2 [VPNの追加]→ 追加するVPNの種類をタップ

3 画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従いVPN設定の各項目を設定

4 [メニュー]→[保存]

VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

memo

◎追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[ネットワークの編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→[メニュー]→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[ネットワークを削除]→[OK]と操作します。

■ VPNに接続する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 ダイアログボックスが表示されたら、必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。切断すると、VPN設定画面に戻るための通知が表示され、再接続できます。詳しくは、「IS12Sの状態を知る」（▶P.30）をご参照ください。

■ VPNを切断する

1 通知パネル→VPN接続中を示す通知をタップ

接続中のVPNをタップすると切断されます。

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

■ データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]

モバイルネットワーク設定画面が表示されます。

2 「データ通信を有効にする」にチェックを入れる→[はい]

通信料に関するメッセージが表示されます。
お買い上げ時は「データ通信を有効にする」に設定されています。

memo

◎「データ通信を有効にする」のチェックを外すとデータ通信が無効になり、CDMA1XWIN（国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む）でのパケット通信ができなくなります。
◎ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.115）をご参照ください。
◎通常は、モバイルネットワーク設定画面の「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にするとデータ通信が行えなくなる場合があります。

通話関連機能の設定をする

1 設定メニュー画面→[通話設定]

2

留守番電話	▶P.108「お留守番サービスを利用する（標準サービス）」
転送電話	▶P.110「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」
割込通話	▶P.111「割込通話サービスを利用する（標準サービス）」
国番号表示（日本在圏時）	日本国内での電話発信時に国番号一覧を表示するかどうか設定します。
国番号表示（海外在圏時）	海外での電話発信時に国番号一覧を表示するかどうか設定します。
発信者番号通知	▶P.112「発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）」
ノイズ抑制	通話中、通話相手が会話の内容を聞き取りやすくなります。
アカウント	インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。
通話方法	インターネット通話（SIP）の通話方法を設定します。

音の設定をする

1 設定メニュー画面→[音設定]

2

xLOUD™	オーディオ再生レベル強調技術（"xLOUD"）を設定すると、ミュージック、YouTube、ギャラリーなどの再生時に、本体スピーカーで迫力のあるサウンドを楽しめます。
マナーモード	▶P.102「マナーモードを設定する」
バイブレーション	振動するタイミングを設定します。
音量	▶P.102「各種音量を調節する」
着信音	▶P.102「着信音を設定する」
通知音	メール着信などの通知音を設定します。
タッチ操作音	▶P.102「操作音をオンにする」
選択時の操作音	
画面ロックの音	キーロックや画面ロックの解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
入力時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、IS12Sを振動させるかどうかを設定します。

マナーモードを設定する

1 設定メニュー画面→[音設定]

2 「マナーモード」にチェックを入れる

memo

◎ [⏻](1秒以上長押し)→[マナーモード]と操作しても、マナーモードのオン／オフを切り替えることができます。
◎ IS12Sでは、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の音(動画再生、音楽再生、アラームなど)は消音されません。

■ バイブレータを設定する

1 設定メニュー画面→[音設定]→[バイブレーション]

2 項目を選択

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→[音設定]→[音量]

次の項目の音量を調節します。
- 着信音
- メディア(ミュージックプレーヤーやギャラリー、FMラジオの再生音など)
- アラーム
- 通知音

2 スライダを左右にドラッグして、レベルを調節

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 [OK]

memo

◎ お買い上げ時は、着信音量を調節すると通知音量も同じ音量に調節されます。着信音と通知音を個別に調節するには、設定メニュー画面→[音設定]→[音量]と操作して、「通知音にも着信音量を適用」のチェックを外します。着信音・通知音それぞれの音量調節のスライダが表示され、スライダを左右にドラッグして個別に音量を設定できます。
◎ マナーモード設定時には音量の調節はできません。

着信音を設定する

Media Go(▶P.90)から転送したり、インターネットからダウンロードした「.wav」、「.m4a」または他の形式の音声ファイルを着信音として設定できます。

1 設定メニュー画面→[音設定]→[着信音]

2 着信音を選択→[完了]

memo

◎ お買い上げ時に登録されている着信音以外の着信音を設定する場合は、「ミュージックライブラリ」からも設定できます。
◎ ホーム画面で [◁ ▷] の上下を押すと、音量の調節バーが表示され、着信音量を調節することができます。
◎ 着信時に [◁ ▷] または [⏻] を押すと、着信音を消音にすることができます。

操作音をオンにする

1 設定メニュー画面→[音設定]

2 「タッチ操作音」「選択時の操作音」にチェックを入れる

「タッチ操作音」はダイヤルパッドをタップしたときの操作音、「選択時の操作音」はメニュー項目をタップしたときの操作音です。チェックを外すと、タップしたときに操作音が鳴らないようになります。

memo

◎ キーボードのキー操作音の設定は、設定メニュー画面→「言語とキーボード」でキーボードの種類を選択してから設定します。

画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[画面設定]

2

項目	説明
モバイルブラビアエンジン	色鮮やかで美しい写真や動画を表示するために、画質改善処理(モバイルブラビアエンジン)を設定します。コントラストや色合いなどが調節されます。
画面の明るさ	画面の明るさレベルを調節します。
画面の自動回転	IS12Sを横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わるように設定します。
アニメーション表示	画面がなめらかに切り替わるように見えるアニメーションの効果を設定します。
バックライト消灯	画面バックライトが自動消灯するまでの時間を設定します。
テーマ	▶P.25「ホーム画面のメニューを利用する」
ロック画面設定	▶P.102「キーロック解除画面に表示される情報を設定する」

キーロック解除画面に表示される情報を設定する

キーロック解除画面(▶P.21)に表示される情報を設定します。

1 設定メニュー画面→[画面設定]→[ロック画面設定]

■ 通知情報を詳細に表示しない場合

2 「プライバシー」にチェックを入れる

通知情報と件数を表示し、相手の情報やメッセージの内容などは表示されません。

■ ショートカットアイコンを変更する場合

2 [アプリケーションショートカット]→設定するショートカットを選択

キーロック解除画面で日時付近を右にフリックすると、設定したアプリケーションのショートカットが表示され、キーロックを解除しなくても起動することができます。左にフリックすると、ミュージックプレーヤーのウィジェットが表示され、キーロックを解除しなくても音楽を再生できます。ミュージックプレーヤーのウィジェットを変更することはできません。

■ 壁紙を設定する場合

2 [壁紙]→アプリケーションを選択→設定する壁紙を選択

■ 通知情報を表示する場合

2 表示する項目にチェックを入れる

「不在着信」、「新着メッセージ」、「新着Eメール」、「カレンダーの予定」にチェックを入れると、それぞれ不在着信、新着SMS(Cメール)、新着PCメール、カレンダーの予定の通知情報を表示します。
Facebookにログインし、Xperia™用Facebookを設定すると、「Facebookのお知らせ」のチェックボックスが表示されます。チェックを入れると、キーロック解除画面にFacebookの新着メッセージの通知情報が表示されます(「友達リクエスト」や「イベント招待」などの通知情報は表示されません)。

現在地情報とセキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]

2

項目	説明
無線ネットワークを使用	▶P.80「現在地検索を有効にする」
GPS機能を使用	▶P.80「GPS機能を有効にする」
画面ロックの設定	▶P.103「画面ロックの解除方法を設定する」
SIMカードロック設定	IS12S使用時にPIN入力が必要になります。 ▶P.103「SIMカードロックを設定する」
パスワードを表示	パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。

安全な認証情報の使用	安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。※1
内部ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージ※2のパスワードを設定したり、変更したりします。
ストレージの消去	認証情報ストレージ※2からすべての証明書や認証情報を消去して、認証情報ストレージのパスワードをリセットします。

※1 あらかじめ認証情報ストレージのパスワードを設定しておいてください。
※2 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

画面ロックの解除方法を設定する

IS12Sの電源を入れたり、画面のバックライトが消灯している状態から復帰するたびに画面ロック解除が必要になることで、データを保護します。画面ロックの設定には、「パターン」、「PIN」、「パスワード」の3種類があります。

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの設定]**

2 **[パターン]／[PIN]／[パスワード]**

「パターン」をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除パターンを入力します。パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定してください。
「PIN」をタップした場合は、画面の指示に従って、4つ以上の数字を入力します。
「パスワード」をタップした場合は、画面の指示に従って、アルファベットを含む4つ以上の文字を入力します。

■ 画面ロックの解除方法を変更する

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの変更]**

2 **現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力**

ロック解除パターンの入力を5回続けて失敗した場合は、30秒待ってから再試行してください。

3 **新しく変更する項目を選択**

設定方法は「画面ロックの解除方法を設定する」(▶P.103)をご参照ください。

■ 画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定(▶P.103)した後に、[電源キー]を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、キーロックと画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する

1 **[電源キー]を押して、バックライトを点灯**

2 **キーロックを解除**

画面ロック解除画面が表示されます。

3 **現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力**

ロック解除パターンの入力を5回続けて失敗した場合は、30秒待ってから再試行してください。

memo

◎画面ロック解除画面→[緊急通報]と操作すると、緊急通報ができます。

■ ロック解除パターンを忘れた場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「パターンが違います」と表示されます。「やり直す」をタップして30秒後に再試行できます。「パターン」を設定している場合は、「次へ」をタップし「質問に回答」／「Googleアカウント情報を入力」のどちらかを選択します。
「質問に回答」を選択した場合、画面ロック解除パターン作成時に設定した「秘密の質問」に答えると画面ロックを解除できます。また、「Googleアカウント情報を入力」を選択した場合、Googleアカウントのユーザー名、パスワードを入力して画面ロックを解除できます。
「やり直す」を選択した場合、画面ロック解除パターンの入力画面に戻ります。画面右下に表示される「パターンを忘れた場合」をタップすると、「次へ」をタップした後の設定画面が表示されます。

memo

◎Googleアカウントは複数のアカウントを設定できますので、Googleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除するには、そのいずれかのアカウントを入力して解除できます。
◎「PIN」／「パスワード」を設定している場合には、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■ 画面ロックがかからないようにする

一度設定した画面ロックをかからない設定に戻します。

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの変更]**

あらかじめ設定しておいたロック解除パターン、PIN、またはパスワードを入力します。

2 **[なし]**

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPIN(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.12)をご参照ください。

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]**

2 **SIMカードのPINコードを入力→[OK]**

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 **PINコードの入力画面で、PINコードを入力→[OK]**

■ PINコードを変更する

SIMカードのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]**

2 **現在のPINコードを入力→[OK]**

3 **新しいPINコードを入力→[OK]**

4 **もう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

アプリケーションの設定をする

1 **設定メニュー画面→[アプリケーション]**

2

提供元不明のアプリ	▶P.78「アプリケーションを管理する」
アプリケーションの管理	
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
ストレージ使用状況	すべてのアプリケーションの容量や使用状況などを表示します。
電池使用量	電池を使用している操作を表示します。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

アカウントと同期の設定をする

1 **設定メニュー画面→[アカウントと同期]**

2

バックグラウンドデータ	▶P.104「自動同期を設定する」
自動同期を有効にする	
アカウントを管理	アカウントを設定したオンラインサービスが表示されます。

自動同期を設定する

IS12SとGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailやその他のオンラインサービスなどの自動同期を設定します。IS12SおよびパソコンのどちらからでもD情報を表示、編集できます。

- 同期するには、IS12SでGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、またはバックグラウンドデータを使用することで自動同期するように設定できます。

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］**

2 **「バックグラウンドデータ」にチェックを入れる**

3 **「自動同期を有効にする」にチェックを入れる**

4 **同期するアカウントを選択**

5 **自動同期する項目にチェックを入れる**

◎「バックグラウンドデータ」にチェックを入れると、IS12Sにインストールされているすべてのアプリケーションおよびアカウントを設定したオンラインサービスとの間で自動的にデータ通信を行うことを許可します。また「自動同期を有効にする」にチェックを入れると、GoogleアカウントでのGmail、カレンダー、連絡先などのデータ、およびオンラインサービスで設定した「友人」などが公開しているプロフィールの情報などを自動的に同期することを許可します。これらの通信は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

■ 手動で同期する

「自動同期を有効にする」がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］**

2 **同期するアカウントを選択**

3 **同期する項目を選択**

■ 同期を中止する

1 **同期中（ステータスバーに が表示中）に ［≡］**

2 **［同期をキャンセル］**

アカウントを追加／削除する

■ Facebookアカウントを設定する

Facebookアカウントの登録･ログインを行うと、オンラインサービス上の「友達」が公開しているプロフィール情報を連絡先に表示させることができます。

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］→［アカウントを追加］**

アカウントを追加画面が表示されます。

2 **［Facebook］**

ログイン画面が表示されます。

3 **アカウント情報を入力→［ログイン］**

Facebookアカウントをお持ちでない場合は、画面の指示に従ってアカウント登録を行ってください。

4 **［すべて同期］／［既存の連絡先と同期］／［同期しない］**

5 **［完了］**

「自動同期を有効にする」がオフの場合は、「手動で同期する」（▶P.104）をご参照ください。

memo

◎Facebookアカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.comのウェブサイトからもアカウントを新規作成することができます。

◎Twitter、mixiのクライアントアプリをダウンロード･インストールすると、Facebook同様にアカウントの設定や連絡先情報の同期ができます。

■ Xperia™用Facebookを設定する

「Xperia™用Facebook」を設定すると、「友達」がFacebookにアップしている画像をギャラリーや連絡先の「写真」フィルターに表示したり、「いいね！」を付けた情報を連絡先の「趣味と関心」フィルターに表示したり、Timescapeにも「友達」の更新情報が表示できるようになります。

- あらかじめ、Facebookアカウントにログインしておく必要があります。

1 **アカウントを追加画面→［Xperia™用Facebook］**

2 **注意事項をご確認のうえ［同意］**

3

カレンダーを同期	Facebookに登録されている友達の誕生日などのイベントをIS12Sのカレンダーに同期します。
ギャラリー内のアルバムを同期	FacebookにアップしているD画像をIS12Sの連絡先やギャラリーのアルバムに表示します。
連絡先を同期	Facebookに登録されている友達のプロフィールをIS12Sの電話帳に同期します。

■ その他のアカウントを追加する

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］→［アカウントを追加］**

2 **追加するアカウントを選択**

3 **画面の指示に従って操作**

■ アカウントを削除する

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］→削除するアカウントを選択→［アカウントを削除］**

2 **［アカウントを削除］**

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」が必要です。

プライバシーの設定をする

1 **設定メニュー画面→［プライバシー設定］**

2

データの初期化	▶P.104「IS12Sを初期化する」

IS12Sを初期化する

IS12Sを初期化すると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびGoogleアカウントが削除され、IS12Sは初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。必ずIS12Sの重要なデータをバックアップしてから、初期化してください。

1 **設定メニュー画面→［プライバシー設定］→［データの初期化］→［携帯電話をリセット］**

必要に応じて画面のロック解除パターンを入力します。
内部ストレージに保存したデータも削除する場合は、「内部ストレージ内データの削除」にチェックを入れてください。

2 **［すべて削除］**

「すべて削除」をタップするとIS12Sは自動的に再起動します。
IS12Sの再起動または初期化中は、そのままお待ちください。

memo

◎データの初期化は、充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

◎おサイフケータイ®のロックパターンとFeliCa™のバリューは、IS12Sを初期化しても削除されません。

◎IS12Sを初期化すると、デジタル著作権管理（DRM）コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

2

合計容量	microSDメモリカードの容量を確認します。
空き容量	microSDメモリカードの空き容量を確認します。
SDカードのマウント解除※1	microSDメモリカードの認識を解除して、microSDメモリカードを安全に取り外します。
SDカードをマウント※1	microSDメモリカードを認識します。
SDカード内データを消去	▶P.91「microSDメモリカードをフォーマットする」
合計容量	USBストレージの容量を確認します。
空き容量	USBストレージの空き容量を確認します。
USBストレージのマウント解除※1	USBストレージの認識を解除して、USBストレージを安全に取り外します。
USBストレージをマウント※1	USBストレージを認識します。
USBストレージ内データ消去	▶P.91「USBストレージをフォーマットする」
合計容量	内部ストレージの容量を確認します。
空き容量	内部ストレージの空き容量を確認します。
内部ストレージ内データ消去	▶P.92「IS12Sの内部ストレージをフォーマットする」
空き容量	IS12S本体のメモリの空き容量を確認します。

※1 microSDメモリカードやUSBストレージの認識状態によって表示が変わります。

memo

◎USBストレージとは、市販のリーダー／ライターケーブルを使ってIS12Sに接続されたmicroSDメモリカードなどの外部記録媒体のことです。

言語とキーボードに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]

2

地域／言語を選択	▶P.105「言語の表示を切り替える」
単語リスト	単語を登録します。
外国語キーボード	▶P.36「文字入力の設定をする」
中国語キーボード	
POBox Touch（日本語）	▶P.36「POBox Touchを設定する」

言語の表示を切り替える

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]→[地域／言語を選択]

2 地域／言語を選択→[完了]

memo

◎間違った地域／言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、http://www.sonymobile.co.jp/is12s/faq.htmlのヘルプをご参照ください。

音声入出力に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[音声入出力]

2

音声認識の設定	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	アダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	アプリケーションの設定を、「既定のエンジン」、「音声データをインストール」、「音声の速度」、「言語」、「Pico TTS」で設定した内容で上書きします。
	既定のエンジン	テキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。お買い上げ時には「Pico TTS」が設定されています。
	音声データをインストール	音声合成に必要な音声データをインストールします。音声データがインストールされていない場合はAndroidマーケットに接続し、音声データを検索します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2

ユーザー補助	ユーザー補助サービスのオン／オフを設定します。
電源ボタンで通話を終了	⏻を押すことで、通話の終了ができるように設定します。

memo

◎お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションがインストールされておりません。初めて使用するときは、表示される画面の指示に従ってAndroidマーケットからIS12S用のスクリーンリーダーをインストールしてください。

◎Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.22）をご参照ください。

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2

自動	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.106「日付を設定する」
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
時刻設定	▶P.106「時刻を設定する」
24時間表示	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

memo

◎「自動」にチェックが入っているとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

◎日付、タイムゾーン、時刻を手動で設定する場合、あらかじめ「自動」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。

◎海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。「タイムゾーンの選択」でタイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2 「自動」のチェックを外す→[日付設定]

3 数字を上下にドラッグして日付を合わせる

4 [設定]

時刻を設定する

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2 「自動」のチェックを外す→[時刻設定]

3 数字を上下にドラッグして時間と分を合わせる

「24時間表示」のチェックを外している場合は、午前·午後を切り替えることができます。「AM」をタップすると「PM」に変わります（その逆も同じ）。

4 [設定]

端末情報に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[端末情報]

2

ソフトウェア更新	▶P.121「ソフトウェアを更新する」
端末の状態	自分の電話番号や電波の状態、電池残量などを確認できます。
電池使用量	電池を使用している操作が表示されます。
法的情報	使用許諾条件や利用規約、IS12Sに固有の認定および準拠マークに関する詳細などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS(Cメール)	P.53
	お留守番サービス(ボイスメール含む)	P.108
	着信転送サービス	P.110
	割込通話サービス	P.111
	発信番号表示サービス	P.112
	番号通知リクエストサービス	P.113
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.112
	迷惑電話撃退サービス	P.113
	通話明細分計サービス	P.113

※有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)でご確認ください。

お留守番サービスを利用する(標準サービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.101)をオンにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- IS12Sご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.110)は同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.113)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.109)の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定(録音/確認/変更)、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、伝言お知らせの選択/変更、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1]→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合(留守番開始1)

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[発信]

ホーム画面で[電話]→[1][4][1][1]→[発信]と操作しても開始できます。

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合(留守番開始2)

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[発信]

ホーム画面で[電話]→[1][4][1][3]→[発信]と操作しても開始できます。

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、IS12Sの状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(話中転送(「留守番開始1」で開始した場合のみ))

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[発信]

ホーム画面で[電話]→[1][4][1][0]→[発信]と操作しても停止できます。

memo

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS12Sのお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.109「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。
[1]：録音した伝言を再生して、内容を確認する
[2]：録音した伝言を「至急扱い」にする
[9]：録音した伝言を消去して、取り消す
[*]：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、SMS（Cメール）で確認できます。
伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

◎「発番情報あり」に設定されていて、同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次の通りです。
発番情報なし：1件
発番情報あり：20件
◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内（▶P.108）で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、SMS（Cメール）で確認できます。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.108）で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[電話]→「1」をロングタッチ

ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守伝言再生]→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⊞」をタップして表示します。
[1]：同じ伝言をもう一度聞く
[2]：伝言を保存
[4]：5秒間巻き戻して聞き直す
[5]：伝言を一時停止（20秒間）※1
[6]：5秒間早送りして聞く
[9]：伝言を消去
[0]：伝言再生中の操作方法を聞く
[#]：次の伝言を聞く
[*]：前の伝言を聞く
※1 「通話終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [通話終了]

memo

◎ホーム画面で[電話]→[1][4][1][7]→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.109）も同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[発信]

ホーム画面で[電話]→[1][4][1][4]→[発信]と操作しても変更できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⊞」をタップして表示します。

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#] →[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⊞」をタップして表示します。

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⊞」をタップして表示します。

■ 蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音する場合

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⊞」をタップして表示します。

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージの設定に続いて、スキップができないように設定することができます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると録音したメッセージを取り消すことができます。

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」（▶P.109）をご参照ください。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［6］［1］［0］→［発信］

2 ガイダンスを確認→［通話終了］

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［6］［1］［1］→［発信］

2 ガイダンスを確認→［通話終了］

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS12S以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS12Sの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.12）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［9］［1］→［発信］

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
ホーム画面で［≡］→［設定］→［通話設定］→［留守番電話］→［英語ガイダンス］→［発信］と操作しても切り替えることができます。

2 ［通話終了］

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［1］［9］［0］→［発信］

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
ホーム画面で［≡］→［設定］→［通話設定］→［留守番電話］→［日本語ガイダンス］→［発信］と操作しても切り替えることができます。

2 ［通話終了］

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.108）を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.113）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送
◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS12Sまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS12Sから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［無応答転送］→［発信］→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［2］＋転送先電話番号を入力→［発信］と操作しても転送できます。

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→[1][4][2][1][2]→[発信]と操作して設定できます。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間(約20秒間)は、電話に出ることができます。
◎GSM/UMTSローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[発信]→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

ホーム画面で[電話]→[1][4][2][3]+転送先電話番号を入力→[発信]と操作しても転送できます。

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→[1][4][2][1][3]→[発信]と操作して設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス(▶P.111)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎GSM/UMTSローミング中はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[発信]→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

ホーム画面で[電話]→[1][4][2][4]+転送先電話番号を入力→[発信]と操作しても転送できます。

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→[1][4][2][1][4]→[発信]と操作して設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS12Sは呼び出されません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]/[話中転送]/[フル転送]→[発信]

ホーム画面で[電話]→[1][4][2][2]/[1][4][2][3]/[1][4][2][4]→[発信]と操作しても転送できます。

2 音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「▦」をタップして表示します。
転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

3 [通話終了]

◎au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用になれますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[発信]

ホーム画面で[電話]→[1][4][2][0]→[発信]と操作しても停止できます。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のIS12S以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 ご利用のIS12Sの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

◎GSM/UMTSローミング中はご利用になれません。
◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。
◎ブラウザをご利用の際(特に有料データをダウンロード中)などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][1]→[発信]

ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話開始]→[発信]と操作しても開始できます。

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.113)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.113)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][0]→[発信]

ホーム画面で ≡ →[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話停止]→[発信]と操作しても停止できます。

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
◎「最大9.2Mbpsエリア／3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [応答]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「すべて通話終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→[発信]

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [ ]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「切替」を2回タップするとAさんとの通話に戻ります。

4 [切替]

3人で通話できます。
「切替」をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「すべて通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎GSM／UMTSローミング中はご利用になれません。
◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のIS12Sのディスプレイに表示されるサービスです。

お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

◎発信者番号（IS12Sの電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がIS12Sのディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「番号非通知」（Number withheld）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話発信」（Payphone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[通話設定] →「発信者番号通知」にチェックを入れる

memo

◎電話をかけるときは、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」をオンにしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎「発信者番号通知」をオフに設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、SMS（Cメール）送信時は発信者番号が通知されます。
◎海外でのローミング中は、電話番号は表示されない場合があります。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、「発信者番号通知」の機能は無効になります。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス（▶P.108）、着信転送サービス（▶P.110）、割込通話サービス（▶P.111）、三者通話サービス（▶P.112）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.113）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［8］［1］→［発信］

2 ［通話終了］

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS（Cメール）
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［8］［0］→［発信］

2 ［通話終了］

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス（▶P.108）、着信転送サービス（▶P.110）、割込通話サービス（▶P.111）、三者通話サービス（▶P.112）、番号通知リクエストサービス（▶P.113）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［4］［2］→［発信］

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS（Cメール）

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除はできません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS（Cメール）
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［4］［8］→［発信］

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［4］［9］→［発信］

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［3］［1］＋相手先電話番号を入力→［発信］

2 ［通話終了］

memo

◎分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

グローバルパスポート

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のIS12Sをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。IS12Sは渡航先に合わせてGSMネットワークとUMTSネットワークをご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとUMTSネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSMのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略です。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

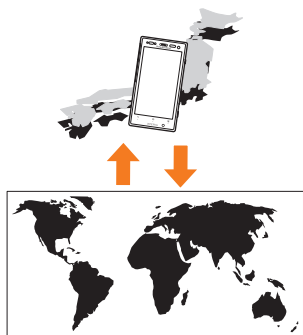
◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ ご利用イメージ

1 国内では、auのネットワークでご利用になれます。

2 IS12Sの「エリア設定」(▶P.115)を行います。

3 世界のGSM／UMTSネットワークでいつもの番号で話せます。

4 帰国したら「エリア設定」(▶P.115)を「日本」へ戻します。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.115)、「エリアを設定する」(▶P.115)に従い、各種設定を行ってください。

新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

memo

◎日本国内でEメール(～@ezweb.ne.jp)の初期設定を行っていない場合、海外でデータ通信をご利用いただけません。Eメール(～@ezweb.ne.jp)をご利用にならない場合でも、渡航前に必ずEメール(～@ezweb.ne.jp)の初期設定を行ってください。
Eメール(～@ezweb.ne.jp)の初期設定について詳しくは、IS12S同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ IS12Sを盗難・紛失したら

- 海外でIS12Sを盗難・紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- IS12Sに挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.103)をご参照ください。

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でご利用できるサービス

IS12Sは、「グローバルパスポートGSM」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのご利用は国内パケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。海外で利用できる通信サービスは次の通りです。

通信サービス	説明
音声通話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。三者通話サービスおよび割込通話サービスはご利用になれません。
インターネット	海外でもインターネット接続が可能です。
Eメール(～@ezweb.ne.jp)／PCメール／Gmail／au one メール／SMS(Cメール)	海外でもご利用になれます。
GPSの現在地確認※1	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※1 あらかじめ日付・時刻を正しく設定しておいてください。

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は、日本国内とは異なります。詳しくは「パケットサービスの通信料」(▶P.117)をご参照ください。

memo

◎SMS(Cメール)のデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMS(Cメール)の内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMS(Cメール)を蓄積されても、渡航先では受信されません。

海外利用に関する設定を行う

海外でIS12Sを利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

現在地時刻を設定する

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[日付と時刻]→「自動」にチェックを入れる**

「日付と時刻」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでIS12Sの時計の時刻や時差が補正されます。
「自動」のチェックを外して「日付設定」「タイムゾーンの選択」「時刻設定」を手動で設定することができます(▶P.105)。

memo

◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎サマータイムがある国は、現地時間とIS12Sの表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
◎日付と時刻の設定については、「日付と時刻の設定をする」(▶P.105)をご参照ください。

エリアを設定する

IS12Sを使用するエリアを設定します。

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[グローバル機能]→海外利用時の注意事項をご確認のうえ[OK]→[エリア設定]**

2

日本	日本国内でご利用になる場合
海外UMTS	海外でUMTSネットワークをご利用になる場合
海外GSM	海外でGSMネットワークをご利用になる場合
海外自動	海外でGSM/UMTSネットワークをご利用になる場合(通信事業者を自動で設定)

ネットワークを手動で切り替える

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[グローバル機能]→海外利用時の注意事項をご確認のうえ[OK]→[エリア設定]→[日本]/[海外UMTS]/[海外GSM]/[海外自動]→[OK]**

2 **[携帯電話事業者]→[検索モード]→[手動]→使用するネットワークを選択**

「ネットワークを検索」をタップすると、利用可能なネットワークが表示されます。

memo

◎ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。

ネットワーク接続の自動選択を有効にする

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[グローバル機能]→海外利用時の注意事項をご確認のうえ[OK]→[エリア設定]→[海外UMTS]/[海外GSM]/[海外自動]→[OK]**

2 **[携帯電話事業者]→[検索モード]→[自動]**

現在接続しているネットワークの種類を確認

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]**

2 **「モバイルネットワークの種類」でネットワークの種類を確認**

データローミングを設定する

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]**

2 **「データローミング」にチェックを入れる→[はい]**

データローミング中は、ステータスバーに▯が表示されます。

渡航先で電話をかける

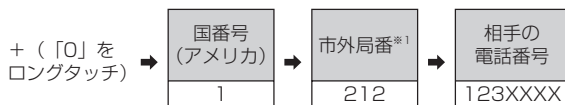
渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 **ホーム画面で[電話]**

2 **+(「0」をロングタッチ)→国番号・地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力**

3 **[発信]**

例:渡航先からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

※1 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

memo

◎ホーム画面で[≡]→[通話設定]と操作して「国番号表示(海外在圏時)」にチェックを入れます。その後、電話番号入力画面→地域番号(市外局番)+相手の電話番号を入力→[発信]と操作し、表示された国番号一覧から相手の国をタップしても、国際電話を利用することができます。
◎IS12Sを海外でご使用する場合は、あらかじめ設定が必要です。「エリア設定」を「日本」以外に設定し、通話可能なエリアにいる場合のみ使用できます。詳細については「エリアを設定する」(▶P.115)をご参照ください。
◎電話をかける相手が日本の携帯事業者を利用している場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で[電話]**

2 **地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力**

3 **[発信]**

ポーズ(,)を入力する

1 **電話番号入力画面→電話番号を入力→カンマ(,)が表示されるまでアスタリスク(*)をロングタッチ**

ポーズ(,)を入力できます。

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1 **着信中に「▯」を右方向にドラッグ**

2 **通話→[通話終了]**

memo

◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

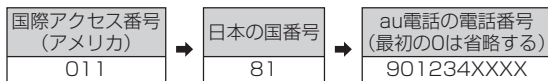
日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→発信

国際アクセス番号（アメリカ）	➡	日本の国番号	➡	au電話の電話番号（最初の0は省略する）
011		81		901234XXXX

帰国後の設定

日本に帰国後は、ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［グローバル機能］→海外利用時の注意事項をご確認のうえ［OK］→［エリア設定］→［日本］と操作してください。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ IS12Sからのお問い合わせ方法（通話料無料）

＋（「0」をロングタッチ）＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

北米・中南米	アメリカ（本土）	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	ブラジル	0021-800-00777113
アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
ヨーロッパ	イギリス／イタリア／ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間：24時間（通話料無料）

memo

◎ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。
◎記載の国は、主な例となります。最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間（国際通話料がかかります）

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なし）157番（通話料無料）
一般電話から フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

	国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

◎各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール・フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。
◎国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2012年2月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービスの通信料

海外でご利用できるサービスについては「海外でご利用できるサービス」(▶P.114)をご参照ください。

■ パケットサービスの通信料(免税)

パケット通信料	SMS(Cメール)送信料	SMS(Cメール)受信料
0.2円/パケット	100円/通	無料

■ 海外ダブル定額

対象となる海外事業者に接続した場合、1日あたり1,980円で約20万パケットまで、20万パケット以上でも1日あたり最大2,980円でご利用いただけます。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます(1パケット=128バイト)。
◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。

国際アクセス番号&国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ、カナダ、ハワイ、グアム、サイパン	011
中国、フィリピン、ベトナム、インド、マレーシア、マカオ、ニュージーランド、メキシコ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、オランダ	00
タイ、インドネシア、香港、シンガポール	001
韓国	00700(002)
台湾	002
オーストラリア	0011
ブラジル	0021
ロシア	810

■ 国番号(カントリーコード)

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アイルランド(IRL)	353	デンマーク(DNK)	45
アメリカ合衆国(USA)	1	ドイツ(DEU)	49
アラブ首長国連邦(ARE)	971	日本(JPN)	81
イギリス(GBR)	44	ニュージーランド(NZL)	64
イスラエル(ISR)	972	ノルウェー(NOR)	47
イタリア(ITA)	39	バミューダ諸島(BMU)	1
インド(IND)	91	ハンガリー(HUN)	36
インドネシア(IDN)	62	バングラデシュ(BGD)	880
オーストリア(AUT)	43	フィリピン(PHL)	63
オランダ(NLD)	31	フィンランド(FIN)	358
カナダ(CAN)	1	ブラジル(BRA)	55
韓国(KOR)	82	フランス(FRA)	33
ギリシャ(GRC)	30	ベトナム(VIE)	84
ジャマイカ(JAM)	1	ベルギー(BEL)	32
シンガポール(SGP)	65	ポルトガル(PRT)	351
スイス(CHE)	41	香港(HKG)	852
スウェーデン(SWE)	46	マカオ(MAC)	853
スペイン(ESP)	34	マレーシア(MYS)	60
タイ(THA)	66	メキシコ(MEX)	52
台湾(TWN)	886	ルクセンブルグ(LUX)	352
中国(CHN)	86	ロシア(RUS)	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS(Cメール))のみご利用になれます。
- SMS(Cメール)のデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMS(Cメール)の内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMS(Cメール)を蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMS(Cメール)を電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMS(Cメール)を直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMS(Cメール)を蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMS(Cメール)はSMS(Cメール)センターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録・索引

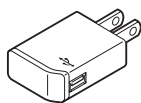
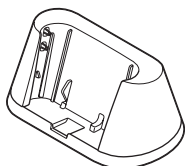
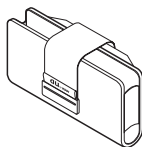
付録

周辺機器やソフトウェア更新、主な仕様、アフターサービスについてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

周辺機器のご紹介

■ ソニー･エリクソンACアダプタ04(EP800A)

<ACアダプタ>

<microUSBケーブル>

■ 卓上ホルダ(DK200)

■ auキャリングケースF ブラック(0105FCA)(別売)

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

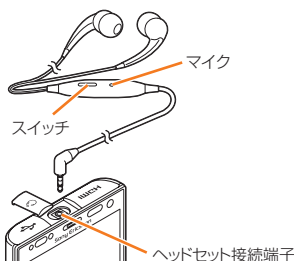
◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を使用する

マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続して使用します。

1 IS12Sのヘッドセット接続端子カバーを開く

2 マイク付ステレオヘッドセット(試供品)の接続プラグをIS12Sのヘッドセット接続端子に接続

接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

memo

◎マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続してミュージックプレーヤー/FMラジオを聴く場合、マイク付ステレオヘッドセット(試供品)のスイッチを押して、オン/オフを切り替えることができます。ただし、操作時の条件により異なる動作をする場合があります。

◎マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を使用中に着信すると、音楽は一時停止し、通話を終了すると再開します。

電話をかける

1 マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続した状態で電話をかける

電話をかける操作は、「電話をかける」(▶P.38)をご参照ください。

2 通話を終了するには、スイッチを押す

電話を受ける

1 着信時にマイク付ステレオヘッドセット(試供品)のスイッチを押す

電話がつながり、通話できます。
着信時にスイッチを1秒以上長押しすると、着信を拒否することができます。

2 通話を終了するには、再度スイッチを押す

memo

◎マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続して音楽を聴いている場合に着信したときも、スイッチを押して電話に出ることができます。音楽は通話状態では一時停止して、通話が終了すると再開します。

◎通話中、マイク付ステレオヘッドセット(試供品)の抜き差しを繰り返すと通話が切断される場合があります。

故障とお考えになる前に

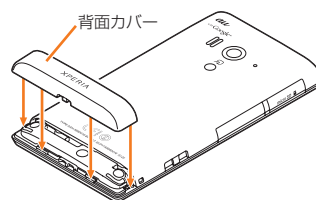
こんなときは	ご確認ください	参照
を押しても電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか?	P.20
	を1秒以上長押ししていますか?	P.21
	通知LEDが赤色で点滅していませんか?	P.20
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか?	P.20
電源起動時の画面表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか?	P.20
画面が動かなくなり、電源が切れない	「再起動」または「強制終了」してください。	P.121
電話がかけられない	電源は入っていますか?	P.21
	au ICカードが挿入されていますか?	P.19
	電話番号が間違っていませんか?(市外局番から入力していますか?)	P.38
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか?	P.38
	「機内モード」が設定されていませんか?	P.101
	「エリア設定」が間違っていませんか?	P.115
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか?	P.30
	サービスエリア外にいませんか?	P.30
	電源は入っていますか?	P.21
	au ICカードが挿入されていますか?	P.19
	「機内モード」が設定されていませんか?	P.101
	「エリア設定」が間違っていませんか?	P.115
	着信転送サービスが設定されていませんか?	P.110
(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか?	P.30
	内蔵アンテナ部付近を指などでおおっていませんか?	P.18
	「エリア設定」が間違っていませんか?	P.115
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか?	P.30
	Wi-Fi®の設定をしましたか?	P.96
充電ができない(通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない)	ACアダプタのプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか?	P.20
	microUSBケーブルのmicroUSBプラグがIS12Sに確実に差し込まれていますか?	P.20
キー/タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか?	P.21
	キーロックがかかっていませんか?	P.21
	「画面ロック」が設定されていませんか?	P.103
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	−
	を押してバックライトを点灯させてください。	−
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか?	P.20
	「おサイフケータイ ロック設定」が設定されていませんか?	P.77
	IS12SのFeliCa™マークがある位置を読み取り機にかざしていますか?	P.77
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.24
	手袋などをしたままで操作していませんか?	
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか?	

こんなときは	ご確認ください	参照
「SIMカードがありません」と表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.19
充電が完了しない	本体の温度が上昇している、または低温になっていませんか？	P.20
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.20
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ※通知LEDが緑色に点灯するまで、充電してください。	P.20
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.9
	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.30
電話が勝手に応答する	マナーモードが設定されていませんか？	P.102
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.30
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	−
ディスプレイのバックライトがすぐに消える	「バックライト消灯」が短く設定されていませんか？	P.102
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.102
	近接センサーをシールなどでふさいでいませんか？	P.18
	IS12Sの温度が上昇していませんか？	P.10
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.38
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.18
ワンセグが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.74
	ホイップアンテナを伸ばしていますか？	P.75
	視聴している場所が「地域選択」で設定した地域と合っていますか？	P.76
画像の編集ができない	編集できない画像を選択していませんか？	P.72
ギャラリーで再生できない	ギャラリーで対応可能なデータ形式ですか？	P.124
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	IS12Sに大量のデータが保存されているときや、IS12SとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	−
連絡先の登録ができない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 非通知で電話を受けた場合は、連絡先に登録することができません。	−
ホーム画面にショートカットが表示されない	壁紙のみ表示された画面を表示していませんか？	P.25
ウェブページに画像が表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.61
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは設定しましたか？	P.54
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.88
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.105
Bluetooth®対応機器と接続できない／検索しても見つからない	接続するBluetooth®対応機器を「検出可能」の設定にしてからペア設定をしてください。	P.95
IS12Sの動作が不安定	お買い上げ後にIS12Sへインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。セーフモード(お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能)で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 セーフモードを起動するには、電源を切った状態で[⏻](1秒以上長押し)→Sony Ericssonロゴが表示されたらIS12Sが1回振動するまで[☰]をロングタッチしてください。セーフモードで起動するとホーム画面左下に「セーフモード」と表示されます。 セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 • セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。	−

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

背面カバーを取り付ける

背面カバーが外れたときは、次の手順に従って取り付けてください。

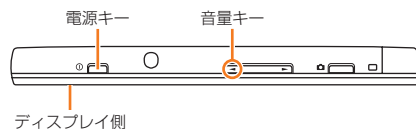
1 背面カバーの向きを確認し、IS12S本体に合わせるように装着して、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

IS12Sを再起動／強制終了する

IS12Sの電池は内蔵されており、取り外せません。再起動するには、次の手順に従って操作してください。

■ IS12Sを再起動する

1 [⏻]と[◁ ▷]の上を同時に約5秒間押し、IS12Sが1回振動したら指を離す

■ IS12Sを強制終了する

1 [⏻]と[◁ ▷]の上を同時に約10秒間押し、バイブレータが3回振動したら指を離す

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
更新は、次の方法があります。
- ソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続して更新する

■ ご利用上の注意

- au ICカードが挿入されていない場合、ソフトウェア更新はできません。Wi-Fi®経由でも更新はできませんのでご注意ください。
- パケット通信を利用してIS12Sからインターネットに接続すると き、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、IS12Sをより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なIS12Sをご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、IS12Sに登録された各種データ(連絡先、メール、静止画、楽曲データなど)は変更されませんが、更新内容によってはお客様が設定した情報が初期化される場合があります。お客様の携帯電話の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。

- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。
- 海外でローミングサービスをご利用の際は、モバイルネットワーク（海外GSM／UMTS接続）でのソフトウェア更新の検索やダウンロードはできません。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、IS12Sが使用できなくなる場合があります。IS12Sが使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェア更新後に、海外でデータ通信ができない場合について

- 日本国内でEメール（～@ezweb.ne.jp）の初期設定を行っていない場合、海外でデータ通信をご利用いただけません。Eメール（～@ezweb.ne.jp）をご利用にならない場合でも、渡航前に必ずEメール（～@ezweb.ne.jp）の初期設定を行ってください。
  Eメール（～@ezweb.ne.jp）の初期設定について詳しくは、IS12S同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

ソフトウェア更新の通知設定をする

ソフトウェアが更新されたときに通知するように設定できます。

1 ホーム画面で［▦］→［更新センター］

2 ☰→［設定］

3 「通知」にチェックを入れる

通知音を変更するには、［通知音］→変更したい通知音を選択→［完了］と操作します。

memo

◎ 手順3で「通知バイブレーション」にチェックを入れると、ソフトウェア更新があることをバイブレーションでお知らせします。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

パケット通信またはWi-Fi®ネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、IS12Sから直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 ホーム画面で［▦］→［更新センター］

2 ［システム］→ ☰ →［更新］

ソフトウェア更新が検索されます。

memo

◎ 更新センター画面で表示される「更新」／「新規」は、日本国内ではサービスを開始していないためご利用いただけません。

■ ソフトウェア更新をWi-Fi®のみでダウンロードする場合

ホーム画面で［▦］→［更新センター］→ ☰ →［設定］→［自動更新を許可］と操作して、「Wi-Fi経由のみ」に設定してください。「3G／Wi-Fi経由」に設定して更新する場合、Wi-Fi®通信が不安定になると自動的にパケット通信に切り替わり、通信料が発生することがありますのでご注意ください。

最新のソフトウェア更新を自動更新する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動更新します。更新がある場合、ステータスバーに▮が表示されます。

1 ホーム画面で［▦］→［更新センター］

2 ☰→［設定］

3 ［自動更新を許可］→［Wi-Fi経由のみ］／［3G／Wi-Fi経由］

memo

◎ 自動更新するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

IS12SからパソコンにインストールできるPC Companionを使用して、ソフトウェアを更新できます。

- PC Companionをインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。

■ PC Companionがパソコンにインストールされていない場合

1 microUSBケーブルでIS12Sとパソコンを接続

2 IS12Sの画面で［インストール］

パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 パソコンの画面の指示に従ってインストール

インストール完了後、パソコン上でPC Companionが起動します。さらにソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されますので、パソコンの画面の指示に従って操作を行ってください。

■ PC Companionがパソコンにインストールされている場合

1 パソコンのスタートメニューからPC Companionを起動

2 microUSBケーブルでIS12Sとパソコンを接続

3 パソコンの画面の指示に従って操作

ソフトウェア更新がある場合は、自動的に通知されます。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのIS12S本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています（月額399円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。
◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは0077-7-113(通話料無料)
au電話からは局番なしの113(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話／au電話からは0120-925-919(通話料無料)
受付時間9:00～21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラス	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料(3年保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
	水濡れ、全損		補償なし	補償なし (機種変更対応)
	盗難、紛失			

※金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色、新品電池含む)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
◎本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

ディスプレイ		約4.3インチ、TFT16,777,216色
		720×1,280ドット
質量		約149g(内蔵電池含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約66mm×126mm×11.9mm
保存可能容量		約13GB (本体メモリ:約2GB／内部ストレージ:約11GB)
外部メモリ		microSD　2GBまで対応 microSDHC　32GBまで対応 (2012年2月現在)
撮像素子	種類	カメラ:CMOSセンサー フロントカメラ:CMOSセンサー
	サイズ	カメラ:1/3 inch フロントカメラ:1/6 inch
カメラ画素数		カメラ:有効画素数約1210万画素(記録画素数約1200万画素) フロントカメラ:有効画素数約130万画素(記録画素数約122万画素)
連続通話時間	国内	約570分
	海外(GSM)	約490分
連続待受時間	国内	約330時間(3G使用時) 約230時間(3Gおよび無線LAN(Wi-Fi®)機能使用時)
	海外(GSM)	約440時間
ネットワーク環境		無線LAN(Wi-Fi®)機能IEEE802.11b/g/n準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz)
Bluetooth®機能	通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.2.1＋EDRに準拠※1
	出力	Bluetooth®標準規格 Power Class 1
	通信距離※1	見通しの良い状態で約10m以内
	対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)※3 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile) SPP(Serial Port Profile) OPP(Object Push Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯(2,400MHz～2,483.5MHz)

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 連絡先データの内容によっては、相手の機器で正しく表示されない場合があります。

memo

◎連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種IS12Sの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.806W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(**http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm**)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/
○ ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://www.sonymobile.co.jp/support/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(2011年3月現在)

ファイル形式

IS12Sは、次のファイル形式の表示･再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	MP3、3GPP、MP4、AMR、AMRWB、SMF、XMF、WAV、iMelody、RTTTL/RTX、OTA、Ogg vorbis
静止画	JPEG、GIF、PNG、BMP
動画	3GPP、MP4、MKV、MKA、AVI、XviD、MOV

静止画は次に示すファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG

静止画の撮影枚数(目安)は次の通りです。

解像度	microSDメモリカード(2GB)に保存できる撮影枚数
2MP(4:3)	約3,300枚

動画の撮影時間(目安)は次の通りです。

解像度	microSDメモリカード(2GB)に保存できる撮影時間
640×480(VGA)	最大約134分(1件あたり、合計とも)

名前から引く索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

目的から引く索引

Wi-Fi®を利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

輸出管理規制

- 本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。
  The products and accessories may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan.
  In addition, the Export Administration Regulations (EAR) of the United States may be applicable.
  In cases of exporting or reexporting the products and accessories, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost.
  Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan or the Department of Commerce of the United States for details about procedures.

知的財産権について

■ 商標について

- 「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi®」は、Wi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。
- The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- 「Liquid Identity」ロゴ、「Xperia」「PlayNow」「Timescape」「TrackID」および「Live Ware」は、Sony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「APP NAVI」はソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「TrackID」では、Gracenote Mobile MusicIDの技術を使用しています。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。
  Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:
  www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright © 2000 - present Gracenote.
  Gracenote Software:Copyright 2000 - present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
  Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
  www.gracenote.com/corporate
- 「Media Go」は、Sony Electronics Inc.の商標または登録商標です。
- 「BRAVIA」「ブラビア」「POBox」「Sony」「Exmor R for mobile」「スイングマルチアングル」「スイングパノラマ」および「Exmor R for mobile」ロゴは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- "xLOUD"はソニー株式会社の商標です。
- 「acro」はソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「POBox」および「POBox」ロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
  「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- "PlayStation"、"プレイステーション"およびプレイステーションロゴは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「3GPP」はETSIの商標または登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Androidマーケット、Androidマーケットロゴ、Gmail、Googleマップ、Googleトーク、Google latitude、Google Calendar、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Picasaは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Ericsson」は、Telefonaktiebolaget LM Ericssonの商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- DLNA is a trademark or registered trademark of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface, are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Windows Media」と「Exchange」および「ActiveSync」は、米国またはその他の国(あるいはその両方)におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright © 1996-2012
  Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ®」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- (マーク)は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright © 2010 - Three Laws of Mobility.
  All Rights Reserved.
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i)MPEG-4ビジュアル標準(以下「MPEG-4ビデオ」)またはAVC規格(以下「AVCビデオ」)に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii)商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます(http://www.mpegla.com)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- その他、本書に記載している会社名、システム名、製品名は、一般に各社の登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

★Mobile Phone GSM/GPRS/EDGE 850/900/1800/1900&UMTS/HSPA Bands1/5

United States & Canada

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

The IS12S mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide.

The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 1.20 W/kg*, and when worn on the body is 0.79 W/kg* for speech and 1.26 W/kg* for data calls. Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with a Sony Mobile Communications AB accessory supplied with or designated for use with this phone. It is therefore recommended that only Sony Mobile Communications AB original accessories be used in conjunction with Sony Mobile Communications AB phones.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea after searching on FCC ID PY7A5880016. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model IS12S has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Mobile Communications AB for use at the ear is 1.00 W/kg (10g).

Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When your phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Mobile Communications AB accessory and worn on the body. Use of the phone other than as tested may impact SAR and result in non-compliance with such RF exposure limits. For devices which include "WiFi hotspot" functionality, body-worn SAR measurements for operation of the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
For more information about SAR and radio frequency exposure go to: www.sonymobile.com.

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +35°C (+95°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product.
- Consult with authorized medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.

- Discontinue use of electronic devices or disable the radio transmitting functionality of the device where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place your product or install wireless equipment in the area above an air bag in a car.
- **Caution**: Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Mobile Communications AB branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22cm (8.7 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

Driving

Some vehicle manufactures forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". KDDI/ Sony Mobile Communications AB does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, KDDI/ Sony Mobile Communications AB does not warrant or represent that the device will be impervious to introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

Accessories

Use only Sony Mobile Communications AB branded original accessories and certified service partners. Sony Mobile Communications AB does not test third-party accessories. Accessories

may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Mobile Communications AB call centre. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Mobile Communications AB call centre for information. Never use municipal waste.

Memory Card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. KDDI/Sony Mobile Communications AB does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Mobile Communications AB may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

This device complies with RSS-210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Declaration of Conformity for CDMA SOI12

We,
Sony Ericsson Mobile Communications AB of
Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product

Sony Ericsson type AAH-5880016-BV

and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards
EN 301 511:V9.0.2, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 908-1:V4.2.1, EN 301 908-2:V4.2.1, EN 301 489-24:V1.5.1, EN 300 440-2:V1.4.1, EN 301 489-3:V1.4.1, EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-17:V2.1.1, EN 302 291-2:V1.1.1 and EN 60950-1:2006 +A11:2009+A1:2010,
following the provisions of Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment Directive **1999/5/EC**

Lund, December 2011

CE0682 ⓘ

Signature

Pär Thuresson
Chief Quality Officer
Head of Quality & Validation

われわれはR＆TTE指令の要求事項を満たしています（1999/5/EC）
We fulfill the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC)

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and icensors.
Sony Mobile grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.
Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.
This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.
Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.
Sony Mobile and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.
This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.
In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、Sony Mobile Communications AB（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software／オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonymobile.com.

Sony Mobile offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Mobile.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけるほか、http://opensource.sonymobile.comでも参照いただけます。

ソニーモバイルは、Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund,Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用(メディア費用、物流費用、取扱い費用等)を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニーモバイルにより販売されてから3年間有効なものとします。

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。
お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。
Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。
Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。
また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客様がおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップを利用したサービスです。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客様は当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCa™チップ内のデータの取扱い等について

1. お客様がおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客様のおサイフケータイ®のFeliCa™チップへのデータの書き込み及び書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCa™チップ内のデータの使用及びその管理については、お客様自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCa™チップ内のデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCa™チップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客様は、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCa™チップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®を当社又は当社代理店にお渡しいただくか、当社又は当社代理店がFeliCa™チップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客様に提供するFeliCa™チップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCa™チップ内のデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCa™チップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCa™チップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCa™チップへの移し替え等を行うことはできません。

3. FeliCa™チップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客様のおサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップを特定するために、当該FeliCa™チップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客様のおサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップ固有の番号と、FeliCa™チップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCa™チップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

3. 当社又は当社代理店は、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客様のFeliCa™チップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客様のおサイフケータイ®の紛失･盗難等により、FeliCa™チップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCa™チップ内のデータが不正利用されたことによるお客様の損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失･盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書や当社HP等をご確認ください。但し、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCa™チップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失･盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。
4. 機種変更や廃棄等によりおサイフケータイ®のご利用を中止される場合には、不正に利用されることを防ぐため、必ずFeliCa™チップ内のデータを全て削除してください。なお、かかるデータの削除の結果お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客様のau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客様ご自身でのFeliCa™チップ内のデータの削除ができなくなることがあります。
   なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCa™チップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

お客様各位

このたびは、IS12Sをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書におきまして、以下のとおり記載に変更がございましたので、お知らせさせていただきます。

該当ページ:6ページ
(変更前)
製造元:ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社
(変更後)
製造元:ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

該当ページ:8ページ
(変更前)
ホワイト、ピンク
(変更後)
ホワイト、ルージュ、ブルー

該当ページ:28ページ
(変更前)
最新のソフトウェアとアプリケーションをSony Ericssonのウェブサイトから取得することができます。
(変更後)
最新のソフトウェアとアプリケーションをソニーモバイルコミュニケーションズのウェブサイトから取得することができます。

該当ページ:29ページ
(変更前)
ソニー・エリクソンの製品やキャンペーン情報などを紹介するスマートフォン向けサイトです。
(変更後)
ソニーモバイルコミュニケーションズの製品やキャンペーン情報などを紹介するスマートフォン向けサイトです。

該当ページ:64ページ
(変更前)
ソーシャルネットワークサービス(SNS)のアカウントを設定して同期すると、ステータス更新情報の表示/非表示を設定できるようになります。
(変更後)
あらかじめ、アカウント設定したソーシャルネットワークサービス(SNS)のウィジェットをホーム画面に追加し、同期しておくことで、ステータス更新情報の表示/非表示を設定できるようになります。

該当ページ:81ページ
(変更前)
Sony Ericsson Timescape™(以降は、Timescapeと略します)は、Facebook、Foursquare、Twitter、mixiの更新などの履歴が画面上に時系列で表示されます。
(変更後)
Timescape™は、Facebook、Foursquare、Twitter、mixiの更新などの履歴が画面上に時系列で表示されます。

該当ページ:88ページ
(変更前)
IS12Sには内部ストレージの「SDカード(/mnt/sdcard)」領域があり、赤外線通信で受信したデータやEメール(~@ezweb.ne.jp)のバックアップデータなどを保存します。また、各アプリケーションのデータは操作によりmicroSDメモリカードとは別に内部ストレージの「SDカード(/mnt/sdcard)」領域に保存される場合があります。内部ストレージやmicroSDメモリカードの内容は、「ASTRO」アプリケーションを利用すると、データを確認したり、フォルダやファイルのコピー/貼り付けによって管理したりすることができます。
(変更後)
IS12Sでは、microSDメモリカードとは別にIS12S本体の内部ストレージにデータを保存できます。
内部ストレージには、赤外線通信で受信したデータやEメール(~@ezweb.ne.jp)のバックアップデータなどが保存されます。
アプリケーションによっては、データの保存先としてmicroSDメモリカード/内部ストレージのどちらかを選択できる場合もあります。
「ASTRO」アプリケーションを利用して内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータを確認したり、フォルダやファイルのコピー/貼り付けによって管理したりすることができます。

該当ページ:90ページ
(変更前)
Wi-Fi®ネットワーク上でIS12Sとパソコン※1をペアになるように接続設定すると、IS12SのユーザーがWi-Fi®ネットワークエリア内に出たり入ったりする際、IS12Sの内部ストレージやmicroSDメモリカードとパソコンが自動的に接続/切断できるようになります。接続したパソコンから内部ストレージやmicroSDメモリカード内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。
(変更後)
Wi-Fi®ネットワーク上でIS12Sとパソコン※1がペアになるように接続設定しておくことで、IS12SのユーザーがWi-Fi®ネットワークエリア内に出入りした際、IS12Sの内部ストレージとパソコンが自動的に接続/切断できるようになります。接続したパソコンから内部ストレージ内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

該当ページ:90ページ
(変更前)
4 インストール完了後、パソコンに表示される「SonyEricsson PC Companion」画面で「Media Go」をインストール

◎Media Goは、http://www.sonyericsson.co.jp/mediago/からダウンロードして入手することもできます。
(変更後)
4 インストール完了後、パソコンに表示される「Sony PC Companion」画面で「Media Go」をインストール

◎Media Goは、http://www.sonymobile.co.jp/mediago/からダウンロードして入手することもできます。

該当ページ;90ページ
(変更前)
バックアップと復元機能(▶P.100)でバックアップや復元ができないデータやファイルは、「ASTRO」アプリケーションでファイルやフォルダを指定してIS12SからmicroSDメモリカードにコピー/移動したり、microSDメモリカードからIS12Sにコピー/移動できます。
(変更後)
バックアップと復元機能(▶P.100)でバックアップや復元ができないデータは、「ASTRO」アプリケーションを利用してファイルのコピー/貼り付けなどができます。
IS12Sの内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータは、次のパスで確認できます。
内部ストレージ:/mnt/sdcard
microSDメモリカード:/mnt/ext_card

該当ページ:94ページ
(変更前)
※「Bluetooth®」はBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニー･エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。
(変更後)
※「Bluetooth®」はBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。

該当ページ:101ページ
(変更前)
詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/support/をご参照ください。
(変更後)
詳しくは、http://www.sonymobile.co.jp/support/をご参照ください。

該当ページ:105ページ
(変更前)
◎間違った地域/言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、http://www.sonyericsson.co.jp/is12s/faq.htmlのヘルプをご参照ください。
(変更後)
◎間違った地域/言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、http://www.sonymobile.co.jp/is12s/faq.htmlのヘルプをご参照ください。

該当ページ:124ページ
(変更前)
○ソニー･エリクソン･モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://www.sonyericsson.co.jp/support/
(変更後)
○ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://www.sonymobile.co.jp/support/

該当ページ:130ページ
(変更前)
- 「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Liquid Identity」ロゴ、「Xperia」「PlayNow」「Timescape」「TrackID」および「Live Ware」は、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「APP NAVI」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「acro」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。

(変更後)
- 「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Liquid Identity」ロゴ、「Xperia」「PlayNow」「Timescape」「TrackID」および「Live Ware」は、Sony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「APP NAVI」はソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「acro」はソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「POBox」および「POBox」ロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。

該当ページ:131ページ
(変更前)
Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with a Sony Ericsson accessory supplied with or designated for use with this phone. It is therefore recommended that only Ericsson and Sony Ericsson original accessories be used in conjunction with Sony Ericsson phones.

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 1.00 W/kg (10g).
(変更後)
Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with a Sony Mobile Communications AB accessory supplied with or designated for use with this phone. It is therefore recommended that only Sony Mobile Communications AB original accessories be used in conjunction with Sony Mobile Communications AB phones.

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Mobile Communications AB for use at the ear is 1.00 W/kg (10g).

該当ページ:132ページ
(変更前)
For more information about SAR and radio frequency exposure go to:www.sonyericsson.com/health.
(変更後)
For more information about SAR and radio frequency exposure go to:www.sonymobile.com.

該当ページ:132～133ページ
(変更前)
Sony Ericsson
(変更後)
Sony Mobile Communications AB

該当ページ:134ページ
(変更前)
Software delivered with this device and its media is owned by Sony Ericsson Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and icensors.
Sony Ericsson grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.

Sony Ericsson and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software.
(変更後)
Software delivered with this device and its media is owned by Sony Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and icensors.
Sony Mobile grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.

Sony Mobile and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software.

該当ページ:134ページ
(変更前)
本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア(以下「本ソフトウェア」という)は、Sony Ericsson Mobile Communications AB(以下「ソニー・エリクソン」という)及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニー・エリクソンは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス(以下「本ライセンス」という)を許諾します。

本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニー・エリクソン、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
(変更後)
本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア(以下「本ソフトウェア」という)は、Sony Mobile Communications AB(以下「ソニーモバイル」という)及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス(以下「本ライセンス」という)を許諾します。

本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。

該当ページ:134ページ
(変更前)
http://opensource.sonyericsson.com
(変更後)
http://opensource.sonymobile.com

該当ページ:134ページ
(変更前)
Sony Ericsson offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Ericsson.
(変更後)
Sony Mobile offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Mobile.

該当ページ:135ページ
(変更前)
ソニー・エリクソンは、Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund,Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用(メディア費用、物流費用、取扱い費用等)を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニー・エリクソンにより販売されてから3年間有効なものとします。
(変更後)
ソニーモバイルは、Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund,Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用(メディア費用、物流費用、取扱い費用等)を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニーモバイルにより販売されてから3年間有効なものとします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

Pressing "zero" will connect you to an operator, after calling "157" on your au cellphone.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）

フリーコール 0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。本冊子は、その一環として製作されております。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

1261-5906.2
2012年6月第2版

発売元:KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元:ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社